

ルモノトシテ想像セラル、トナクシテ、孤立的ニ、單獨的ニ、スナハチ、絶對ノ地位ニ立ツモノトシテハ、思念ヲ隨從セシムルモノ——（言ヒ更フレバ、相對的ノ關係ヲ思念スル、トヲ謝絶スルモノ）——ナルヲアリ。例ヘバ、「うま」トイフモノノ思念モクシハ、或ル特別ナル「うま」ノ思念ガ、他ノ動物（モシクハ、其ノ特別ナル「うま」以外ノ「うま」トノ關係ニツキテ思念セラレザル場合ナルコトモアルベシ。其ノ前ノ場合ハ、スナハチ、相對的ニシテ、後ノ場合ハ、スナハチ、絶對的ナリ。又、或ル一家ノ長タル者ニツキテノ思念モ、タゞ、其ノ一家ノ長タル者ニツキテノミ思念セラル、時ハ、他ノ一家ノ長タル者（モシクハ、家ノ長ヲ支配スル君主又ハ、其ノ代表者、一家ノ長ニ支配セラル、者等）ト相關の緊累ヲ有セザルガ故ニ、其ノ思念ハ、絶對的ノモノトナルベキモ、他ノ一家ノ長タル者（モシクハ、家ノ長ヲ支配スル君主又ハ、其ノ代表者、一家ノ長ニ支

「い」ニツキ

配セラル、者等）ト對照セシメ連絡セシメラレタル思考状態ニ置イテ思念セラル、時ハ、其ノ間ニハ、全ク相關の緊累ヲ成立セシムルガ故ニ、其ノ思念ハ、相對的ノモノトナルベキガ如シ。耶蘇教ニイフ全智全能ナル絶對ノ神モ、佛敎ニイフ天地一枚ノ絶對ノ真理モ、其レヲ崇信スル人ノ間ニハ、絶對ノモノトシテ肯定セラレ居ルモノナルベキハ論ナキヲナレド、耶蘇教ニイフ「かみ」ト他ノ宗教ニイフ「かみ」トヲ對照セシメ連絡セシメテ其ノ異同ヲ考ヘ、佛敎ニイフ真理ト他ノ哲學者モシクハ、思索家ノイフラム真理トヲ對照セシメ連絡セシメテ其ノ出入ヲ檢スル人アラムニハ、其ノ思念ハ、共ニ「かみ」モシクハ「真理」トシテ思念セラル、思考上ノ一產物タル資格ニ於イテ、他ニ對シテ相對的ノ地位ヲ取ラザルベカラザルコトナルベキガ故ニ、如何ニ絶對的ト思念セラルベキ性質ノモノナリトモ、苟クモ「もの」トシテノ思念ニ上ルモノナラム以上、到底自我ノ肯定的範疇ノ第二關門ノ檢閲ニヨリテ左右セラレザルヲ得ザルモノトス。

今、「い」ノ「絕對的」ノ「相對的」ノ自我ノ肯定的範疇ヲ名ツケテ「もの」ニツキテハ、自我

テハ自我ノ肯定第二範疇
「全體」「部分」
ハ肯定的範疇

ハ肯定的、第二範疇トイフ。

「もの」ノ「絶対的」「相對的」ノ關係的地位ヲ肯定スル、自我ノ肯定的、第二範疇ノ關門ヲ經過スルモ、ナホ、自我思考ノ待遇上ノ關係ヲ定ムガ爲ノ必要ニ應ジテ、スベテ「もの」ノ思念ハ、マタ更ニ、第三ノ關門ニ於イテ、全體「部分」ノ肯定的範疇ニヨリテ、檢閲左右セラレザルヲ得ザルベシ。蓋シ、全體「部分」ノ肯定的範疇ハ、早ク、端ヲ「しき」ノ範疇的概念ニ發シ、絶対的、相對的ノ範疇ニ置イテ「もの」ヲ考察スルコトナルニ及ンデ、新ニ、其等ノ地位ニ立ツ者ノ關係ニツキテノ思考作用ニヨリテ、陶冶セラレ、マタ、間接ニ種類概念及ビ、みちノ範疇概念ノ影響ヲ受ケ、マツ、形骸アル者ニツキテ、其ノ範疇概念ノ模型ヲ定メ、形骸ナキ者ニモ及ボシテ、スベテ「もの」ニツキテ、擬議セラレ、ベキ肯定的範疇トシテ立ツニ至レルモノニシテ、其ノ成立ノ、狀ヲイヘバ、形骸アルモノハ、本體單位ニヨリテ、一ツノ「もの」ト他ノ「もの」トノ連絡セラレタル、相對的ハ、一團結ハ、成立ヲ想像スル時ハ、此等ノ相對的ノ地位ニ立ツ各本體單位ヲ有スルモノハ、其ノ團結ヨリ見テ、其ハ一團結ノ一部分タル、關係的地位ヲ占ムル、由ノ思念

ヲ起スベキモノナルコト、考察的思考ニ於イテ、分析的ハ、觀察ト、總合的ハ、觀察トガ表裏ヲ成シテ、互充的ニ提契スル關係上、自然ノ勢トシテ、マツ承認セラレザルベカラザル所ニシテ、部分ノ思念既ニ成立シ得ベクンバ、其ノ部分ヲ成スベキ相對的ナルモノハ、ドモハ、一團結ハ、——(他ノ異ナリタル團結ト更ニ相關的ニ思念セラレベキ關係ニ立ツモノトシテ、思念セラル、ニアラザル場合ニハ、其ノ一團結ハ、絶対的ノ地位ニ立ツベキモノナルヲ以ツテ)——コ、部分ニ對シテ、全體トイフ、關係的地位ニ立ツコトト、相需ツテ、念出セラレザルベカラザルコトナルベク、カクノ如クニシテ、形骸アルモノニツキテ、其ガ部分ノ關係的地位ニ立ツモノスナハチ、部分、全體ノ關係的地位ニ立ツモノスナハチ、全體トイフ、思念成立シ得ベクンバ、其ノ類推ハ、形骸ヲ認ムベカラザルモノハ、場合ニモ行ハル、トナルベク、カクテ、スベテ「もの」ノ思念ニツキテ、之ヲ肯定スベキ範疇概念トシテ、自我ノ思考作用ヲ支配スルニ至ルベキハ、適當ナル順序ニシテ、遂ニ、自我ノ肯定的範疇ノ第三トシテ、其ノ地歩ヲ確占スルニ至レリシナリ。

コノ「全躰」部分ノ關係ガ既ニ形躰ヲ認ムベカラザルモノニマデ應用セザル
 、ニ至ル時ハ形躰ニヨリテ直覺的ニ感得セラルベキ本躰單位ノ限界ハ既
 ニ其ノ範疇概念ヲ束縛スル必要ナル條件ナラザルニ至ルベキ時ナルヲ以
 ツテ「もの」部分ヲ成ス由ノ思念ハ、コ、ニ至ツテ直覺的ニ感得セラルベキ
 限界アル本躰單位ノ形躰ヲ要セザルトトナルベク、コ、ニ一躰ヲ成スモノ
 トシテ直覺的ニ感得セラルハ、モノハウチニ直覺的ニ感得セラルベキ限界
 ヲ有セザル部分ドモヲ想像シ、全躰」部分ノ自我ノ肯定的範疇ヲ應用シ得ル
 トトナルベク、其ノ部分ノウチニ更ニ全躰」部分ノ肯定的範疇ヲ應用スル
 ヲモ得ベキナリ。例ヘバ「ひと」とラ「全躰」トシテ「み」と「こ」と「ろ」とヲ「部分」トシ「み」
 ヲ「全躰」トシテ「ぐび」て「あし」胸ヲ「部分」トシ「かほ」ヲ「全躰」トシテ「め」はな「くち」等
 ヲ「部分」トスルガ如キコレナリ。此等ノ「全躰」部分ニツキテノ概念モ、其ノ材
 料ハ外界ノ物象ニツキテノ經驗的知識ニアルモノナレド、其ノ部分ヲ成ス
 モノハ限界ヲ定ムベキ動機ハ全ク主觀的ハモノニシテ、部分ヲ成スベキモ
 ノノ限界ノ直覺的ニ感得セラルベキ形躰ヲ有スルモノノ動機ガ客觀的ノ

「もの」ニツキ
 テハ自我ノ主
 觀的ナル肯定
 的第三範疇
 同シク客觀的
 ナル肯定的第
 三範疇

モノナルトハ、正シク背反セル相對性ヲ成スモノナリ。コノ故ニ、必要ニ應
 ジテ前者ノ方ニ應用セラル、コノ肯定的範疇概念ヲ主觀的ナル云々ノ範
 疇概念トイヒ、後者ノ方ニ應用セラル、コノ肯定的範疇概念ヲ客觀的ナ
 ル云々ノ範疇概念トイフ。コノ主觀的ナルモノハ、既ニ「全躰」部分ノ如キ概
 念ヲアラハス言語ヲ享有シテ之ニ馴練セラレ居ル制作的言語大成時代以
 後ノ吾人ヲ標準トシテ内省スル時ハ、却ツテ客觀的ナルモノヨリモ、コノ種
 ノ肯定的範疇概念ノ先鞭者タルベキ資格ヲ有スルガ如クニ感得セラル、
 アルベケレド、其ノ部分ヲ成スモノハ、限界明ナラザルモノヲ以ツテ、マツ
 タハ如キ範疇概念ヲ生起スル基礎ヲ成ス思考ノ對象ニ置カムトスルコト
 ハ不可ナルベキハ、覆考シテ直チニ明ナルベキナリ。(形躰ヲ認ムベカラザ
 ル「もの」ニツキテノ思念ニ至リテハ、其ノ對象タルモノノ性質ガ、コノ前者ニ
 準ズベキモノトシテ想像セラル、モノナリヤ、後者ニ準ズベキモノトシテ
 想像セラル、モノナリヤニヨリテ、イヅレカニ分隸スルモノト定ムルヲ得
 ベキナリ。)

「いの」ニツキテノ自我ノ肯定的第三範疇
「静」動ノ肯定的範疇

今第一第二ノ例ニヨリ、コノ「全体」部分ノ自我ノ肯定的範疇ヲ名ヅケテ、
の「ニツキテハ自我ノ肯定的第三範疇トイフ。
次ギニ、屬性ノ觀察ニ屬スルモノニツキテイヘバ、其ノ第一ノ範疇概念トシ
テ屬性ヲ肯定スル思考ノ關門タルモノハ、「静」動トノ關係ニシテ、恰モ「もの」
ノ觀察ニ於ケル、「有」無ノ如キナリ。凡ソ「もの」ノ思念アレバ、必ラズ、其ノ「もの」
ノ思念ヲ成ス所以ノ屬性ノ思念ナカルベカラズ。モシ、其ノ「もの」ノ思念ヲ
成ス所以ノ屬性ナシトセバ、其ノ「もの」ノ思念ハ、成立スルニ由テカルベキナ
リ。コノ故ニ、「もの」ガ自我ノ肯定的第三範疇ニ於テ、苟クモ「有」ナリト肯定
セラルレバ、必ラズ之ニ伴フ屬性ノ存在ヲ承認スベキモノニシテ、屬性ノ
側ヨリ見ルモ、屬性ノ思念ノ存在ハ、先天的ニ之ヲ領有スル主體ノ存在ヲ承
認セザルヲ得ザルモノナルガ故ニ、既ニ或ル屬性ノ思念アリテ、其ハ主體タ
ル「もの」ノ思念ナキヲ得ザルベキハ、マタ、同ジコトナルベキナリ。サレバ、「もの」
の「ト屬性トノ思念ハ、其ノ起源ニ於テ、互ニ主體ノ關係ヲ成スモノナレド、
苟モ主體タリ隸屬タル關係上ノ思念ヲ插ミタル「もの」ノ屬性ノ既定ハ、模型概

念ヲ以ツテ思念スルモノナルヲ免レザル以上、或ル屬性其ノモノハ必シモ
主體其ノモノヲ成スニアラズシテ、其ノ一部分ニ當ル屬性ノ思念ニヨリテ
直チニ其ノ全體ヲ成ス本體ヲ想像スルコト能ハザルヲアルベキハ、自然ノ
勢ナルヲ以ツテ、或ル特別ナル「もの」ノ思念ハ、必シモ、或ル特別ナル屬性ノ思
念ニ伴フベキモノニアラズ。コノ故ニ、其ノ主體タルベキ「もの」ノ思念ニ
ツキテノ考察ハ、マツ「有」無ノ肯定ニヨリテ迎ヘラルベキモノナレド、其ノ隸
屬タルベキ屬性ノ思念ニツキテノ考察ハ、既ニ其ノ屬性ノ主體タル「もの」ハ
存在ヲ肯定スル「ト」ニヨリテ自然ニ肯定セラレ「リタル」「有」無ノ根本問題ニ
溯リテ、之ヲ其ノ問題ノ對象タラシムベキニアラズ。コレ、屬性ニツキテハ
肯定的範疇ガ「有」無ニ始マラスシテ、「静」動ニ始マル所以ナリ。
「静」動トノ相對スル範疇概念ハ、既ニ建設セラレタル「うごく」テフ屬性ノ思
念ヨリシテ起ル「恰モ、有」無ノ範疇概念ガ、あり「ノ思念ヨリ起レルガ如シ。
「うごく」ハ、マツ、形體アル物體ノ或ル活動ヲ認メタル思念ニシテ、其ノ始メニ
於イテハ、「動」靜ト相對シテ思念セラル、「動」モシクハ「うごく」テフ語ガ表白ス

ル今ノ思念ノ如ク嚴格ナルモノニハアラザリシナリ。然レドモ、うごくテフ動作ノ思念ハ「とよ」はしる」をどる」すゝむ」ゆく」く」來」等ノ如キ様ナル或ル特色アル動作ヲ精密ニ思念スル他ノ思念ノ増加スルニヨリテ、漸々ニ思考ニ上ルベキ度ヲ狭メラレ、僅ニ、特色アル動作ナル由ヲ思念セザル場合ニノミ思念セラル、トトナルベキ傾キヲ有スルガ故ニ、思考ノ内省起ルニ先立テテハ、甚勢力ヲ有スベキ地位ニハ立タザリシヲ明ニシテ、其ノ思念ハ、動作ノ思念中、最單純ナルモノトシテ、性質上、他ノ特色アル動作ドモヲ概括シタル思念ヲ成スベキ傾向アルガ如クナレドモ、スベテ、思考ノ内省起ラザル時代ニアリテハ、ものニ準ジテ思念セラル、特別ナル場合ノ外、スベテノ屬性ノ思念ガ思念ノ對象トナルヲナキハ、既ニイヘルガ如ク、就中、動的屬性ニ屬スルモノニアリテハ、ものニ準ジテ思念セラル、ト頗ブル難カルベキ傾向ヲ有スルヲ以ツテ、コノ時ニ至ルマデ、イマダ、特色アル動作ドモヲ概括シタルモノノ思念ヲ成スニ至ラザリケムハ、固ヨリ疑フベキニアラザルナリ。然レドモ、思考ノ内省既ニ始マリ、有「無」ノ如キ肯定的範疇モ生起スルニ至ル

屬性ニツキテ
ノ自我ノ肯定
的範疇

「同」「異」ノ肯
定的範疇概念

時ハ、コ、ニ、在來ノ「うごく」トイフガ如キ思念ヲ更新シテ、アラユル活動スナハチ、アラユル動的ノ屬性——(其ノ標準ハ、自我肯定ノ動機ニヨリテ、必シモ一ナルベキニアラザル¹、ホ、上ニ説明シタルモノニ準ジテ知ラルベキモノナレド)——ヲ概括シタル場合ノ概念ヲツクリ、之ニ對シテ、又、活動スルニアラザル屬性スナハチ、靜的屬性ヲ概括シタル場合ノ概念ヲツクリ、其ノ相對スル範疇概念ニヨリテ屬性ヲ肯定スル²トナルベシ。コレ、スナハチ、屬性ニツキテノ自我ノ肯定的範疇ノ「靜」動ナリ。之ヲ屬性ニツキテハ、自我ノ肯定的第一範疇トイフ。コノ範疇ハ、上ニイヘルガ如ク、もの「ニツキテ」第一範疇ノ「もの」ノ有無ヲ肯定スルモノト異ナリテ、始メヨリ、有ト定マリタル屬性ニツキテノ肯定的範疇ナレバ、コノ第一關門ニヨリテ肯定セラレタル「靜」動ノ屬性ハ、共ニ第二ノ關門ニヨリテ肯定セラルベキ檢閲ノ地ニ着クモノトス。

「同」異」ノ概念ニツキテハ、多ク説明スルヲ要セズ。タゞ、在來ハ「同」異」ノ概念ハ、實界基礎ノ間接抽象ヨリ得ラレタル外、想概念タルニ過ギザレド、コ、ニイ

フ所ノモノハ、肯定的範疇概念勃興ノ機運ニ際會シテ、在來ノ外想概念ヨリ一轉シテ、別ニ自我肯定ノ活機ヲ支配スル範疇概念トナルモノナルコトヲ指示スルヲ以ツテ、足レリトスベシ。サレド、ナホ、其同異ノ肯定ヲ成ス所以ノ標準ハ主觀的ノモノニシテ客觀的ノモノナラザルヲ、ものニツキテノ自我ノ肯定的第一範疇ノ條ニイヘルガ如キモノナルヲニツキテ、更ニ、一應ノ注意ヲ促スモ、マタ、無用ニハアラザルベシ。何トナレバ、概シテ、屬性ニ關スル自我ノ肯定的範疇ハ、其ノ肯定セラルベキ對象タル屬性ガ、ものノ如ク本來的ニ思考ノ對象タルベキモノナラザルヨリシテ、種々ノ關係ヨリシテ多クノ條件ヲツクリ之ヲ制限スルヲ少キガ故ニ、ものノ場合トハ等シカラザルモノアリテ、大體ニ於イテ、常識上ヨリ認メラル、其ノ客觀的性質ト違フヲ少ケレド、同異ノ肯定的範疇ニツキテハ、人ニヨリ場合ニヨリテ起サルベキ觀察ノ精疎ニヨリテ、屬性ニツキテノ見解ニ大ナル差異ヲ生ズベキノミナラズ、同異ノ肯定ヲ成スベキ比較ノ伴侶タルモノモ、マタ、客觀的ニ一定セラレ得ベキモノナラザルガ故ニ、他ノモノニ對シテ、⁽¹⁰⁾願ブル運庭ヲ存スレバ

屬性ニツキテ
ノ自我ノ肯定
的、第二範疇
「持續」「變化」
ノ肯定的範疇
概念

ナリ。

今、コノ「同異」ノ自我ノ肯定的範疇ヲ名ヅケテ、屬性ニツキテハ、自我ノ肯定的第二範疇トイフ。

屬性ニツキテノ自我肯定ノ第三ノ關門ヲ成スモノハ、スナハチ、持續、變化ノ範疇概念ニシテ、推移ニ關スル異同ヲ肯定スルモノナリ。蓋シ、動、靜ノ肯定マヅ定マリ、同異ノ肯定マタ定マルニ至ルモ、其ノ同異ノ或ル肯定ハ、其ノ屬性ノ他ニ對スル同異ニツキテハ、肯定ヲ成スニ止マリテ、イマダ、其ノ屬性ハ前後ニヨリテハ、推移ノ關係ニツキテ、其ノ屬性自身ヲ比較スルモノニアラズ。然ルニ、屬性ノ前後ニヨリテノ推移、スナハチ、史的變化ノ起ルベキヲノ避クベカラザル状態ハ、マタ、吾人ノ經驗ニヨリテ、早クヨリ自然ニ認了セラレベキモノナルガ故ニ、第二範疇ナル「同異」ノ肯定定マレル上ニハ、マタ、必要ニ應ジテ、其ノ史的變化如何ニツキテノ前後ノ同異ヲ肯定セザルヲ得ザルヲトナル。コレ、持續、變化ノ範疇概念ガ自我肯定ノ第三ノ關門トシテ立ツ所以ナリ。

コノ相對セル範疇概念モ、變化ノ概念ヲ先ニスルコトハ、ナホ、靜ニ對スル「動」ノ思念ノ如シ。蓋シ、史的ニ「もの」モシクハ屬性ノ變化ヲ認ムル經驗ハ、既ニ「もの」ニツキテ「かはる」トイフガ如キ屬性ヲ思念セシメタリケムモノナレド、其ノ「かはる」トイフ屬性ノ思念ハ、在來、イマダ、範疇的概念ヲ成スニハ及バザリシモノナルヲ、コノ時代ノ機運ガ起サシメタル考索的思考ノ變化ハ、之ヲ醸成シテ、屬性ニツキテノ肯定的範疇タルヲ得ベキ概念タラシメ、之ニ對シテ、變化セザル場合ノ範疇的概念ヲモ互充的ニ成立セシムルトナリテ、コ、ニ「持續」變化ノ相對性ノ範疇概念ヲ成スニ至レルナリ。

カクテ、コ、ニイフ「變化」ノ範疇概念ハ、持續ノ範疇概念ニ對シテ、屬性ガ前後ニヨリテ異ナリタル状態ニ至レルヲ廣クイフモノニシテ、言ヒ更フレバ、既往ノ状態ヲ持續セザルヲ指スモノナレバ、決シテ、其ノ、屬性ガ、或ル、差異ヲ起シテ、持續スル由ノ思念ヲ成スモノニアラズ。コノ故ニ、或ル屬性ハ、斷絶消亡スル場合アラムニハ、其モマタ屬性ノ變化ナリ。サレバトテ、屬性ノ、或ル差異ヲ起シテ、持續スル客觀的ノ状態ヲサヘニ拒絶スルニアラザルハ、言フ

マデモナシ。要スルニ、變化ヲ見テ、持續ヲ見ザルモノ、言ヒ更フレバ、主觀的ニ「持續」ノ概念ヲ挿マズシテ、前ノ状態ノ失ハル、由ヲ思念スルモノナリ。

「持續」ノ範疇概念ニアリテモ、マタ、斯クノ如ク、其ガ「變化」ニ對スルモノナル以上、主觀的ニ「變化」スナハチ、前ノ状態ノ失ハル、概念ヲ挿ムヲ許サザルモノナレバ、「持續」トイフコトニ、多少ノ變化ヲ起シツ、前ノ屬性ヲ保存スルモノナルコトヲ包容セシムルヲ得ザルモノナレド、其ノ「持續」セラル、屬性ガ却ツテ、變化シ、又ハ、變化セシムル動作ナル客觀的性質ヲ有スルコトヲ、ハ、拒絶スルモノニアラズ。

カクノ如クニシテ、コノニツノ範疇概念ハ、或ル既定ノ屬性ノ前後ニ於ケル史的推移ノ異同ヲ觀察スルモノニシテ、其ノ屬性ノ既定ノ思念内容スナハチ、其ノ屬性トシテノ思念内容ノ客觀的性質ニ於イテ、變化性ヲ有スルト持續性ヲ有スルトノ關係ハ、コノ名目ニ關係スル所アルニアラザルガ故ニ、名目上「持續」トイヒ「變化」トイフモ、靜的屬性動的屬性ノ如キ、屬性其ノモノトシテノ思念内容ニ關スル別チトハ、全く別ニシテ、共ニ動的屬性靜的屬性ニ共

屬性ニツキテ
自我ノ肯定
的第三範疇

通シテ兩者ヲ包容シ得ベキハイフ迄モナク、從ツテ、動的屬性中ニアリテモ、
「うごく」トイフガ如キ屬性ニツキテノ觀察ナラムニハ、其ノ「うごく」コトヤミ
テ、とゞまるニ至ラムニモ、其ノ「とゞまる」ノ内容タル持続性及ビ「うごく」ノ内
容タル變化性ハ毫モ關與スルコトナクシテ、對象タル「うごく」テフ屬性ノ思念
ハ「うごく」トイフ動作ノ状態ヨリ變化シ去レルモノトシテ認メラレ、變化ノ
範疇ニ當ルモノトシテ肯定セラルベク、「うごく」コトヤマズシテ其ノマ、ニ
持續スルナラムニハ、其ノ「うごく」ノ内容タル變化性ハ毫モ關與スルコトナク
シテ、對象タル「うごく」テフ屬性ノ思念ハ持續スルモノトシテ認メラレ、持續
ノ範疇ニ當ルモノトシテ肯定セラルベキナリ。

今、コノ「持續」變化ノ肯定的範疇ヲ名ツケテ、屬性ニツキテハ、自我ハ肯定的、第
三範疇トイフ。

(1) 人ト實界トノ關係ハ、甚密接シタルモノニシテ、實界ヲ離レテハ、人ハカクノ如クニ成立シ
クノ如クニ生存スルニ由ナキモノナレバ、人ノ思念ヲ起スベキアラユル刺激モ、皆實界ノ物
件ヲ以ツテ基トスルガ故ニ、自我ガ領有ステフ思考モ、究極スル所ハ、スベテ實界ノ直接間接
ノ刺激ニ依ルモノナラズトイフヲ得ズシテ、カクノ如キ地位ニ成存スル人ノ享有スル本能

性ハ、自然ニ、其ノ思考ヲシテ、實界ノ刺激ヲ感得スルニ始マリ、想像シ考索スル方ニ推移シ、以
テ自我ノ認知ニ達スルニ至ラシムルモノナラザルヲ得ザルコト、スナハチ、コレナリ。

(2) 本節其ノ三参考。

(3) 之ヲ動的屬性トシテ認ムベキハ、「しる」「くる」等ノ其ノ「もの」ニ固着スベキ靜的屬性トハ、其ノ
性質全ク異ニシテ、境遇的ニ變化スル「たつ」「すわる」等ノ動的屬性ニ附會セラルベキモノ
ナレバナリ。「なり」「あり」「下」ハ、頗アル相似タル所アレド、「なり」「あり」ハ、其ノ「もの」ニ其ノ作用ヲ營
ムベキ意志アルモノトシテ立ツル概念ナレバ、オノヅカラ異ナリ。

(4) サレド、「あ」「な」「い」ヒテハ、其ノ意義ヲ讀者ニ通ズルコト難キ故ニ、コ、ニハ、假ニ、カ、ル性質ノ
區別漠然タル「有」「無」ノ漢語ヲ使用シタルモノナレド、漢語トテモ、ナホ、コノ注意ニヨリテ之
ヲ述ヘザルベカラザルナリ。他ノ肯定的範疇概念ニツキテモ、マタ、之ニ準ツテ知ルベシ。

(5) スベテ、其ノ起源ニ於テハ、相關的ノ性質ヲ有スル者モ、既ニ其ノ概念ヲ得テ之ヲ思念スルコ
ト久シキニ至リテハ、慣性ニヨリテ、タゞ、慢然ト其ノ或ル性質ヲ有スル者ノ思念ヲ起シ、其ノ
「上」「下」トナリ同位トナルモノヲ連想セズ、又、其ノ包容セラル、モノノ包容スルモノノ關係ヲ
連想セザルコトアリ。例ヘバ、一家ノ長タル者トイフコトヲ思念スルニハ、マヅ、其ノ長ニ支配セ
ラル、家族ノ思念ヲ有スベキモノナレド、實際ニハ、必シモ、之ニ支配セラル、家族ヲ相對的
ニ思念セザルヲ得ベキガ如シ。廣キ家長ノ概念ニアラズシテ、或ル一家ノ長ヲ指ス場合ニハ、
特ニ然リ。

(6) 全体部分ノ關係的地位ヲ以ツテ思念スルニアラズシテ、タゞ、身體ノウチヨリ「て」「あし」「く」

び「め」くち等ヲ取り出テテ、漠然ト一ツノ「トシテ思考スルハ、固ヨリ、極メテ早カリシ
ヲ論ナシ。

- (7) 屬性ガ、一旦「品性」トシテ思念セラル、ニ至ル時ハ、オノヅカラ特別ノ性質ヲ有スルコトナル。
- (8) コノ故ニ「屬性」あり「屬性」なし「くる」あり「しる」なし「トイフ」カ如キ考察ナ行フ場合
ノ如キハ、其ノ思考ノ對象タル「屬性」ニ「くる」ヲ以テ「屬性」といふ「もの」ニ「くる」の「もの」
〔又ハ「くる」〕「しる」の「もの」〔又ハ「くる」〕「テ」フ思念タラシムルモノニシテ、或ル特別ナル
屬性其ノマ、ノ思念ニハアラテ「もの」トシテ思念セラレタルモノナレバ、オノヅカラ別ナリ。
- (9) 靜的屬性其ノモノハ、動的屬性ヨリモ早ク獲得セラルベキモノナレド「靜」動「フ」思念ニ至リ
テハ「動」ヲ以ツテ始メトスル「知」ヲ其ノ自然タル「注」目スベシ。
- (10) 例ヘバ、同ジ「もの」ニ隸屬スル他ノ屬性ナル「モ」アルベク、又他ノ「もの」ニ隸屬スル同ジ屬性
〔モ〕シクハ似タル屬性ナル「モ」アルベキカ如シ。

其ノ三 今、内省ヨリ來ル「もの」及ビ屬性トシテハ、新思念興起ノ狀情ヨリシテ、

- 之ヲ述ベムニ、其ノウチニハ、
- (一) 在來ノ「もの」及ビ屬性ノ思念ハ、内省化シタルモノ
- (二) 内省化シタル思念ニヨリテ起ルベキ内想、思念
- (三) 新思潮ニ應ジテ起ル内想、思念

ノ別チアリ。

〔内省ヨリ
來ル「もの」
及ビ屬性ト
シテノ新思
念ノ興起〕
内省ヨリ來ル
「もの」及ビ屬
性ノ思念ノ内
省化シタルモ
ノ別チ

在來ノ「も
の」及ビ屬
性ノ思念ノ
内省化

在來ノ「もの」及ビ屬性ノ思念ハ、内省化トハ、思考ノ内省作用既ニ始マル時ハ、
在來ノ「スベテ」ノ「もの」及ビ屬性ノ思念ハ、其ノ生起ノ史的根據ヲ外界ニ有ス
ルニモカ、ハラズ、内省作用ノ對象トシテ認メラル、立脚地ヨリ、皆、思想界
ノ一物トシテ立チ、其内省ガ營ム抽象作用ノ基礎タル心相ヲ成スモノナレ
バ、カ、ル地位ニ於ケル「もの」及ビ屬性ノ思念ハ、其ノ内省作用ニヨリテ、其ノ
外想、思念ノ性質ヲ脱シテ内省思念ノ性質ヲ享有スルニ至レルヨイフ。コ
ノ故ニ、コノ時期——（スナハチ、自由考察ノ圍成シテ、思考ノ熟成シツ、アル
時代ニシテ、原始時代ト第七期以下ノ成熟時代トノ過渡ヲ成ス時代）——ニ
入ツテ内省化セラレ、モノハ、タ、ニ、成熟時代ニ近ヅケル原始時代ノ諸思
念、スナハチ、一、羈絆的考察時代ナル第四期ノ種類概念及ビ、二、之ニヨリテ起
レル或ル種類ノ者ノ概念、三、自由考察時代ナル第五期ノ單位結合ノ關係ノ
範疇概念ノミニアラズシテ、四、思考發展ノ純粹ナル原始時代（スナハチ、自然
的考察時代）以來ノ諸思念、スナハチ、イ、純粹ナル直接抽象ノ時代ナル第一期
ヨリ繼續ノ思念系ニ屬スル物體及ビ物體ニ準ジタル「もの」並ビニ、其ノ屬性

ノ思念(口間接抽象成立ノ時代ナル第二期ヨリ繼續ノ思念系ニ屬スルものトシテ)思念セラレタル屬性並ビニ其ノ形式的屬性ノ思念(ハ總括的ニ間接抽象ヲ行フベキ境遇ニ達シタル時代ナル第三期以來繼續ノ思念系ニ屬スル總括的抽象ニ成レル總括的思念等ノ前期以來外想思念トシテノ概念ヲ成セルモノニ亘リテ皆然ルモノニシテ此等ハ悉ク實相ノ基礎ヲ離レテ心相ノ基礎ニ據ルコトヲ得ザルモノナキニ至レルナリ。此ヨリシテ元來此等各時代ノ思念系ニ屬スル思念ハ或ハ内想思念トシテ立ツベク或ハ外想思念トシテ立ツベキトナリ外想思念ハ性質上多クハ觀念ヲ成シ内想思念ハ性質上多クハ概念ヲ成スモノトシテ互ニ相對峙スルコトナル。但シ成熟時代ニ近ヅケル原始時代ノ生産ナル種類概念關係ノ範疇概念及ビ橫面ノ屬性ヲ成スモノ等本能的ニ直覺ノ感得ヲ成サザルモノハコノ時代ノ機運ニ伴ヒテ一度内省化スルニ及ンデハ性質上殆ンド其ノ外想思念タルベキ資格ヲ失フニ至レルモノトシテヤ、例外ノ觀ヲ成スベキモノトス。然レドモ外想思念ト内想思念トガ觀念トシ概念トシテ對峙ストイフコ

抽象的外想
念
具體的外想
念

ハ前者ガ具體的ニシテ後者ガ抽象的ナルヲ意味スルモノニアラズ。固ヨリ觀念トイヒ概念トイフ性質ノ上ヨリ見テ前者ガ具體的ナルヲ普通トシ後者ガ抽象的ナルヲ普通トスベキハ論ナケレドモ前者ノ抽象的ナルコトモアリ後者ノ具體的ナルコトモアルナリ。例ヘバ實際ノ人ニ對シテ「こゝにゐるひと」は「みな方正の君子なるべし」トイヒ「さみみはわれをしりたまへりや」トイハムガ如キ場合ノ「ひと」は「さみみ」われ」ノ思念ノ如キハ確ニ實相ヲ指ス觀念ナレド直チニ或ル實相ヲ指スニアラズシテ實相ノ或ル性質ヲ抽象シタルモノヲ其ノ實相ニツキテ境遇の具體ニ思念シタルモノナリ。之ニヨリテカハル思念ヲ抽象的外想觀念トイヒテ普通ノ具體的ナル外想觀念スナハチ之ニ對シテ具體的外想觀念トイフベキモノト別ツベシ。又「たふれてし」なむ」とするひとを「みてみぬふりのひ」とあらば「いか」に「トイフ思想中ノひと」ニツトモ確ニ觀念ニアラズ且内想思念ニ屬スルモノナレド此等ハ抽象的ノ思念ニアラズシテ、

具體的內想概念
抽象的內想概念

正シク具體的ノ思念ナリ。之ニヨリテ、カ、ル思念ヲ具體的內想概念トイヒテ、普通ノ抽象的ナル概念、スナハチ、之ニ對シテ抽象的內想概念トイフベキモノト別ツベシ。

又外想思念ノ多クハ、觀念ヲ成シ、內想思念ノ多クハ、概念ヲ成ストイフハ、固ヨリ例外ノ場合アルヲ意味スルモノナレド、例ヲ以テイヘバ、われいつはり を さらふよ の ひと へつらひ を このむトイフ思想中ノいつはり「へつらひ」ノ如キハ、外想思念ヲ成スモノナルヲ、其ノ思想ノ關係上ヨリ明ナレド、其ノいつはり「へつらひ」ハ、或ル特別ノいつはり「へつらひ」ヲ指スモノニアラズシテ、現在ノ事實以上ニ亘リテ、廣ク、起リ得ベキスベテノいつはり「へつらひ」ヲ指ス想像ノ思念ナレバ、觀念ニハアラズシテ、一種ノ概念ナリ。之ニ反シテ、小説モシクハ、小説的ノ思想空想モシクハ、空想的ノ思想中ニ畫カレタルものノ思想中「もしくたらう」かぐやひめ「兒雷也」の「術孫悟空」の「神變モシクハ、地獄「極樂」はりの「やま」ノ如キハ、明ニ、內想思念ヲ成スモノナレド、實相ニ準ジテ思念セラレタ

外想思念トシテノ或ル種類ノ者ノ概念

ル一種ノ觀念ニシテ、決シテ、概念ニハアラズ。要スルニ、前者ハ內想思念的ノ外想思念、後者ハ外想思念的ノ內想思念ナリ。コレ、固ヨリ變調ノモノナレドモ、既ニ、カクノ如キ思念ノ存在ヲ認ムル以上、事實ハ遂ニ強フベカラザルガ故ニ、外想思念ニ於テ、外想觀念、外想概念ノ別ヲ立テ、內想思念ニ於テ、內想觀念、內想概念ノ別ヲ立ツルヲ要スルヲトナル。タゞ、此等ノ諸區分ヲ成スベキモノノ起ルハ、制作的言語大成ヨリ後ノ時代、スナハチ、第七期以後ニ屬スルモノニシテ、コノ時代ニ存スルモノハ、前者ニ於テ、外想觀念、後者ニ於テ、內想概念ノミナリシヲ、殆ンド分明ニシテ、殆ンド、コ、ニ述ブベキ必要ヲ認メズ。便宜上ヨリ、其ノ別ノ存スルヲ指摘シ置クノミ。

又第四期ノ種類概念生起ノ機運ニ誘ハレテ、外想思念トシテハ、或ル種類ノ者ノ概念、スナハチ、或ル種類ニ屬スル、或ル者ノ概念ガ、漸ク成立スルニ至レリシ「ハ、オノツカラ明ナレド、コ、ニ至ルマデハ、特ニ注目スベキ顯著ナル現象ヲ成サザリシヲ以テ、特記セラレザリシモノト知ルベキナリ。

コノ在來ノ「もの並ビニ屬性ノ思念ノ内省化ニツキテ、特ニ注目スベキハ、一ハ純粹ナル直接抽象ノ時代以來ノ「もの及ビ屬性ノ思念ガ其ノ、或ル實相ニツキテノ概念トシテノ内想思念ヲ成シテ、其ノ在來ノ形ナル實相其ノマ、ノ觀念トシテノ外想思念ト對峙スルニ至レル結果トシテ、在來ノ外想思念ヲ起スベキ、或ル實界ノ境遇ニ於イテ、マヅ誘起セラルベキ外想思念ヲ維持シナガラ直チニ之ヲ内省化シタル思念ヲツクリ出シ維持セラル、外想思念ガアラハス、或ル特別ナル實相ニツキテハ陰影トシテ別ニ胸臆ニ置キ自由ニ其ノ性質ヲ分析總合シテ種々ノ抽象作用ヲ起シ、以ツテ其ノ外想思念ハ上ニ或ル肯定ヲ與ヘ得ルニ至レルトニシテ、一ハスベテノ間接抽象ノ對象タリ屬性タルモノノ内省化ニヨリテ、其ノ間接抽象ノ對象タリ屬性タル外想思念ハイフマデモナク、其ノ間接抽象ノ對象ノ主體タルモノ——(スナハチ純粹ナル直接抽象ノ對象タルもの)——及ビ其ノ屬性ノ思念ニマデ實相ヲ離レタル自由ナル分析總合ノ抽象ヲ想像的ニ施シテ、其ノ思索ヲ盡ストヲ得ルニ至レルトニシテ、此ヨリシテ、考察的、思考ノ對象ト成レル外想思

念ハ、殆ンドスベテノ場合ニ於イテ、少クトモ、其ガ内省化セラレタル内想思念ヲ伴フトナルベキ自然ノ趨勢ヲ成スニ至レリ。

コ、ニ内省化シタル新思念ノウチ特別ノ注意ヲ引キ置クベキモノハ、連リツキタル單位結合ノ關係ノ範疇概念ノ條ニイヘル「系統」統括ノ概念「單數」複數ノ概念——(スナハチ此等ノ名目ガ指示スル概念、及ビ之ニ先立ツテ各時期ノ條ニ擧ゲラレタル形式「同異」程度「單位」等ノ思念ニシテ、此等ハ、考察作用發展ノ進行ニ伴ナヒテ自然ニ生起シ來リテ、人ノ思考ヲ支配スル模型トナリ、外想思念ノミ、ノ時代ニアリテモ、殆ンド、内想思念ノ如キ性質ヲ有シ、コ、ニ至リテハ、マタ、内想化ストシモノナク渾然トシテ内想化シ去リテ、一方ニハ、明確ナル概念トシテ、其々ニ思念ノ一對象タリ、一方ニハ、ナホ、人ノ思考ヲ支配スル模型トシテ、自然ニ一種ノ範疇的概念ヲ成スト、始終カハラズ。然レドモ、コ、ニハ、イマダ、斯クノ如キ範疇的概念ヲ組織的ニ説明スベキ順序ニ達セザルヲ以ツテ、サル方ノ説明ハ、スベテ、之ヲ『續日本文典原理』ニ譲ルトトシ、タ、人ノ思念ヲ支配スル模型トシテコ

思考ノ根本的範疇概念

内省化シタル思念ニヨリテ起ルベキ思念

内省化シタル思念ニヨリテ起ルベキ思念ノ別テ

ノ類ノモノヲ指呼スル場合ニハ、思考ノ根本的範疇概念トイフヲト定メ置クベシ。

次ギニ内消化シタル思念ニヨリテ起ルベキ思念トハ、在來ノ「モノ」モシクハ屬性ノ内省化セラレタル結果トシテ誘起セラル、思念言ヒ更フレバ、在來ノ「モノ」モシクハ屬性ノ内省化セラレタルモノノ如ク、元來、外想思念ヨリ化生セルモノニアラスシテ、其ノ外想思念ノ内省化シタルモノニ準ジタル性質ヲ享有シテ、新ニ生起スル内想思念ナリ。其ノウチニハ、マタ、オノヅカラ三種ノ別テアリ。

- (イ) 外想思念ヨリ來レル「モノ」ノ内想思念ト、内想概念トシテハ、種類概念トガ、考索的結合ヲ成セルモノ、及ビ其ノ考索作用ニツキテ誘起セラル、内想思念
- (ロ) 外想思念ヨリ來レル「モノ」ノ内想思念ト、内想概念トシテハ、關係ノ範疇的概念トガ、考索的結合ヲ成セルモノ、及ビ其ノ考索作用ニツキテ誘起セラル、内想思念

標準的內想思念
或ル種類ノ「モノ」ニツキテノ標準的思念
或ル「モノ」ノ關係ニツキテノ標準的思念
或ル「モノ」ノ屬性ニツキテノ標準的思念
或ル「モノ」ノ影響的內想思念
標準概念

(ハ) 在來ノ「モノ」ノ思念ノ内省化シタル關係及ビ上述(イ)ノ思念ノ興起ニ伴フ自然ノ感化ガ内消化セラレタル屬性ノ思念ノ上ニ及ボサシメタル考索上ノ變態ヨリ來ル諸ノ内想思念

スベテ、コノ三種ニ屬スルモノハ、既定ノ外想思念スナハチ實相ヲ基トシテ抽出セラレタル思念ヨリ來リテ、内想思念トナレルモノニアラズシテ、マツ内想思念トシテ立チ、隨時ノ必要ニ應ジ其ノ概念ヲ執ツテ、逆サマニ實相ニ擬セムトスルモノナリ。コノ故ニ之ヲ概シテ標準的內想思念トイヒ、(イ)ニ屬スルモノヲ或ル種類ノ「モノ」ニツキテノ標準的內想思念トイヒ、(ロ)ニ屬スルモノヲ或ル「モノ」ノ關係ニツキテノ標準的內想思念トイヒ、(ハ)ニ屬スルモノヲ或ル「モノ」ノ屬性ニツキテノ標準的內想思念トイフ。コノ標準的內想思念ニ對シテ、上述、在來ノ「モノ」及ビ屬性ノ思念ノ内省化シタルモノノ類スナハチ、既定ノ外想思念ヨリ來リテ、内想思念トナレルモノヲ區別スベキ名稱ノ必要アル時ハ、後者ヲ呼ンデ、影寫的內想思念トイフベシ。下ニ述ブレル「新思潮ニ應ジテ起ル内想思念」ハ、コノ標準的內想思念ニ對シテ、純粹ニ標準

(イ)ニ屬スル思
念(スナハチ、
或ル種類ノ
「い」ニツキ
テハ、標準的思
念)

準概念ト呼ブベキモノヲ成スモノナリ。
其ノ(イ)ニ屬スルモノ、スナハチ或ル種類ノ「い」ニツキテハ、標準的思念ハ、例
ヘバ「うま」トイフ種類概念ト或ル實際ノ「うま」ノ外想思念ノ陰影タル内想思
念トヲ考察的ニ結合シ「うま」ニツキテハ、種類概念ノ模型ニ屬スベキモノノ
想像的ナル内想思念ヲツクルニ至レルニテ、其ノ内想思念ハ、或ル實際ノ「う
ま」ヲ指スニモアラズ、或ル種類概念スナハチ種類ノ地位ノ概念ヲ指スニモ
アラザレド「うま」ニツキテハ、或ル種類概念ニ合フベキ性質ハ、イヅレノ「うま」
ニモ適スルモノハ、理想シテ、全く抽象的ニ全く想像的ナル「うま」ノ思念ヲ成
スモノナルガ如キ、コレナリ。

サレバ、實際ノ「うま」ニハ、其々ニ異ナリタル「おほきさ」年齢「いろ」其ノ他ノ特
別ナル條件ヲ有シ居ルベク、又「うま」ノ種類概念ハ「うま」其モノノ概念ニハア
ラズシテ「うま」ノ分類的地位ヲアラハスニ過ギザルモノナルニ對シ、コノ「う
ま」ノ新思念ハ、或ル共通ナル性質ヲ有スル「うま」ノ思念ニシテ、而モ「おほきさ」
年齢「いろ」等ニ關係スル所ナキモノ、スナハチ、廣ク或ル種類ニ屬スルモノ「う

理想的ニ指ザシ擧グルモノナリ。

凡ソ直覺的ニ感得セラルベキ物ノ區別ガ、人ノ思念ニ入りテヨリ、其ノ本
能的ノ思考作用ハ、自然ニ、分類的ニ物ヲ觀シ來リ、其ノ傾向ハ、遂ニ、マヅ種
類概念スナハチ分類的地位ノ概念ヲ生産セシムルニ馴致シタリシモノ
ナレドモ、其ノ實相ニツキテハ、思念ノ内省化ニヨリテ、カクノ如ク想像化
セラレタル、或ル種類ノ「い」ノ思念ヲツクルニ至ルマデハ、イマダ、或ル概
念ノ符徴ニヨリテ自由ニ、或ル種類ノ「い」ノ「スベテ」ノ思念ヲ、表スベキ、
制作的事業ノ途ヲ開クニ、及バザリシモノニシテ、コヽニ至ツテ「い」ニツ
キテノ概念ノ符徴トシテノ語ヲ定ムベキ制作的事業ノ起ル權與ハ、始メ
テ確立シ、在來ノ分類上ノ思念モ、コヽニ至ツテ十分ニ其ノ獨立ヲ承認セ
ラレ、スベテノ羈絆ヲ離レテ、十分ニ發展シ得ラルベキトハナレルニテ、
或ル「い」ノ「ニ」ニツキテノ概念ガ包含スルモノニヨリテ、或ル「い」ノ「ラ」表スベ
キ性質、スナハチ「い」ノ「其」ノ「い」トシテノ性質ヲ思念スル「い」モ、コヽニ至
ツテ、確定シタル概念ト成ルニハ至レルナリ。今ノ人制作的事業ヲ使用

製作的言語生
起ノ權與

或ル「い」ノ「ラ」
表スベキ性質
質ノ概念

スル便ニ慣レ、却ツテ、一語ニシテ、或ル特別ナルものノ實際的ノ觀念及ビ其ノ概念——(スナハチ、上ニイヘル外想思念トシテノ或ル種類ノ者ノ概念)——ト、コノ想像化セラレタル或ル種類ノものノ概念モシクハ觀念——(スナハチ、此ノ想像化セラレタル或ル種類ノものノ概念ニヨリテ、或ル實際ノ者ヲ指舉シタル場合)——ト、或ル種類ノ地位ノ概念ト、其ノものトシテノ性質ノ概念トヲ表白スル、其々ノ境遇上ノ區別ヲ解セザル者多シ。注意セザルベカラズ。蓋シ、此等ノ思念ガ皆、一語ニヨリテアラハサル、ハ、コノ想像的ノ或ル種類ノものノ思念一度起リテヨリ、其ノ想像的ノ或ル種類ノものノ思念ト、其ノ種類ニ擬セラル、或ル實際ノものノ思念ト、其ノ種類ノ地位ノ思念ト、其ノ資格ヲ成ス性質ノ思念トハ、互ニ連帶シテ相離ルベカラザル關係ヲ以ツテ思考中ニ結合セラレ、一ヲ舉グレバ、他ハ、必ラズ、之ニヨリテ直チニ誘起セラルベキモノトナレバナリ。

其ノ考索作用ニツキテ誘起セラル、内想思念トハ、カクノ如キ想像的ノ種類ノものノ思念ヲツクリテ、之ニヨリテ、ものノ種類ヲ思念スル時ハ、直覺的

其ノ考索作用ニツキテ誘起セラル、思念

ノ自然ニハ、其ノモノヨリ感得セラルベカラザルモ、自我ノ經驗ヨリ得ラレタル想像ニヨリテ、之ニ附與スルヲ得ル、或ル性質ヲ以ツテ、マヅものノ種類ニ關スル内想思念ヲツクリ、逆サマニ外想思念ニ及ボスニ至ルモノ、例ヘバ、「まつ(松)ニをまつ(め)まつ」ヲ別チ、「うまニ軍馬」馱馬ヲ別ツ場合ノ思念ノ如キモノ、コレナリ。サレド、カ、ル性質ノ思念ニ至リテハ、恐ラクハ、制作の言語大成ノ後ニ起レリシモノナルベシ。

晩出ノモノナレド、廣ク種類ニツキテ、概括シタル名トシテ定メラレタル語ガアラハス思念、スナハチ、或ル種類ノものヲ概括シタル思念ニアラズ、シテ、或ル種類ノものヲ概括シタル思念トモヲ概括スル、思念ハ、皆、コノ系統ニ屬スルモノリ。例ヘバ、種「類」族「科」某種「某科」トイフ思念ノ如シ。カ、ル思念ハ、モト、實相其ノモノノ思念ニアラズシテ、或ル種類ノ内想概念ヲ基トシテ、總括的ニツクリ、出シタル、思念ナルガ故ニ、一種模型的ノ概念ヲ成スモノナレド、考索上ノ範疇極念ニハアラズ。斯クノ如キ性質ヲ享有スル概念ヲバ、スベテ種類ノ模型的觀念ト名ヅクベシ。

種類ニツキテ概括シタル名ノ語ガアラハス思念

種類ノ模型的觀念

(ロ)ニ屬スル思
念(スナハチ、
或ルモノノ)
關係ニツキテ
標準的思
念)

其ノロニ屬スルモノ、スナハチ、或ルモノノ關係ニツキテノ標準的思念ニツ
キテハ、マヅ、關係ノ範疇概念ノウチ、連リツキタル根本的形式ニ伴フ應
用的範疇概念ノ一部ヲ推スベキガ如シ。何トナレバ、其ノ或ル部分ガ境遇
的本能ノ力ニテヨク念出シ出サレタルモノナルヲハ、固ヨリ疑フベカラザ
レドモ、コノ思考作用ヲ需ツテ産出シタルモノハ、アリ得ベキ「モ、おや」こ
の「みち」ふるふの「みち」ノ如キ應用的範疇概念ノ場合ニ於イテ、マタ、
明白ナリ。斷レテツキタル應用的範疇概念ニ至リテモ、同一ノ關係ヲ有
スルモノアルベケレド、其ノ純正ナル範疇概念ニ先立テルモノハ、性質上全
ク別ナリ。サレド、ナホ、コノ思考状態ノ影響ヲ受ケタルモノハアルベシ。
「みち」ノ應用的範疇概念ナル「因果」(分析的)「因果」(總合的)ノ思念ノ如キ、晚出ナ
ル性質ノ顯著ナルモノノ如キハ、其ノ例ニ當ルモノナリ。サルニテモ、此等
ハ皆關係ノ範疇概念ノ思念系ニ立ツベキ性質ノモノナレバ、コ、ニ入ルベ
キ限リニアラズト知ルベシ。
サレド、關係ノ應用的範疇概念ニ起リテ、其ノ關係ノ範疇タルベキ所以ノ相

關係ナル性質ヲ失ヘルモノハ、スベテ、コ、ニ入ルベシ。例ヘバ、「おや」こ
の「みち」ガ「おや」ト「こ」トノ關係本體ノ思念ト思考セラレズシテ、親子ノ間ノ
或ル行ヒモシクハ情誼ノ規模トシテ思念セラレ、其ノ他「ひと」に「つかふ
る」「みち」ひとを「御する」「みち」ナドノ如ク、全ク「條理」ノ如キ義ニ思念セ
ラレ居ル「みち」サテハ、「ひと」ツキ「ふたつ」ノ如ク、ときガ「ひと」ツキ「あ
ひだ」ふたツキの「あひだ」ノ如キ義ニ思念セラレテ、かすニツキテノ程度
ヲアラハス性質ノモノトナリタル類、コレナリ。或ル意味ニ於イテ、相關的
ノ意義ヲ有スルモノ、全クコノ「ロ」ノ條件ニ合フモノトナリテ、範疇概念タル
性質ヲ存セザルモノ、例ヘバ、或ル史跡ヲ包含セル或ル一定ノ世ヲ劃定シテ、
「上世」「中世」「近世」ナドイフガ如ク、かみの「くらゐ」に「ある」「ひと」しも
の「くらゐ」に「ある」「ひと」ヲ指定シテ「かみ」しも「トイフガ如ク、時ニ劃定
スル所アリテ「かみ」の「ところ」しも「ところ」上部「下部」トイフガ如
キ思念ヲ成スモノハ、——(外想思念ト成レルモノナラザル限リ)——皆、コノ
部類ニ屬スルモノニシテ、これ「それ」「われ」「かれ」ノ如ク、タ「くらゐ」ヲ指示ス

其ノ考察作用ニツキテ誘起セラル、思念

(ハ)ニ屬スル思念(スナハチ或ルモノノ)ハ屬性ニツキテ標準的思念(マ)注目スベキ考察上ノ變態

ル思念ナラデ、或る「くらゐ」ヲ取レル「もの」ヲ指スベキ特別ノ思念ヲ成セルモノハ、マタ、論ズルマデモナシ。
其ノ考察作用ニツキテ誘起セラル、内想思念トハ、直接ニ關係ノ範疇概念ト伴ナハザルモ、關係ノ範疇概念モシクハ其ノ根本的形式ニ因縁スル所アリテ念出セラルノモノニシテ、例ヘバ「おや」「こ」「め」「ち」「は」「とも」(朋)等ノ語ガアラハス思念ノ如ク、他ニ對シテ或ル關係的ノ意義ヲ抱持シテ立ツモノナリ。外想思念ト成リテハ、此等ハ、スベテ主觀的、直接抽象ノ對象ヲ形ヅクル思念ヲ成スモノトス。

スベテ、此レ等(イ)ニ屬スルモノハ、轉ジテ外想思念ヲ成シ得ベキ傾向ヲ有スルモノナレド、其ノ本性上、必ラズ、マヅ、内想思念トシテ生起スルモノナリ。其ノ(ハ)ニ屬スルモノ、スナハチ、或ル「もの」ノ屬性ニツキテ、標準的思念ニツキテハ、マヅ、在來「もの」ノ思念ノ内省化シタル關係及ビ(イ)ノ如キ思念ノ興起セル關係ガ及ボサシメタル考察上ノ變態ヲ注目スルヲ要ス。サレド、其ニ先立ツテ第一ニ注目スベキハ、屬性ノ思念其ミヅカラハ、内省化セラレ

テ「もの」トシテハ、屬性ノ思念ヲ成スニアラズシテ、ナホヨク、考察ノ對象タル「ヲ」ヲ得ルニ至レルガ故ニ、之ヨリシテ、屬性ノ思念ハ、マタ、想像上ノ產物ト成リ、直覺的ニ感得セラルベキ實相ニヨリテ必然ニ制限セラルベキモノニハ、アラザルモ、ハトナレル「ナリ」。

カクテゾ、コ、ニ、其ノ主體タル在來「もの」ノ思念モ、内省化セラレテ、想像上ノ產物トシテ想像上ノ屬性ヲ發揮スルニ便宜ナルモノトナリ、又(イ)ノ如キ新ナル内想思念ノ興起ガ主體トシテ立チ得ラル、モノヲ増大ニシ(イ)ノ如操縦スルニ、全ク外界ノ羈束ヲ蒙ラザルヲ得ベキ想像的ノ考察ヲサヘニ施スベキ心的勢力ヲ以ツテシタル「ヲ」ヲ注目スベシ。其ノ結果トシテ來ルベキモノガ、此等「もの」ノ思念ヲ對象トシテ、其ガ包含シ或ハ包含シ得ベキモノトシテ想像セラレ得ベキ、スベテハ、屬性ニツキテ、分析的、總合的ノ自由ナル抽象的考察作用ヲ行フ「ト」内省化セラレタル屬性其ノモノヲモ、マタ、考察ノ對象トシテ互ニ比較シ對照シ以ツテ自由ナル分析總合ノ抽象的考察作用ヲ行フ「ト」ノ發現ニシテ、而モ、此等ノ考察作用ハ、互ニ主件ヲ成シテ相

助ケ、分離結合自在ニ行ハレ、新屬性ノ思念ガ盛ニ其ノ間ニ勃興スベキノミナラズ、スベテニ於イテ、屬性ニツキテ、性質上ノ觀察ガ精微ノ域ニ進マザルベカラザルトナレルハ、明ナリトイフベシ。

今、カクノ如クニシテ、ものニツキテノ新思念ト屬性ニツキテノ新思念トガ、集散自在ナル考索状態ニ置カレテ盛ニ新屬性ノ思念ヲ興起セシムル様ヲ、他ノ語モテイヘバ、第三期マデノ自然的考索ノ粹純ナル原始時代ニ於ケル、無意識的ニ半意識的ニ本能的ニ實際的ナリシ、スベテノ思考作用ハ、今ハ、全ク意識的ニ合理的ニ想像的ニ其ノスベテノ心意上ノ權能ヲ極端ニマデ馳セ得ベキニ至レルモノニシテ、其ノ思考作用ノ擴充セラレタル基礎ハ、上ニ成リ出ヅル果實ハ、往昔ノモノニ比シテ、スベテ其ノ基礎ノ強大ニ比例スル増大ヲ來タシシモノナルナリ。サレバ、曾テハ、間接抽象ノ對象ニツキテ思念セラル、屬性スナハチ、屬性ニツキテノ屬性ガ、タゞ、形式的屬性スナハチ、横ノ屬性ニ限ラレタリシ如キモ、今ハ、思念ノ内省化ニヨリテ、其ノ對象ヲ内想思念トシ、心相基礎ノ標準ヨリ見テハ、殆ンド直接抽象ノ價值ヲ有スベキ

新屬性ノ増大

間接抽象ノ對象ニツキテノ屬性ノ増大

抽象作用ヲ行フ方ヨリ、ものトシテノ屬性ナラヌモノニサヘ、盛ニ縦ノ屬性ヲ念出スルニ至レリ。例ヘバ、よくはしるしらくぬるこきあか、のいろうすきむらさきのはなトイフ語ノウチニアラハサルか、のいろうすきむらさきのはなトイフ語ノウチニアラハサル、よくしらくこきうすきノ如キ思念ガ、はしるぬるあかむらさきノ如キ屬性ノ屬性トシテ念出セラル、ガ如シ

カクノ如キ趨勢ハ、下文ニ述ブルガ如キ諸思念、及ビ其ノ思念ヲ起スベキ考索作用ニヨリテ、更ニ進歩ノ域ニ進ムベキモノナレド、要スルニ、スベテニ互リテ、考索機能ノ成熟的境界ニ到達セルコノ時期以後ニ於イテハ、人ノ思考状態ハ、刺激ノ程度ニヨリテ如何様ニモ進退スルモノニシテ、必シモ、一律ノ状態ヲ有タズ、殊ニ、次期以後ニ於イテハ、既定ノ制作的言語ニ依頼スル方ヨリシテ、其ノ傾向ハ、更ニ著シキニ至ルモノナルガ故ニ、概シテ、此ノ時期以後ニアリテハ、刺激ニ應ジテ、如何ナル極端ニマデモ展開シ又收縮シ得ラルベキ境遇ニ達シタル時代ナリトシテ、會得セラルベキナリ。コハ、ニハ、一々ニ擧グズ。コハ、コノハニ屬スルモノニツキテノミイフニアラズ。スベテニ

新思潮ニ應
ジテ起ル内
想思念

關係ヨリ分離
シタル屬性、ス
ナハチ「品性」
ノ概念

於イテ然リ。(但シ、ソガ國語ノ符徴ニ嚴存スルモノヨリ見タル標準的内想
思念ノ微細ニツキテハ、本書ノ續稿ナル續日本文典原理ニ於イテ論述スル
ヲ見ルベシ。)

次ギニ新思潮ニ應ジテ起ル内想思念トハ、在來ノもの及び屬性ノ思念ノ内
省化シタルモノ、モシクハ内省化シタル思念ニヨリテ起レル内想思念ヲ基
トシテ、新ナル總括的抽象ヲ行フニヨリテ起ル内想思念ヲイフモノニシテ、
其ノウチニハ、オノヅカラ、

- (イ) 關係ヨリ分離シタル屬性、スナハチ「品性」ノ概念
- (ロ) 建設的標準概念

ノ別チアリ。共ニ人ノ思考ノ標準概念トシテ、一種ノ制作的ナル範疇的概
念ヲ成スモハナリ。

關係ヨリ分離シタル屬性、スナハチ「品性」ノ概念ハ、屬性ノ内想思念ニツキテ
ノ總括的抽象ヨリシテ起ル。蓋シ、屬性ノ思念ハ、其ノ始メニ於イテ、其ノ主
體タル物體ヨリシテ境遇的具體ニ抽象セラレタルニ起リ、コノ時期ニ至ッ

テ、内省化セラレテ、純然タル内想思念トシテ立ち、殆ンド全ク、其ノ境遇的具
體ノ羈絆ヲ脱シ去ルニ至レリ。然レドモ、ものトシテ思念セラレタルモノ
ヲ除キテハ、イマダ、「品性」トイフガ如キ思念ヲ成サザリシニテ、其ノもの
トシテ思念セラレタル屬性トテモ、固ヨリ、嚴格ナル意義ニ於イテ「品性」ノ語
義ニ合フベキモノニハアラデ、實ニ「もの」トシテ思念セラレタル屬性「タル
ニ過ギザリシナリ。如何トナレバ、もの」トシテ思念セラタレル屬性ハ、イマ
ダ、或ル物體(モシクハ、廣義ノもの)ヲ主トシテ之ニ隸屬スル一性質タル由ハ
思念上ノ羈絆ヲ、其ノ思念ヨリ、抜キ去ラルベキ機會ヲ有セザリシガ故ナリ。
況シテ、もの」トシテ思念セラレザル屬性ニ至リテハ、主體ヨリ境遇的具體ノ
羈絆ヲ、コン脱シ得タレ、毫モ、或ル主體ニ隸屬スル一性質タル由ノ思念ヲ、抜
キ去ラルベキ緣由ヲ有セザルノミナラズ、カク思念セララルベキ由ノ條件ハ、
實ニ、其ノ思念ノ生起以來ノ主眼タル性質トシテ、永ク傳ヘラルベキモノナ
ルナリ。サルニテモ、屬性ノ思念ガ、一ツハ内想思念トシテ、境遇的具體タル
ベキ羈絆ヲ、脱シタル一概念トシテ、立つコトアルニ至レルコトハ、其ノ内想思念

ヲ對象トシテ之ニツキテハ自由ナル分析總合ノ考察ヲ加フルヲ得ルニ至
 ラシメタルガ故ニ嚴格ナル意義ニ於テハ分類の區別モ今ハ屬性ハ上ニ
 行ハレ得ベキトナリ種類關係等ノ概念モ或ル程度マデコハニ應用セラ
 レテオノヅカラ系統的種類ノ排列ヲ成スヲ得ベキニ至レルナリ。カク
 ノ如クナル時ハ其ノ系統的種類ノ排列ニ於テ一列ヲ成スベキ屬性ハ個
 々特異ノ點ヲ捨テ其ノ各自ノ間ニ類同ナル點ノミヲ取リテ想像的ニ或ル
 共通の屬性上ノ思念ヲツクリ出スヲ得ベキハ論ナキコトニシテ斯クノ如
 キ場合ニハ其ノ一列ヲ成スベキ屬性トシテ對比セラレベキ地位ニ立ツモ
 ノハ固ヨリ靜的屬性カ動的屬性カノイヅレカノ内ニ於ケル類同ノ點アル
 モノナルベキコト論ナキヲ以ツテ既ニ分明ノ件ニシテ其ノ比較ニ必要ナキ
 點スナハチ屬性ノスベテニ共通ナル主體ニ對スル隸屬ノ關係相互ヲ統括
 スル靜的カ動的カノ屬性の性質ト之ト反對ナル屬性の性質トノ關係ノ如
 キハ毎ニ其ノ念頭ニ上ルベキモノニアラズ。コノ故ニカハル比較ノ場合
 ニ於テ其ノ屬性タルモノハ主體トノ關係及ビ靜的屬性ト動的屬性トハ

嚴格ナル關係
 ニ合フベキ
 「品性」ノ思念

純粹ナル屬性
 ノ標準概念

互ニ相對スル關係ノ如キガ自然ニカハル考察的思考ノ念頭ヨリ脱シ去ル
 ベキ傾向ヲ起スコアルベキハ勢ナリ。否、カクノ如ク必要ナキ關係ノ思念
 ガ其ノ必要ヲ感ゼザル對比ノ場合ニ遺却セラレ、コト必然ナルベキハナ
 ホ、朝鮮人ト支那人トノ性質ヲ對比スル場合ニ於テ人ト禽獸トノ關係黃
 色人種ト白色人種トノ關係ヲ思念セザルヲ普通トスベキガ如クナルベシ。
 カクノ如クニシテ類同セル所アル或ル屬性トモノ性質ノ間ニ統括セラレ
 ベキ或ル種類ノ思念ヲ建設セムトスル場合ニ其ガ屬性タルト其ガ靜的屬
 性モシクハ動的屬性タルトヲ念頭ニ上セズシテ其ノ類同ノ點ヲ有スル屬
 性ノ性質ヲノミ總括的ニ想像シタル種類概念ヲツクルコトアル時ハコハニ
 主體ニ隸屬スル關係ヲ忘レタルスナハチ屬性トシテノ主眼タル性質ナル
 隸屬ノ關係ヲ離レタル屬性ノ性質ノ品彙セラレタル思念ハ成立スルコト
 ナルベシ。コノ品彙セラレタル性質ノ思念ハスナハチ其ノ嚴格ナル語義
 ニ合フベキ品性ノ概念ニシテ屬性ノ純粹ナル性質ノ思念ニ對シテ其ノ標
 準概念タルモノナリ。

或ル屬性ノ純粹ナル性質ノ思念
或ル純粹ナル屬性ノ思念

「品性」ト或ル純粹ナル屬性トノ區別

コノ「品性」ノ概念ハ、固ヨリ内想思念トシテ起レルモノニシテ、外想思念ニハアラズ。サレド、其ノ品性ノ性質ガ、元來直覺的ニ感得セラルベキ程ノモノナル場合ニハ、其ノ品性ハ、實相ヲ對象トシタル直接抽象ノ手段ニヨリテ境遇的具體ニ認得セラル、コアルガ如クニ思念セラル、コアルベシ。特ニ、一方ニ、其ノ品性ノ内想思念ヲ維持スルニ至レル場合ニ於イテハ、直接抽象ノ手段ニヨリテ、明ニ其ノ隸屬的性質ヨリ分離シタル様ニ認メ得ベキ境遇的本能作用ノ營マル、コアルヲ感ズベシ。然レドモ、斯クノ如キハ、實ニ「品性」ノ思念ヲ成スモノニハアラズシテ、其ノ思念ハ、或ル屬性ノ純粹ナル性質ノ思念、スナハチ、或ル純粹ナル屬性ノ思念トイフベキ一種ノ外想思念ナリ。何トナレバ、コノ兩者ハ、殆ンド表裏ノ如キ密接ナル關係ヲ有スレドモ、品性ノ特性ハ、其ノ總括的抽象ノモノタルニアリテ、或ル純粹ナル屬性ノ思念ハ、コノ條件ニ合フモノニアラザレバナリ。ナホ、「品性」ト、或ル純粹ナル屬性トノ區別ニツキテハ、後者ハ、實相基礎ノ思念ナルガ故ニ、全ク實相ノ思念ニ支配セラレ、前者ハ、心相基礎ノ思念ナルガ

故ニ、却ツテ、實相ノ思念ヲ支配スルハ、ミナラズ、其ノ總括的抽象ノ思念ナル性質ハ、其ノ抽象ノ基礎タル心相ノ思念ヲサヘニ支配スルモノナルコトヲ思フベキナリ。

コノ「品性」ノ概念ガ、或ル特殊ノ品性ヲ指サズシテ、アラユル品性ニ共通スベキ模型的ノ概念ヲ成ス場合ハ、人ノ思考ニ於ケル一種ノ根本的範疇概念ヲ成スモノナリ。

カクノ如キ品性ノ概念ガ、其ノ品彙分類ノ總括的抽象ヲ行フ難易ノ關係ニヨリテ、動的屬性ノ間ニ起リ難クシテ、靜的屬性ノ間ニ起リ易キ傾向アルハ、屬性認知ノ起源ノ前後ヨリ見ルモ、マタ、タゞ常識ニ訴フルモ、何人モ直チニ肯定シ得ベキモノナレバ、其ノ發展ノ順序ニ於イテ、種々ノ品性ノ概念ガ、マヅ、靜的屬性ニツキテ發展シ、後施イテ動的屬性ニ波及セシメラレシモノナルコトハ、疑フベキ所ナク、其ガ動的屬性ニ波及セラレタル時ハ、實ニ品性概念ノ盛大ニ達シタル時ナリシコト、マタ、想見スベキナリ。品性ノ思念ノ興起ガ漸ク盛大ナルニ至ル時ハ、其ガ普通ノ屬性ト差別アル關係ヨリシテ、其ヲア

品性ノ概念ト
語根

ラハスベキ語ノ新ニ——(其ノ一部分ハ舊言語ヨリ轉用セラレタルモノナルベケレド)——制作セラレザルベカラザル必要ヲ感ズルトトナルハ、自然ノ勢ニシテ、其ヲアラハスベキ言語ガ生起スルニ至レバ、其ハマダ、普通ノ屬性トノ關係ヨリ、語根トシテ成立スベキ關係ヲ存スルモノナリトス。其ノ故如何トナレハ、或ル屬性ノ思念ハ、既ニ一思念ヲ成セルモノナルガ故ニ、マヅ一語トシテ立ツベキ性質ヲ有スルモノナルニ、今、其ノ或ル屬性ノ思念中ヨリ、其ノ或ル屬性ノ思念ガ成立スル根本ノ性質ヲ取り出デタル品性ノ概念、スナハチ、一語ニテアラハサルベキ或ル屬性ノ思念中ノ根本タル部分ヲ取り出デタル一思念ヲアラハスベキ言語ヲ有セムトスルニ至レバ、其ノ言語モ、マダ、其ノ思念ノ性質ニ伴ナヒテ、其ノ屬性——(固ヨリ内想思念トシテノ屬性)——ヲアラハスベキ語ノ根本ノ部分タルベキ性質ヲ有セザルベカラザル下、自然ノ數ナレバナリ。

靜的屬性ノ品性ト語根

然レドモ、一方ヨリイヘバ、或ル屬性、特ニ靜的屬性ノ始メテ認識セラル、原因ハ、其ノ屬性ノ純粹ナル性質ニアリテ、品性ノ概念ヲ持シテ實相ヲ對

象トスル場合ニ於イテハ、其ノ屬性ノ純粹ナル性質スナハチ純粹ナル屬性ノ思念ハ、彌明白ナルモノトナリ、品性ノ思念ト、其ノ思念上ノ性質ヲ異ニスルコトコソハ、上文ニイヘルガ如クナレ、其ノ指ス究極ノ對象ハ、相互ニ同一ノモノニシテ、其ノ純粹ナル屬性ノ思念ガ、概念ヲアラハス符徴トシテノ語ニヨリテアラハサレムトスル場合ノ如キハ、一旦既ニ其ノ概念ト化シテ、再ビ其ノ本性ニ復ルモノトナルガ故ニ、カ、ル思念ノ内省化セラレタルモノト、屬性ノ内省化セラレタルモノノ總括的抽象ヨリ成レル或ル品性トノ區別ハ、タゞ其ノ思念ノ歴史ニヨリテノミ明ニシテ、其ノ結果タル兩概念ノ上ニ就キテハ、漸ク、別種ノ思念トシテノ確然タル牆壁ヲ築クベカラザルモノアルニ至ルベク、特ニ言語ノ表白ニ於イテ、之ヲ區別スベキ必要ヲ感ズル下、殆ンドアル下ナキニ至ルガ故ニ、靜的屬性ノ品性ヲアラハス語ハ、純粹ナル屬性ヲアラハス方ニ轉用セラル、トトナリ、コハ、品性ヲアラハス語根ハ、一語タルベキ資格ヲ享有スル機會ヲ得ル下アルニ至ルヲ以ツテ、其意義ヲ人ニ通ジ易キ點ニ於イテ、一語ト差等アル

動的屬性ノ品性ト語根

語根ノ制作的地位

「少キニ至ル」例へバ、なが「みじか」ほそ「ふと」あか「くろ」しろ「はや」おそ
トイフガ如キ語根ガ其ノ意義ヲ人ニ通ジ易キ「一語ト差異アルナキガ
如シ。

サレド、動的屬性ニ至リテハ、其ノ動的屬性タル性質上、先天的ニ隸屬的ノ
モノトシテ思念セラルベキ關係ヲ、主體タルモノニ有スル「深キガ故ニ、
靜的屬性ニ屬スル品性ヨリ來レルモノノ外、其ノ語根ニアラハサル、品
性ハ思念ハ一語トシテハ思念ヲ表白スル方ニ使用セラル、一ナク、其ノ
品性ハ思念ヲ起シシ根元ノ考察作用ニ溯リ、或ハ之ヲ繰リ返ス場合ヲ除
キテハ、其ノ品性ハ概念トシテ思考ニ上ル「少キヲ以ツテ、其ノ意義ヲ人
ニ通ズル「易カラズ。コレ、マタ、動的屬性ヨリ起ル品性ノ概念ガ、靜的屬
性ヨリ起ル品性ノ概念ヨリモ後ルベキ、自然ノ傾向ヲ示スモノナリ。

コノ品性ヲアラハスモノヨリシテ、語根タルベキ語ノ興起スル「ハ、制作的
言語ノ大成ニ取りテ、甚重要ナルモノナリ。何トナレバ、上文ニイヘルガ如
ク、内省化シタル思念ニヨリテ起ルベキ思念ノ(イ)ニ屬スルモノノ興起ハ、既

ニ制作的言語生起ノ權與ヲ成シシモノナレド、内想思念トシテ起ル「もの」ハ
概念ハ、在來ノ外想思念ノ如ク、實相ニツキテマヅ直覺的ニ感得シタルモノ
ヲ基トセズシテ、もの」性質ヲ分析總合シタル屬性ノ結合シタルモノニテ、
其ノ屬性ハ思念ハ、マタ、品性ハ概念ヲ基トスルモノナレバ、其ノ品性ハ概念
起リ、其ノ品性ハ概念ヲアラハスベキ符徵タル語根起ルニアラザレバ、内省
化シタル思念ニヨリテ起ルベキ「もの」及ビ屬性ハ、思念ノ表白ガ自由ニ且ツ
精密ナルヲ得ベキ境涯ニ達セザルベキ「明ニシテ、況シテ、其ノ屬性ハ、思念
ハ基本タル品性ハ、思念ヲ表白シ得ベキ途決シテ、關カルベキニアラザルヲ
以ツテナリ。然レドモ制作的言語ノ大成ニハ、ナホ、屬性中ヨリ、コノ品性ハ
概念ヲ成スモノヲ取り出シタルニ方ツテ、取り殘サレタル隸屬的ノ關係、及
ビ之ニ對スル他ノ關係ノ、次節ニ説カルベキモノハ、概念ヲツクリ、之ヲ表白
スル語ハ符徵ヲツクリ出スベキ境涯ニ至ルヲ待タザルベカラズ。如何ト
ナレバ、カクノ如キ概念ト其ヲアラハスベキ符徵トノ成立スルニアラザル
間ハ、内想思念ニツキテノスベテノ思考状態ノ寫シ出サルベキ機關ハ、イマ

ニハ、外想思念ヲ基トシテ抽象シ來タラレタル系統ヲ有シ、オノヅカラ消極的地位ニ立ツテ、暗ニ實相ニヨリテ支配セラル、所アル關係ヲ有スル、總括的抽象ノ内想思念ニハ、アラデ、全ク内想思念ヲ基トスル思念ノ嫡統トシテ、他クマデモ積極的ナル地位ニ立ツテ、逆サマニ實相ヲ支配シ包含スベキ關係ヲ有スル、總括的抽象ノ思念ナルニアリ。サレバ、其ノ總括的ニ抽象セラ、ル、モノハ、マタ、精神的ニ認めラル、或ル形式ナルヲ得ベシ。例ヘバ、「こゝろはへひと」がら「たうとち」「しやしや」トイフガ如キ總括的ノモノ、「やよし」げ「こゝろちよげ」「ちほらか」なごやかトイフガ如キモノノ、コノ種ノ概念トシテ成立シ得ベキガ如シ。

分拆的標準概念ハ、總括的ノ標準概念ノ分析セラレタルモノニシテ、其ノ關係ナ、ホ、モノノ思念ニ對スル「屬性ノ純粹ナル性質」ノ思念ノ如キモノナレバ、モノノ内想思念ニツキテノ總括的抽象ノ結果スナハテ總括的標準概念ノ分析セラレタルモノモ、マタ、一種ノ「屬性ノ純粹ナル性質」的ノモノナルベキナリ。コ、ニ於イテ、屬性ノ思念ニ關スル思念内容ガ分析的標準

準概念ヲ成ス、「モノ、オノヅカラ、其ノ間ニ起ルナリ。カクノ如キモノハ、ワガ國語ニ於イテハ、皆根辭げ」か、「ウチヲソヘタル語ヲ成スヲ以ツテ、ヨク識別シ得ラルベシ」。

其ノ他、「さそ」様あり「さま」こと「事」わ「ふ」業「資格」性質ノ如ク、或ル屬性ニ關スル内想思念ハ、上ニ行ハレタル總括的抽象ノ結果タル一種ノ名目ガ表自スル概念ニシテ、上交擧グル所ノ諸範疇概念模型概念等ニ入ラザルモノ、及ビ、考索上ノ思考作用ニ關スル一種ノ名目、例ヘバ、「比較」「總括」「抽象」等ノ名目、モシクハ、上來既ニ多ク擧示シタル諸思念ノ名目範疇ノ名目ノ類ガアラハス概念ノ如ク、思考ノ内省作用ノ對象タルベキ、或ルモノニツキテハ、總括的抽象ノ結果タル思念トシテ認めベキモノハ、マタ、コノ建設的標準概念ニ屬スベキモノトス。(但シ、諸思念ノ名目範疇ノ名目ガアラハス名目其ノモノノ概念ト其名目ノ下ニ包含セラル、或ル思念トテ混同セザルベキヲ要ス。)
一思想ヲ成セル内想思念(モシクハ、一思想ヲ成ス外想思念ノ内省化セラレタルモノ)ヲ對象トシテノ總括的抽象ノ結果タルモノハ、例ヘバ、代數學ノ或

總括的抽象ノ結果タル標準概念

ル式ノ數ニ關スル思想ニ於ケルガ如ク、幾何學ノ或ル定理ノ種々ノ形骸ニ關スル思想ニ於ケルガ如ク、思想ノ諸法式——(論理學及ビ文典ノ文素論中ニ論ゼラルベキ)——ノアラユル思想ニ於ケルガ如ク、此等ノ前者ハ、皆、後者ノウチヨリシテ總括的ニ抽象シ出サレタル建設的ノ標準概念ナリ。コノ標準概念モ、ものノ内想思念ヲ對象トシタル場合ノ如ク、總括的分析的ノ別ヲ有シ得ベキモノナレド、其ノ分析的ナルモノハ、其ノ式モシクハ思想ノ構成上ノ或ル關節ヲ成シ或ハ關節ニ方ル符徴モシクハ言語ガアラハス思念ヲ取り離チタルモノ——(式ニ於イテハ十一ノ類、思想ニ於イテハ辭根辭モシクハ特殊ノ套語ガアラハス思念)——モシクハ、此等ト共ニ一團ヲ成シタルモノ——(式ニ於イテハ、一團ノ特殊ナル部分ヲ成スモノ、思想ニ於イテハ、スナハチ、文素ガアラハス思念)——ニシテ、其ノ思想ニ關スルモノハ、別ニ詳論セラルベキガ故ニ、コノニハ具説セザルベキモ、ゆゑ、故「ため」爲「よし」(由)等ノ如キ特殊ノ套語ガアラハス概念ハ、コノ分析的標準概念ノ一例トシテ見ルベキモノナリ。

思想ノ或ル團結ヲ成セル内想思念ヲ對象トシテノ總括的抽象ノ結果タルモノ

思想ノ或ル團結ヲ成セル内想思念(モシクハ、思想ノ或ル團結ヲ成セル外想思念ノ内省化セラレタルモノ)ヲ對象トシテノ總括的抽象ノ結果タルモノハ、例ヘバ、「論理學」「心理學」「化學」等ノ學理ノ思念ノ如キモノナリ。必シモ、カクノ如ク廣大ナル範圍ノモノナラズトモ、物理學ノ一部分ナル「音響學」「光學」ノ學理ノ如キ、サテハ、心理學ノ一問題トシテノ身心ノ相關ノ學理ナラムモノ、「幻想」ノ學理ナラムモノ、ハタ、文典學上イフ所ノ「かゝりむすび」ノ學理「さげり」ノ區別ニ關スル學理ノ如キモノナラムニモ、苟クモ、學タリ「理」タル一團ノ思想ヲ成セルモノハ、皆、コレナリ。コノ故ニ、其々ノ學理、其ノモノヲ指シ、念、フ、場合ニハ、如何ナル語ニヨリテアラハサルハ、モ、ハ、ナリトモ、悉ク、コノ標準概念ニシテ、單ニ「學」トイヒ、理トイフ語ニヨリテ指シ、示サルラム廣キ思念ノ場合モ、マタ、同ジ。然レドモ、其ノ實際ノ學理本體ヲ指シ、念フニアラズシテ、外部ヨリ、タ、或ル⁽¹¹⁾一科ノ智識トシテノミ、想像シ、或ハ、或ル學理ニツキテノ研究ヲ記セル書ヲ指スモノトシテ、之ヲ想像スルガ如キアララムニハ、其ノ思念ハ、一ツノ「智識」トイフもの、「ふみ」トイフものノ思念ヲ成スモノニシテ、標準

概念ヲ成スモノニアラズ。廣ク「學」トイヒ「理」トイフ場合ニモ、マタ、其ノ「學」トイヒ「理」トイフモノノ理義ヲ思念スルニアラズシテ、空シク「學」トイヒ「理」トイフ「もの」ヲ想像スル思念ナラムニハ、決シテ、標準概念トハナラザルナリ。コノ標準概念ニモ、マタ、總合的分析的ノ別ヲ立テ得ベキモノナレド、其ノ性質ハ、毎ニ關係的ニ定マルモノニシテ、自我肯定ノ範疇ヨリ見テ全體的ニ肯定セラルモノハ、其地位、スナハチ、全體トシテ思念セラル、關係ノ「くらゐ」ヨリシテ、境遇的ニ總合的ノ標準概念ヲ成シ、部分的ニ肯定セラル、モノ、スナハチ、或ル學理ノ斷片トシテ思念セラル、事理ノ思念ハ、其ノ地位スナハチ、他ノ學理ノ斷片トシテ思念セラル、關係ノ「くらゐ」ヨリシテ、分析的ノ標準概念ヲ成スモノナリ。サレバ、眼界ノ小ニシテ疎ナルニ當ツテハ、總合的ノモノニシテ、僅ニ一思想ニ約セラル、モアルベク、眼界ノ大ニシテ精ナルニ方ツテハ、如何ニ多大ナル思想ヲ包含スルモノナリトモ、ナホ、關係的ニ分析的ノモノタルベシ。例ヘバ、或ル學理ニアラズシテ、アラユル「學」理ヲ總括シタル「學」モシクハ、「理」ノ思念ハ、殆シド、常ニ總合的ノ標準概念ナリト認メ得

ベキガ如クナレド、術「モシクハ」藝術ヲ以ツテ學理ニ準ジタル標準概念ヲツクリ、之ト對照セシムル時ハ、ナホ、分析的ノ標準概念タルベキ地位ニ下ルヲ免レザルガ如シ。斯クノ如クニシテ、總合的ノモノト、分析的ノモノトノ別ハ、全ク關係的ニ變化スルモノニシテ、常ニ一定ノ準繩ニ從フモノナラザルノミナラズ、之ヲ標準概念ト認ムルト認メザルトノ限界ニアリテモ、人ニヨリ時代ニヨリテ一律ナラザルモノアルベキヲ以ツテ、コノ種ノ標準概念ハ、スベテ、主觀的ナル動機ニヨリテ定マルモノトシテ之ヲ除外シ、コノ其ノ内容ノ價值ヲ論定スルヲ避クベクカ、ル種類ノ標準概念ノ性質ガ、文典學上多クノ注意ヲ要スベキモノニアラザルヲ知ルベキナリ。

(1) 單數「複數」ノ思念ガ指示スル種々ノ場合ノ實際ニ包含スベキ或ル「かず」其ノモノヲイフニアラズシテ、タゞ「單數」「複數」ノ名目ガアラハス思念、スナハチ「單」複「複」ノ思念、ナイフモノナレバ、ソノ思念ハ、ひとへ「一重」や「八重(多重)」ナドイフ思念ト同シク、「かず」ノ範疇概念ニハアラテ「かず」ニ關スル性質ノ一概念ヲ成スモノナリ。

(2) 其ノ「なま」つ「あま」つ「軍馬」「駄馬」ノ類モ、其ノ思念ガ成立シテ一定ノ語ニヨリテ表白セラルハ、ニ方ツテ、或ル特別ナルモノノ實際的ノ觀念及ビ概念ト、其ノ想像化セラレタル或ル種

類「し」ノ概念モシクハ觀念ト、其ノ種類ノ地位・性質ノ概念トヲ連帶セシメテ、思念ニ上
ス關係ヨリ、一語ニヨリテ、共通シテ表自スルニ至ル「マタ」同シ。

(3) 其ノ純正ナル範疇概念成立ノ後ニ出テタルモノニテ、コノ思考作用ヲ以ツテ産出シタル
「連リツマキタル」場合ノ如キモノナルベキハ、「遠」近「分析的」みち「應用的範疇概念」遠
近「し」と「はき」(總合的「みち」)「應用的範疇概念」内「外」分析的「しき」ノ應用的範疇概念「内」
「外」(總合的「しき」)ノ應用的範疇概念ノ如キコレナリ。

(4) 本編第一章九〇參照

(5) 本編第一章九一・同第四章一〇九等參照

(6) 今「品性」テフ語ガ、普通ニハ、靜的屬性ニ屬スルモノノ性質ニツキテノミ使用セラル、傾向
アルモ、マタ、心的傾向ノ如何ヲ見ルニ足ルベキモノナルベシ。

(7) 一語ヲ語根ニ擬シテ語幹トセルモノガ、例外ヲ成スベキ「ハ」固ヨリ、論ヲ需タズ。

(8) 此等ノ關係ニ對スル漢語ノ地位ハ、別ニ論述スル「アル」ベシ。上文ニモ註記シタル如ク、
漢語ハ頗ブル異例ノ性質ヲ有スルモノナレバ、スベテ、語想相關ノ正系ノ理論ヲ以ツテ推
スベカラザルモノ多シト知ルベシ。

(9) 「た、う」と「い、や」しきノ如キ思念ハ「もの」トシテノ屬性ノ之ニ擬セラレタルモノナリ。コ
ハ前文ニイヘルガ如ク、第三期ノ總合的思念ノ、外想思念トシテノ概念トナリ、内想思念ト
シテノ概念トナレリシモノガ、コノ種類ノモノノ感化ニヨリテ、更新セラレタル性質ヲ以
ツテ、完全ナル概念トシテ、コノ種ノ列ニ念出セラレタルモノニシテ、全ク、今ノ語ニアラハ

サル、ガ如キ概念ヲ成スモノナリト知ルベシ。下文「こと」ノ思念ニツキテモ之ニ準ジ
テ知ルベシ。

(10) 「上(夜)をさむみか」かぜをいたみ「テドイン」か「ソヘル」モノモ、此ノ性質ヲ存スレド、他ノ性
質ヲ兼テタル思念ヲ成スヲ以ツテ、オノツカラ、別ナリ。又、本編第一章九一ニイヘル「或ル
包皮アル屬性ノ概念」ノ條ニ「け」か「ソヘル」モノト共ニ例擧セラレタル「きよ」ノ如ク、「ら」
ノ根辭ソヘルモノノ如キハ、建設的ノ標準概念ヲ成スモノニアラズシテ、上文ニイヘル「内
省化シタル思念」ニヨリテ起ルベキ内想思念「ハ」ノ思念系ニ屬シ、タ、コ、ニイフ「新思潮
ニ應ジテ起ル内想思念」及「次節ニイフ「關係トシテノ關係ノ概念」ノ刺激ヲ受ケテ起レル
モノナル關係ヲ有スルノミ。カ、ル方ヨリ見レバ、其ノ根辭「ら」ハ、其ノ「ハ」ノ思念系ニ屬
スルモノトシテ擧ゲラレタル「れ」ニ「それ」ノ「れ」ト、伯仲ノ間ニアルモノナリ。「これ」「それ」
等ノ思念モ、彼ノ思念系ニハ屬スレドモ、其ノ正確ナル概念ノ始メテ起レリシハ、コノ「ら」ノ
ソヘルモノノ場合ト、全ク同シ刺激ヲ受ケタル曉ニアリシ「造語法」ノ關係上、疑フベキニ
アラザルナリ。(コ、)ニ擧ゲタル例ノ「なごや」か「ノ」上ナル「や」モ「ら」ト種類ヲ等シウスル
根辭ニシテ、なごナル語根ニソヒテ「なごや」テフ語ヲ成セルモノナリ。但シ「や」ノ根辭ニテ
終ル語ハ今ハ耳遠クナリテ「ら」ノ根辭ニテ終レルモノノ如ク通用セズ。古クハ、流用セシ
モノナリ。

(11) 幾何學ノ定理ハ、式・モシクハ、思想ノ特別ナル場合トシテ認メ得ラルベシ。

(12) コノ「辭」根辭等ハ、元來、「關係トシテノ關係ノ概念」トシテ起ルモノニテ、普通ノ場合ニハ、常

ニ其ノ種類ノ思念系ニ屬スベキモノナレド、關係トシテノ關係ノ概念其ノモノトシテ直接ニ觀察セラレズシテ、關係トシテノ關係ノ概念ヲ成ス思念トシテ間接的ニ一思念トシテハ表面上ハ資格ヨリ觀察セラル、時ハ、コノニ屬スルモノトシテ認メラル、チ得ルナリ。ナホイハバ、コノニ屬スルモノトナル場合ハ、一思想チ「もの三準」シテ其ノ思念ヲ構成スル一部分ノモノトシテ「云々」ハ關係「ノ」思念トシテ思念セラル、特別ハ場合ナリ。(本節ノ「其ノ三準」参照) コノ故ニカ、ル場合ニハ、「もの三準」セラレタル一思想ニ對シテ「レド」「もの三準」セラレタル屬性ノ場合ニ疑スベキ性質ヲ以ツテ立ツモノナリ。

(13) コノ総合的分析的ノ研究コソハ、文典殊ニ理論的文典ノ主眼タル對象ニシテ其ノ基礎ノ智識ヲ既ク本書并ビニ主眼ナル對象ヲ十分ニ分解説示セムトスル『續日本文典原理』ハ、實ニ、コノ目的ノ爲ニ提供セラル、モノナリ。

(14) 「術」モシクハ「藝術」ノ概念モ「學」ノ「理」等ニ對シ、之ニ準ツテ思念セラル、「レ」チ得ベキモノハ、マタ、之ニ準ツタル性質ヲ享有スルモノト知ルベシ。

(15) 材料タル事實タルニ過ギザルモノノ如キハ、其ミヅカラ「理」ニアラザルヲ以ツテ、分析的ノ標準概念ニアラザル「レ」イフマデモナシ。

(16) サレド、其ノ「學」モシクハ「理」ト「藝術」トノ上ニ、更ニ、之ヲ總格シタル「理」トイフ標準概念ヲ建設セムニハ、其ノ「理」ハ、マタ、総合的ノ標準概念タル「レ」チ得ベク、更ニマタ、其ノ「理」ニ對シテ「理」外ノ「理」モシクハ「虛偽」ノ「理」トイフ標準概念ヲ建設セムニハ、其ノ「理」ハ、マタ、分析的ノ標準概念タル地位ニ立タザルチ得ザルベキナリ。

前章ノ續キ
「關係トシ
テノ關係ノ
概念」

一〇七。 其ノ一 關係トシテノ關係ノ概念ハ、思考ノ内省作用ヲ需ツテ、始メテ起ルモノナリ。原始ニ、考索的作用ノイマダ渾沌タリシ時トイヘドモ、馬ノ艸ヲ喰フヲ見、親ノ子ニ食物ヲ授クルヲ見、「うま」ト「くさ」ト「おや」ト「こ」ト「食物」トノ關係ヲ思念スルコトナカリシニアラザルハ論ナシ。何トナレバ、其ノ關係ヲ思念中ニ置クコトナカラムニハ、其ノ事相ハ認得セラル、ニ由ナク、之ヲ認得スルコト能ハザリキトセバ、其等ノ人ハ、マタ、カクノ如キ事ヲ躬行スルコトガニ爲得ザリシモノナラズンバアルベカラズシテ、斯クノ如キ人ガ、今日ノ状態ニマデ發達シ得ベキ理由アルベカラザレバナリ。然レドモ、其ガ、全ク本能的作用ニヨリテ、タゞ、實相ニツキテノミ具體的ニ感得セラレタリシモノニシテ、抽象的ニ思念シ得ラレタルモノニハアラザリシ「レ」マデ、論ナシ。何トナレバ、事物ノ「關係」ハ、思考ノ對象トシテ、實相ニツキテ單獨ニ認識シ得ラルベキ本來的性質ヲ有スルモノニアラズシテ、其ノ實相ニツキテノ外想思念ヲ内省化シテ、之ヲ想象的ニ分析總合スルナル、圓成セル自由考索時代ヲ需ツテ、始メテ、思考ノ對象タリ得ベキ性質ノモノナレバナリ。

「關係トシテノ關係ノ二大別

ツレバ、コノ同一理由ハ、自由考察時代ニ入りテ、其ノ境遇的ノ本能力ガ時ニ
コノ時期ノ状態ト比肩スルヲアリヌベキ思考状態ヲ現出セシムルニ至レ
リシ結果トシテノ單位結合ノ範疇概念ナリトモ、ものニ準ゼラレタル「關
係」スナハチ、關係本體モシクハ關係ノ形式的屬性トシテ思念セラレタリシ
モノニシテ、イマダ、關係トシテノ關係、スナハチ、純然タル關係其ノモノノ思
念ヲ成サザリシヲ示スモノナリ。タゞ、コノ期ニ及ンデゾ、自我ノ認知ヨ
リ來ル内省作用ノ興起ハ、ものニ準ジタルものニ準ジタルモノナラザルモ、
ナホ、思考ノ對象、少クトモ、内省作用ノ對象タリ得ベキ思考上ノ變態ヲ起サ
シメタルガ故ニ、始メテ、ものニ準ジタル性質ヲ具セシムルヲナクシテ、關係
トシテノ關係トシテ思念ニ上リ得ラル、トハ、ナレルナル。

關係トシテノ關係ノ概念ニハ、マダ、オノツカラ、

(甲) 物相ニツキテノ關係ノ概念

(乙) 思考ニツキテノ關係ノ概念

ノ別チアリ。然レドモ、コノ別チハ、關係ノ概念ヲツクル、思考作用ノ根本ノ

關係ノ範疇概
念ノ影響的內
想思念トナレ
ルモノヨリ脱
化セル純粹ナ
ル關係ノ概念

動機ヲ異ニスルニヨリテ、成ルモノニシテ、同ジ準繩ニヨリテ別ル、モノニ
アラズ。其ノ(甲)ノ概念ヲ成スベキモノハ、考察的思念發展ノ過去ノ歴史ヲ
享ケテ自然ニ興起スベキ關係ヲ有スルモノニシテ、其ノ先發トシテ認ムベ
キモノハ、(一)單位結合ノ關係ノ範疇概念ノ、(二)期ニ入りテ内省化シテ、影寫
的內想思念ノウチニ入レルモノ、(三)在來ノマ、ものニ準ジタル資格ヲ帶
ブルモノヨリ、ものニ準ジテ、性質ヲ脱シテ、純粹ナル關係ノ概念トシテ、性
質ヲ帶ブルモノトシテ、化生シタルモノ、(四)スナハチ、漸次ニ關係ノ範疇概念ヨ
リ、脱化シタル關係ノ概念ナリ。カクノ如キ思念ガ、上述ノものノ內想、思念
ニツキテ、ハ、總括的抽象ニヨリテ得ラル、建設的標準概念ト品性ノ概念ト
ヲ生起セシメタル、心的作用ノ推演ニヨリテ、直チニ生起セシメラルベキハ、
言ヲ需タズシテ明ナルベシ。カクノ如キ關係ノ概念一度成立スル時ハ、思
考ノ内省ニヨリテ、スベテノ物相ニツキテノ內想、思念トシテ、苟クモ適當ナ
ル考察的ノ思考作用ヲ經タルモノハ、悉ク、或ル意味ニ於イテノ關係的思念
ヲ含蓄セシメザルコトナキヲ認ムベク、遂ニハ、在來ノ無意識的ニ覺知セラ

レタル思念ハ末ノ末ニ至ルマデ實ハ關係ノ思念ニヨリテ支配セラレ居タルコトヲ認めスベテハ實相モマタ或ル意味ニ於イテハ關係ノ支配ニヨリテ成立スルモノナルコトヲ覺知スルコトトナルベシ。勿論カクノ如キ觀察ヲ極端ニマデ引キ延バサムハ如何ニ時代ノ必要ニヨリテカ、ル方面ノ思索作用ガ境遇的ニ奮興シタリシ時期ナレバトテ恐ラク第六期時代ノ能クシ得ル所ナラザリシナルベキモ、少クトモ種々ノ方面ヨリ種々ノ意味ニ於イテノ關係ノ思念ヲ念出シテ、(一)ニヨリテ誘起セラル、純粹ナル關係ハ概念トシテ認ムベキ一種ノ思念ヲ起ストナリシナルベキハ疑フベキニアラズ。カクノ如キ純粹ナル關係ノ思念盛ニ起ル時ハ、マタ一方ニ(三)屬性ノ思念中ヨリ品性ノ思念ヲ總括的ニ抽象スルコトニヨリテ遺却セラレタル隸屬的ノ關係ヲバ、屬性ノ思念ト品性ノ概念トノ對照ニヨリテ醒覺的ニ省察シ來リ、其ノ屬性ノ思念中ヨリ總括的ニ抽象シ出ストナルベキハ、理ノ明ナル所ナリ。此等ノ概念ハ、スベテ、其ノ性質ニ於イテ、上述ノ建設的標準概念ニ準ズルモノニシテ、タ、其ノ關係ニツキテノ標準概念ヲ成スモノ

(一)ニヨリテ誘起セラル、純粹ナル關係ノ概念
隸屬的關係ノ概念

關係ノ標準概念
文典上ノ關係ノ概念

ナルコトニ於イテノミヤ、前者ト異ナルモノナルナリ。コノ故ニ、スベテ此等ノ思念ヲ概括シタル關係テフ概念ノ他ノ概念ヨリ區別セラレベキ種類のノ思念ヲ成スモノト共ニ、コノ三ツノ類別ニ當ルベキ物相ニツキテノ關係ノ概念ヲ名ツケテ、關係ノ標準概念トイフ。然レドモ、此等關係ノ標準概念ハ、文典學上關係ノ概念トイフモノトハ等シカラズ。文典上關係ノ概念トイフモノハ、コノ關係ノ標準概念ノ興起ニヨリテ、人ノ思考表白ノ機關トシテ、コノ標準概念ノ(三)ノ種類ヨリ出デテ更ニ特殊ノ立脚地ヲ占メ、特殊ノ發達ヲ遂グルニ至レル、一種ノ純粹ナル關係ノ概念ヲ成スモノニシテ、全ク言語ニ關スル一種ノ制作事業ト相需ツテ定マリ、制作的言語大成時代ノ思考状態ニヨリテ種々ノ民族ノ間ニ、必シモ、其ノ撰ヲ一ニセズ、其々ノ國語ニ規定セラレタル形式ニ伴ナフ、一種約束的ノ思考上ノ範疇トシテ、其々ノ國語ヲ使用スル民族ノ頭腦ヲ支配スルモノナリ。コ、ハ、ニ、思考ニツキテハ、關係ノ概念トイフモノハ、スナハチ、コレナリ。蓋シ、物相ニツキテノ關係ノ概念ノ(一)(二)ノモノハ、其ノ概念ノ内容的ノ

物相ニツキテノ關係ノ概念
(一)ノモノ
(二)ノモノ
ノ内屬的性質

内屬的ノ——性質トシテハ、ものトシテノ思念タル資格ヲ脱シ去リタリト
ハイヘ其ノ在來ノものトシテノ關係ノ純粹ナル範疇概念トノ價值上ノ差
異ハ、ナホ、甚少クシテ、之ヲ思念ニ上ス上ニ於イテモ、——ヨシ、思考ノ内省作
用ニヨリテ、始メテ其ノ存在ヲ認メラル、モノナルニモセヨ——トモカク
モ、物相ノ結合上ノ現象ヲ寫シ出シタル一思念トシテ立タシメラル、モノ
ナレバ、其ガ現象ヲウツス思念トシテ思考セラルベキ所、ナホ、境遇上ヨリ、知
ラズ、ノ間ニ、ものニ擬シタル或ル性質ヲ附加セラレ居ルモノトシテ認
メ、ラレザルベカラザル——外屬的ノ——性質ヲ存スルモノナリトイフベ
シ。然ルニ、其(三)ニ屬スル者ハ、一方ヨリ見レバ、(一)ト、同ジ、性質ヲ有スレド
モ、一方ヨリ見レバ、心相基礎ノ屬性ノ内想思念ハ、總括的ニ抽象セララルベキ
品性ノ概念ト其ノ隸屬的ノ關係ノ思念トノ結合セルモノニシテ、其ノ感得
覺知ニ於イテ、其ノ後者ガ、ツチニ前者ニ後ルベキ關係ヲ有スルトハ、オノヅ
カラ、其ノ後者スナハチ隸屬ノ關係ヲシテ、マヅ生起スル前者スナハチ品性
ハ概念ニ附屬スルモノトシテ認得セラルベキ傾向ヲ有セシムルヲ認ムベ

全上外屬的性質

二大別ヲ成ス
ベキ關係概念
分派ノ始メ

ク、特ニ之ヲアラハスベキ符徴ノ言語ヲ約束セムトスルルニ方ツテハ、——
(其ノ一方ヨリ見タル觀察ニヨリテ、境遇上ものニ擬シタル性質ヲ附加セラ
レ居ルモノトシテ認ムベキヲ、ナホ、(一)ノ如クナル隸屬的關係ノ思念、スナ
ハチ、甲ノ(三)ノ思念トハ別ニ——オノヅカラ、先取權ヲ有スル品性ノ概念ガ、
屬性ノ性質ヲ表自スルモノトシテ、マヅ語根ノ地位ヲ占ムルニ對シテ補助
ノ語根タル地位ニ立ツベキトナリテ、其ノ言語上ノ關係ヨリ、イヨク、其
ガ品性ニ對スル地位ヲ確定セシムルトナルベク、コ、ニ、制、作、的、言、語、ノ、成
立、行、ク、ト、共、ニ、内、省、作、用、ニ、ヨ、リ、テ、起、ル、關、係、中、ニ、ハ、ものニ擬シタル性質ヲ
附加セラル、關係ノ思念ト、品性ヲアラハス主タル語根スナハチ根言ト補
助ノ語根スナハチ根辭トガ屬性ヲアラハス語ヲ構成スルニ至レルニ伴ナ
ツテ、其ノ品性ノ概念ニ對シテ、ヨク、其ノ附屬的ノ地位ヲ守ル關係ノ思念ト
ガ、明ニ分流スルトナルベシ。コレ、スナハチ、關係ノ標準概念ト文典上ノ
關係ノ概念トノ分派ノ岐路ヲ成スモノナリ。
コノ後者タル關係ノ思念ニアリテハ、其ノ思念ハ、其ノ始メニアリテハ、前者

純乎トシテ純ナル關係ノ思念

タル關係ノ思念ノ(三)ノモノヨリ出デテ、オノツカラ別ノモノトナリタル關係上ヨリ、勢、境遇的ニ「もの」ニ擬シタル性質ヲ附加セラル、關係ノ思念ヲ基礎トシテ立ツモノトシテ、間接ニ、境遇的ニ「もの」ニ擬シタル(外屬的)ノ性質ヲ有スルモノトナルベキモノナレド、彌制作的言語ヲ成就セシメテ、根辭ヲ成ス言語ノ符徴ニヨリテ之ヲ表白スル慣性ヲ成スニ方テハ、其ノ關係ノ思念ハ、其ノ言語ノ符徴ニ宿ルモノトシテ、思念セラルベキトナリ、其ノ符徴スナハチ語トイフ「もの」ヲ、思考當面ノ對象トシ、之ニヨリテ、間接ニ、思念セラルベキトナルガ故ニ、間接ニ「もの」ニ擬シタル(外屬的)ノ性質ヲ境遇的ニ附加セラル、ヲ要セザルトナリ、遂ニ、境遇的ニ「もの」ニ擬シタル性質ヲ附加セラルベキ掣肘ヲ脱スルトナルベシ。カクノ如クナルニ至レバ、其ノ根辭ニ宿ル思念ハ、思念其ノモノトシテハ、全ク、純乎トシテ、純ナル關係ノ思念ヲ成スモノナリ。コノ故ニ、其ノ本來的性質ヨリ見テ、人ノ思念ニ上ル關係ノ思念中ニ、根辭ニアラハサル、モノ程純粹ナル性質ヲ有スル關係ノ思念アルヲナシ。然レドモ、一旦、考察的抽象ノ對象タル、内想、思念トシテ、思考中

思考ニツキテノ關係ノ概念トシテ立ツベキモノノ場合

ニ立タムトスルニ方ツテハ、其ノ言語トシテ思念セラル、カ、再境遇的ニ「もの」ニ擬シタル性質ヲ附加セシメラル、カニ出デザルベカラザルトナルベクシテ、其ノ言語トシテ思念セラルムトハ、言語ハ、思念ヲ宿シアラハスモノナレド、思念其ノモノニアラザルガ故ニ、勢不可ナルトアルベキヲ以ツテ、カクノ如キ場合ニアリテハ、根辭ニヨリテアラハサル、關係ノ思念、モ、遂ニ、境遇的ニ「もの」ニ擬シタル性質ヲ附加セシメラザルヲ得ザルコトスナハチ、(甲)ノ(三)ニ復ルコト多カルベシ。然ノミナラズ、根辭ニアラハサル、ガ如キ純粹ナル關係ノ思念ハ、第六期ノ如キ純粹ナルベキ時代ニ於イテ、ナホ且ツ、發展セザルベカラザル特殊ノ條件ノ下ニ、ノミ、發展シタリシモノニシテ、敢ヘテ、廣ク、關係ヲ、攻究セムトスルガ爲ニ、起レルモノニハ、アラザルガ故ニ、限界甚狹隘ニシテ、決シテアラユル物相ノ關係ヲ盡シ得ベキモノナラザルノミナラズ、其ノ或ル特殊ノ條件ノ下ニ成立シタル「關係」ノ思念ハ、其ノ始メニ於ケル少數ノモノニコソ、カクノ如ク純粹ナル性質ヲモ認メ得ベキナレ、一旦成立シタル後ニ於イテ、其ノ種類ニ屬スベキモノガ、永ク其ノ起原時代ノ狀

廣ク關係其ノ
モノヲ考察セ
ムトスル場合

物相ニツキテ
ノ關係ノ概念

態ヲ保ツベキニアラズシテ、其ノ或ル特殊ノ條件ノ性僻ヲ推シテ、サル方ニ種々ノ展開ヲ成シサル方ニ種々ノ概念ヲ生殖セシメ、却ツテ或ル複雑ナル性質ヲ混入シ、思念トシテモ、言語トシテモ、必ジモ純乎トシテ純ナル本原ノ性質ヲ保タザルモノトナリ、以ツテ、(乙)ノ種類トシテノ、思考ニツキテハ、關係ハ、概念、スナハチ、文典上ノ關係ノ概念トイフモノヲ成立セシムルモノナリ。サレバ、廣ク、關係其ノモノヲ、考察セムトスルニ、方ツテハ、スベテハ、關係ニツキテ、悉ク、境遇的ニ、もの、性質ヲ、(外屬的ニ)附加スル關係ハ、思念ヲ、ツクルヲ、撰バザルベカラザルトナリ、苟クモ、コノ時期以上ニ發展シタル國民ハ、如何ナル民族モ、皆カクノ如キ手段ニ訴ヘ、從ツテ、カ、ハ、ル、モ、ハ、ヲ、代表スル場合ニハ、實ニ、かゝり、あひ、關係トイフ、語ヲ、以ツテ、スル、極メテ、適當ナル、故ニ、カクノ如キ、概括セラレタル、思念ヲ、言語ニ、アラハズ、必要ヲ、生ズルニ、至レル國民ハ、マタ、皆、カクノ如キ、語ヲ、以ツテ、之ヲ、指示スル、トハ、ナレルナリ。サレド、其ノ(甲)ニ、屬スル、モノ、スナハチ、アラ、ユル、外、想、思、念、内、想、思、念、ヲ、ツクルベキ、對象、スナハチ、實、相、心、相、ニ、互、リ、テ、ハ、アラ、ユル、關係ヲ、網、羅、シ、得、ベキ、物、相

〔前項ノツ
ツキ〕

〔思考ニツ
キテノ關係
ノ概念ト言
語〕

思考ニツキテ
ノ關係ノ概念
ヲ發展セシム
ベキ特殊ノ原
因

ニ、キ、テ、ノ、關、係、ノ、概、念、ノ、委、曲、ヲ、盡、ク、サ、ム、ト、ス、ル、ガ、如、キ、ニ、至、ツ、テ、ハ、コ、ノ、ニ、イ
ヒ、試、ム、ベ、キ、コ、ト、ニ、モ、ア、ラ、ズ、試、ミ、得、ラ、ル、ベ、キ、コ、ト、ニ、モ、ア、ラ、ザ、ル、ナ、リ。

(1)關係ノ標準概念モ、マタ、逆サマニ、此ノ類推ニヨリテ、直接ニ、ものニ、擬シタル(外屬的ノ)性質ヲ、境遇的ニ、附加セラレ、狀態ヨリ、移リテ、間接ニ、境遇的ニ、ものニ、擬シタル(外屬的ノ)性質ヲ、附加セラル、狀態ニ、思念セラル、トナリ得ルニ至ルベシ。サレド、之ハ、特別ノ考察的思念ニ、ミ、必要ナルモノナレバ、學問上ノ推究起リテ後ノ事ナルベシ。

其ノ二

思考ニツキテノ關係ノ概念ハ、今説明シタルガ如ク、端ヲ(甲)ノ(三)ヨリ

分離シテ、根辭ニヨリテアラハサルベキ、思念ニ發シ、特殊ノ條件ノ下ニ、特殊ノ發展ヲ成シタルモノナルガ故ニ、今、其ノ特殊ノ條件トイフモノノ如何ナルモノナルカラ、説カムニ、マヅ、コノ時代ニ於イテ、屬性ノ隸屬的關係ヲアラハス根辭ト之ニ伴ナフ、思念トノ相持シテ、發展シタルハ、思考發展ノ自然ノ順序ヲ踏ムモノナレド、而モ、カクノ如ク、精微ナル思考ノ新境ニ進入スルハ、制作的言語成立ニ至ラムトシテ、イマダ成立セザル時代ノ分限トシテ、固ヨリ、思考其ノモノヲ、學理的ニ、研究スベキ、探求ノ嗜好ニ、乗ジテ、然ルモノナラザルベキコト論ナク、他ニ、當時ノ人ヲシテ、知ラズ、其ノ新境ニ、進入セ

ザルヲ得ザルベキ或ル要求ノ刺激ニ應ジテ然ラザルヲ得ザル地位ニ立タシムベキモノアリシニヨルコト明ニシテカクノ如キ要求ガ實ニ其ノ關係ノ思念ノ言語ト相需ツテ發展スルコトニヨリテオノツカラ證明セラルガ如クコノ期ニ入りテノ諸思念ノ發達特ニ種々ノ標準概念ノ成立ニ依リテ考察思考ノ上ニ起シタル大變態ニ伴フベキ言語ノ符徴ヲ生産セシムベキ必要ヲ感ズルコトナリシハ疑フベクモアラズ。然レドモタゞコノ要求ノミノ存在ハイマダ直チニ隸屬的關係ヲアラハス根辭ト其ガアラハス思念トノ生起ヲ見得ベキモノニアラザリシナリ。況シテ其以上ノ特殊ナル發展ヲ見ムコトハ言フモ更ナルコトナリシナリ。之ニ依リテ今コノ必要ト共ニ文典上ノ關係ノ概念ヲシテ順ヲ逐ウテ發展スルニ至ラシメタリシモノヲ按ズルニマツカハル要求ノ下ニハ在來ノ自然的ノ言語ノコノ時代ノ内想化シタル思念ヲアラハサムトシテ觀念ヲアラハス語ヨリ概念ヲアラハス方ニ轉用セラレタルモノハ上ニ品性ヲアラハスベキ概念ノ發展ニヨリテ得來レルモノヲソヘテ例ヘバ「うま」ノウチノ或ル種類ニ屬スルモノノ一

異同ノ區別ヲ標準トスル方針ヲ定ムルヲ

思念——在來ノ境遇的具體ニ或ル「うま」ヲ思念シタルマ、ノ系統ヲ存スル外想思念ヲツクリ之ニ其ニツキテノ内想思念ノ陰影ヲソヘテ思念スルガ如キ場合——「うま」ハサムトテ「しろ」ヲ「くろ」トイフガ如クニ一思念ヲアラハスベキモノトシテハ復成語ヲツクルコトノ始メ出サルベキハ自然ノ勢ナリ。然ルニ一方ニハ其ノ品性ヲ包含セル屬性ノ思念ハ「うま」ニツキテ思念セラレ「このうま」しろし「トイフ場合」如ク又「このしろき」うまトイフ場合ノ如ク或ル「もの」ト其ノ屬性トヲ二思念トシテ思考スル場合アルヲ以ツテコノ間ニ品性ノ思念ト屬性ノ思念トヲ區別スベキ言語ヲ有スル必要ヲ生ズル必至ノ勢ヨリシテ上文ニモイル如ク内想思念ヲ成ス屬性ト品性トノ差異ヲ成ス隸屬ノ關係ヲ屬性ノ思念中ヨリ取り出デテ其ヲアラハスベキ言語ノ符徴ヲ定ムルコトナルベシ。コノ故ニ新思念ノ興起ニツキテノ思考上ノ變態ニ伴フベキ言語ノ符徴ニ關スル要求ハコノ異同ノ區別ヲ明ニスルヲ標準トシテ其ノ要求ニ應ズベキ方針ヲ定ムルコトニヨリテ始メテ充足セラルベキ途ヲ得ルニ至レヲ知ルベシ。言ヒ更フレハ在

語彙ノ増殖ト
造語法

來、既ニ、自然的言語ノウチニダニ、時代ヲ逐ウテ、新思念ニ對スル新語ヲ附加シ來レリシモノナルコトシルク、其ノ歴史ハ、漸々ニ、持續増加セラレ來シモノナレド、カクノ如キハ、タゞ、語彙ノ増殖アルヲ認ムベクシテ、造語法ノ變化アルヲ認ムベカラズ。然ルニ如何ニ圓成セル自由考索ノ代トナレリトテ、其ノ種々ノ方面ニ出入シタルアラユル思念ヲツクスベキ言語ノ符徴ヲツクルニアラズンバ、其ノ考索作用ヲ自由ニ運用スルコト難ク、其ノアラユル思念ヲツクスベキ言語ハ——ヨシ、ものノ名ヲアラハス語ニ於イテ、其ノ觀念ト其ノ觀念ニ伴ナフ概念ト其ノ種類ノ地位ノ思念ト其ノ地位ヲ充タス性質ノ思念ト其ノ性質ヲ有スル者ヲ廣ク指ス思念トヲ擧ゲ得ベキニモセヨ——其ノ品性及ビ屬性ノ無限ノ分析總合及ビ「もの」品性、屬性等ノ占ムル無究ノ關係ヲ指示スルニ、一々特別ノ語ヲ以ツテスベキニアラザルヲ以ツテ、——(無限ノ言語ヲツクリ無限ノ言語ヲ記憶セムハ、到底人ノ堪ヘ得ベキ所ニアラザルガ故ニ)——之ヲ縮約スル道ヲ講ズルニアラズンバ、言語ト思想トハ、コ、ニ、其ノ發展ヲ停止セザルヲ得ザルベキトナルベシ。サレバ、苟

クモ、考索的、思考ヲ十分ニ發展セシム之ニ伴ナフベキ言語ヲ發展セシムベキ進取的ノ行動ニ出デム以上ハ、同異ヲ區別スルコトヲ標準トシテ、之ニヨリテ之ヲ縮約スル或ル手段ヲ取ラザルベカラザルコトナリ、從ツテ、造語法上ハ、一大變化ヲ起スコトナルベキハ、必至ノ勢ニシテ、スベテノ發達シタル民族ハ、皆、コノ必至ノ勢ニヨリテ支配セラレテ、コノ關門ヲ通過シタルナリ。勿論同異ニヨリテ對象ヲ區別スルハ、物相認識ノ第一義ニシテ、思考發展ノ最初ノ原始時代ヨリ、本能的作用ニヨリテ、自然ニ、同異ニヨリテ物ヲ識別スルコト行ハレ、爾來、之ニヨリテ、スベテノ發展ヲツツケ、在來ノ、自然的系統ノ言語サヘ、之ニ伴ヒテ裏面ニ多少ノ變動ヲ起シツ、コノ時期ニマデ馴致シタルモノニシテ、同異ヲ區別スルコトヲ準細トスルハ、スベテニ亘リテ、終始渝ラザル人ノ思考上ノ原則ナレド、在來ノ同異ノ區別ハ、皆、物相ニツキテ、同異ノ區別ニシテ、其ノ同異ノ區別ハ、スベテ、本能的ニ——或ハ境遇上本能的ニ——感得セララルベキ自然ノ區別ナリシガ故ニ、其ノ同異ノ區別ヲ準細トスルコトモ、實ニ無意識的ニ行ハレタリシナリ。言ヒ更フレバ、同異ヲ區別ス

唯一變通ノ道

ル、トヲ準繩トシタルモノトイハムヨリハ、寧ロ直チニ(物相ノ)同異ヲ準繩トシタルモノトイヒツベキモノナリシナリ。然ルニ、コノ自由考察圍成以時代ニ方リテ種々ノ關係モシクハ其ノ關係ニ關シテ起ル分析總合ニヨリテ得來ル無限無窮ノ思念ガ興起スベキトテ至レバ其ノ同異ノ區別モ至ク分析總合ノ手段ニヨリテ判定セラルトナルヲ以ツテ其ノ區別ハ明ニ意識的ノモノトナリ形勢大ニ變化シ來レルノミナラズ在來ノ直チニ同異(スナハチ自我ノ對象タル物相ノ同異)ヲ準繩トシタル區別ノミニテハナホ、上述ノ如ク無窮ノ思念ニ伴ナフ無限ノ言語ヲツクリ其ノ無限ノ言語ヲ記憶セザルベカラザルトナルガ故ニ其ノ變通ノ道ハ物相ノ末——(自我ヲ本トシタル眼ヨリ見テノ末)——ニツキテ同異ノ概括ヲ利用スルノ外ニ其ノ無窮ノ思念ヲ産出スル本源ハ心的作用ノ物相ハ同異ヲ概括スル場合ニツキテ其ノ範疇タルベキ形式ヲ省察シ其ノ形式ノ異同ヲ識別シテ物相ニツキテノ無窮ノ思念ヲ整理スル方法ヲ取ルニ外ナラザルトナルベクコトニ至ツテ其ノ思考狀態ハ同異ヲ準繩トナストイハムヨリハ、寧ロ

節約法ノ完成ト思考言語

同異ヲ區別スルトイフ準繩トストイフベク更ニ同異區別ノ心相ヲ準繩トストイフヲ適當トスベキトナルナリ。カクテ同異ヲ對象トシテノ概括——(物相ノ同異ノ心相)——ニ加フルニ同異ノ區別ヲ對象トシテノ概括——(物相ノ同異ヲ區別スル心相ノ形式)——ヲ以ツテシ思念ノ表白法ヲ節約シ得ルニ至レバ内想思念トシテノ概念ヲ基トシテノ言語ハコトニ成就セラハレベキ機會ヲ得テ逆サマニ考察作用ノ圓成ヲ輔ケ始メテ其ノ思考ト言語トガ提契シテ相進ミ相榮ニ彌發達ノ度ヲ高ムベキトハ成リ行クナリ。今進歩シタル思考狀態ニ達シ發展シタル言語ヲ有スル國民ガ程度ノ差コソアレトシテコノ方法ヲ取レリシ徵證ヲ言語ノ間ニ存セザルモノナク——(寧ロ制作の言語大成以後ニ退歩シタリシ形跡ヲ示スモノハアレド)——ナホ其ノ形骸ヲ守リテ其ノ方法ヲ渝フルト能ハザルハ遠ク原始ノ床シサヲ偲ブベキモノニシテ其ノ紀念ハ實ニ一方ニハ其ノ思念ト言語トニツキテノコノ方法ガ制作の言語大成以上ノ思考上ノ資格ヲ保ツ必要條件ナルヲ實地ニ示スモノニシテ一方ニハ幾千年ハタ幾萬年ノ太古ニ於ケル祖

先ガ考索的作用興廢ノ運命ヲ定ムル關係原ニ於イテ、ヨク頑強ナル要素ヲ破ツテ其ノ前進ヲ續ケタリシ勳章ノ、煤ケタルヲ傳ヘ、之ニ屬スル無量無期限ナル年金ノ餘澤ヲ受ケツ、アルヲ示スモノナリ。

蓋シ、人ガ自由考索圓成ノ時代ニ方ツテ、物相ノ同異ヲ、識別概括スル場合ノ心的作用ニツキテ、其ノ範疇タルベキ形式ヲ省察シ、其ノ形式ノ異同ヲ識別シテ、物相ニツキテノ無究ノ思念ヲ整理シタリシ方法、スナハチ、物相同異ノ心相——(物相ノ同異ヲ對象トシテノ概括)——ニ加フルニ、物相ノ同異ヲ區別スル心相——(同異ノ區別ヲ對象トシテノ概括)——ヲ以テシ、思念ノ表白法ヲ縮約シタリシ形跡ノ、今ニ按知セラルベキモノハ、實ニ、文典上ノ形式——(廣義ニ於イテノ)——ヲ成スモノノ上ニ存ス。而シテ、其ノ文典上ノ形式ヲ成スモノノ起源ガ、上述ノ如ク、ものノ思念ト品性モシクハ、屬性ノ思念トガ結合スル場合ノ異同ノ比較ナラザルベカラザル、思考發展上ノ趨勢ヲ有スルハ、疑フベカラザルコトニシテ、果シテ、斯クノ如クニシテ、思考ノ表白法縮約ノ道ヲ取リシモノ、スナハチ、制作的言語ヲ成就セシメタルモノナリトセ

原始的ナル制作の言語ハ六

第一原則

第二原則

第三原則

思念が言語ニアラハサルベキ場合ノ資格ニツキテノ原則

第四原則

バ、カクノ如キ状態ニヨリテ興起シタリシ當時ノ制作的言語ニハ、實ニ、左ノ如キ六ツノ原則ヲ抱含シタリシコトヲ見ルベシ。

一。ものノ思念及ビ屬性ノ思念ヲ成スモノハ、在來ノ自然的言語以來ノ慣性ニヨリテ、其々一語ニヨリテアラハサルベキコト。

二。品性ノ思念ガ言語ニヨリテ言ヒアラハサルベキ必要アル時ハ、一語ノ單位ヨリ低キ單位ナル語根ニヨリテアラハサルベキコト。

三。品性ト屬性トハ差異ヲ成ス、隸屬ノ關係ガ屬性ヨリ分離シテ、言語ニヨリテ言ヒアラハサルベキ必要アル時ハ、補助ノ語根スナハチ、根辭ニヨリテ言ヒアラハサルベキコト。

以上、一思念ガ言語ニアラハサルベキ場合ノ單位トシテハ、資格ニツキテノ原則。

四。語根及ビ補助ノ語根ハ、轉ジテ一語トシテ立ツベキ資格ヲ享有スベキ意義上ノ變化ヲ起ス——(スナハチ、品性ノ思念モシクハ、關係トシテノ關係ノ思念ガ、或ル意味ニ於イテ、ものトシテ思念セラルベキモノト

第五原則

ナレル場合) — ニアラザレバ、他ノ語、モシクハ語根ト結合スル場合ニ於イテ、スベテ一語ヲ成シテ、二語以上ヲ成サザルベキナリ。

五。一語トシテ立ツベキ語ハ、語根ト結合スル場合ニハ、一語ヲ成スヲ得ベケレド、他ノ資格ヲ取ルベキ、或ル意義上ノ變化ヲ起スニアラザレバ、他ノ一語トシテ立ツベキ語ト結合スル場合ニ於イテ、スベテ別々ハ語トシテハ結合ヲ成スベキナリ。

語及ビ語根ノ結合上ノ約束ニツキテノ原則

第六原則

以上ノ二ツハ、始メノ三原則ニヨリテ、語及ビ語根ノ結合上ノ約束ヲ見ルベキモノ。

六。補助ノ語根ニアラハサルハ、モハハ、或ル思念ト他ノ思念トノ差異ノ點ヲアラハスベキモノナルモ、其ノ差異ノ點ハ、⁽¹⁾ノ思念ヲ成スモノニモアラズ、屬性ノ思念ヲ成スモノニモアラズシテ、其ノ思念以外ニ立ツベキ關係トシテハ、關係ノ思念ヲ成スベキモノナルナリ。

此等ハ皆、極メテ單純ナルモノニツキテノ觀察ノ結果ナルガ故ニ、其ノ發展ニ伴ナヒテ起ル類推作用ハ、種々ノ場合ヲ醸成スルニ至ラジメタルナリ、論ヲ

語根時代ノ肯定

ク之ニヨリテ推演變化セシメラレタル種々ノ場合ト認ムベキモノノ、却ツテ上述ノ原則ニ背反スルガ如キ外觀ヲ呈スルニ至レルモノコソハアレ、此等ノ原則ガ、考索的思考ノ發展上自然ニ起ルベキ言語ノ正系ナル理致ニ當ルモノナルコトハ、爭フベカラズシテ、アラユル言語ニ亘リテ、根本ヨリ此等ノ原則ヲ破壞スベキ證據トナルベキモノハ、アルコトナキガ如シ。

コ、ニ注意スベキハ、此等ノ原則ガ、第二編第十二章六〇ニ、恰モ此ノ時期ニ方リテ、種々ノ抽象分析ノ結果、語ノ實質ヨリ溯源的ニ見出サルベキ語根ノ最單純ナル形ト一致スベキ概念ヲ以ツテ充タサレタリシ語根時代アリテ、種々ノ性質ノ國語ハ、年代ヲ重ナル間ニ、此ヨリ分裂シタルモノナル由ヲイヘルト、矛盾スルガ如クニ感得セラル、⁽²⁾ノアルベキナリ。

此ノ語根時代ノ事ニツキテハ、本文中ニ立テ入リテ論ズベキ餘地ナキヲ以ツテ、コ、ニ、其ノ關係ヲ辯説スベシ。

マツ、屈曲語添成語等ノ總示語ニツキテ西人ノ研究セル所ニヨルモ、分示語タルワガ國語ニツキテ吾人ノ研究ニ得タル所ニヨルモ、スベテ、語ノ構

造法ニヨリテ分解シ得ベキモノヲ分解シ溯源的ニ其ノ原始ヲ視フ時ハ、
 語ハ皆語根モシクハ補助ノ語根トナルベキ性質ヲ有スルトナルヲ以
 ツテ少クトモ此等ノ國語トモニ殆ンド語根ノミハ時代アリシハ語形ハ
 上ヨリ分明ノトニシテ語形既ニ斯クハ如クナレバ其ハ言語ヲ使用シ出
 シタル時代ガ語根モシクハ補助ノ語根ガアラハス如キ概念ヲ以ツテ充
 タサレタリシ時代ナリシトマタ分明ナリ。カノ漢語ノ如キ不帶根辭語
 モ其ノ語根及ビ補助ノ語根ガ直チニ一語トシテ思念セラルハニ至レリ
 シモノトセバ毫モコノ解釋ヲ妨ゲザルノミナラズ却ツテ其ノ結論ヲ助
 クルモノナリトイフベク亞米利加ノ土人中ニ語根のモノノミヲ以ツ
 テ一思想ヲアラハス言語ヲ存スルモマタ其ノ翼證タリ得ベキモノナル
 一既ニイヘルガ如クニシテカハル國語ト漢語トハ一方ニ於イテ非常ニ
 大ナル差異ヲ有スルモノナルニモカハラズ或ル意味ニ於イテ五十歩
 百歩ハ状態ニアルモノトセムモ不可ナルトナカルベクカクテ殆ンド國
 語ト稱セラルベキモノハハスベテニ直ツテコノ證據タリ得ザルモノハア

制作的言語ノ
原則ノ肯定

ルナキガ如シ。コノ故ニ語根時代存在説ハ決シテ否定スベカラズ。
 然レドモ一方ニ於イテ人ノ思考發展ノ歴史ヨリ見テ——言語ノ原ヲ神
 異ニ托セムトスル舊思想ヲ繰リ返スニアラザルヨリハ——人ノ思念ガ
 概念ヲ以ツテ始マルベキニアラザルハ論ナキトニシテ概念ヲアラハス
 符徴トシテノ言語ナル制作的言語ヲ成スニ至ル迄ニ物相ニツキテ直
 覺的具體的ニ其ノ其ノ其ノ屬性ヲ思念シタリシト明ニ其ノ思念ヲ表
 スベキ自然的ノ言語ヲ有シタリシトマタ決シテ疑ヲ容ルベキ所ナク盛
 ニ概念ヲ生起シ概念ノ符徴トシテ言語ヲ使用スルニ至リタレバトテ從
 來ノ自然的言語ノスベテノ歴史ヲ捨テ去リ根本ヨリ新設ノ言語ニ移ラ
 ムトスルガ如キハマツ事情上殆ンドアリ得ベカラザルモノナルヲ言ヒ
 得ベキノミナラズ如何ニ概念ノ符徴タル言語ヲハミ使用スレバトテ言
 語ガ元來實際的ノ思念ヲアラハス爲ノ機關ナル以上其ノ日常ノ實用ニ
 供セラル方面ヨリシテ自然的言語時代以來繼續シテホ實相ノ思念
 ヲ起ス上ニ自然ノ約束ヲ成スベキ思念單位ノ模型ヲ破リ在來ノ一語ト

制作の言語ノ
原則ト語根時
代トノ關係

思念シ來レリシモノニ對シテ其ノ思想上ハ習慣ヲ捨テ去リツベキ機會
ノ來リ得ベキニアラザルト、思索作用ノ最自由ヲ極ムル今日ニ於イテサ
ヘナホ且ツ然ルニ徴シテモ、明白ナルヲ以ツテ、本文ニイヘルガ如キ
制作的言語ノ原則ノ確立スベキ理ハ甚明ナリトイフベク之ヲ上述ノ如
キ語根補助ノ語根ノ生起スル理由ニ徴シテ、彌動カスベカラザル根低ヲ
有スルヲ認メ得ベシ。而シテ、コノ結論ハ、一見語根時代ノ存在ト相容レ
ザルモノナルガ如キ感格ヲ起サシムル價值ヲ有スルガ如クナルベシ。』
サルニテモ、コノ二ツノ結論ハ、必シモ、撞着スベキモノニアラズ。何トナ
レバ、語根時代存在ノ思念ハ、モト、其ノ結論ヲ誘起シタル推究ガ明ニ示ス
如ク、言語ノ構造ヨリ見テ、分析ニヨリテ、其ノ素子(スナハチ語根)アルヲ
認メ、其ノ分析セラレタル素子ニ伴フベキ概念ノ存在ヲ認ムルモノナ
ルガ故ニ、其ハ、タ、制作的言語大成ノ時ニ方ツテ、語根ガアラハス如キ概
念ヲ以ツテ充タサレタル時代アリキトイフノミニシテ、其ノ價值、言語
ハスベテ概念ハ符徴トシテ成立ストイフトヨリ一步ヲ進メテ、其ノ概念

「語根」ノ概念
ノ異同

ハ、皆語根ガアラハス概念ニ分解シ得ベキモノナリトイフニ過ギザルモ
ノナルヲ以ツテ決シテ、人ノ思念ガスベテ語根ガアラハス概念ノミニシ
テ他ノモノナシトイフトハ、含ムベキモノニアラザルハ、固ヨリ特殊ノ説
明ヲ要スルマデモナク、直覺的ニ感得シ得ラルベキ一ツノ物躰ヲアラハ
ス語ガ二ツ以上ノ語根ヨリ成レル場合ニ於イテ、其ノ二ツノ語根ガアラ
ハス概念ノ外其ノ物躰一ツトシテノ思念ハ却ツテ存在ヤザルモノナリ
トイフガ如キトノ空想スルコトダニモナシ得ベキニアラザル以上、全ク自
明ノ事ナリトイフベクシテ、從ツテ、語根ガアラハス概念ヲ以ツテ充タサ
ル語根時代ノ存在ノ認知ハ、毫モ語根ヨリ一階級ノ上位ニ位スル單位ナ
ル「語」ノ思念ノ存在ヲ拒絶スルモノニアラザルコト、オノヅカラ明ナレバ
ナリ。(但シ、此ノ間ノ關係ニツキテ、ナホ注意スベキハ、コノ「語根時代」ノ語
根テフ概念ニシテ、ソハ、上來コノ章ニ述べ來レル「語根」スナハチ品性ヲア
ラハス語根ノミニハアラデ、今コノ本註ノ下ニ言ヒ出デムトスルモノニ
テ、元來「もの」ノ思念ナレド、更ニ語根ニ分析スベカラザルモノニシテ、語根

自然的言語ト
制作的言語ト
ノ移動ニツキ
テノ關係

ト混淆シテ、ナホ語根ハ側ニ收容セシム得ベキモノヲ包含シ居ルモノナルガ故ニ、コノ原則ニイヘルモノトハ、ヤ、語義ハ廣狹ヲ異ニスルモノト知ルベシ。何トナレバ、其ノ「語根」ノ概念ハ、始メヨリ、種々ノ抽象分析ノ結果、語ノ實質ヨリ溯源的ニ見出サルベキ語根ノ最單純ナル形ヲ指スモノナルヲ以ツテナリ。

サレド、ナホ、自然的言語ト制作的言語ト大成セムトスル此ノ門出ノ原則トノ關係、及び此ヨリ出ヅル國語ノ性質上ノ別チニ關スル點ニツキテ、一言ノ辨ヲ取ラザラムニハ、ナホ、コノ時代ニツキテノ正當ナル概念ヲ得難カルベキガ故ニ、聊其ノ點ニツキテ本文ヲ補説セムニ、自然的言語ノ起因ガ、一方ニハ、外物ノ叫鳴音響ヲ模擬シ、一方ニハ、種々ノ感情ニ伴ナフ自己自然ノ發聲ヲ用ヰテ自己ノ情意ヲ述ブルニアリケムモ、コノ時代ニ至ル迄ニハ、自他自然ノ音聲ノミナラズ、種々ノ關係ニヨリテ、種々ニ之ヲ推演更新シタルモノヲ以テ、種々ノ情緒物相ヲ表白シタリケムヲ明ニシテ、此等ガ其ノ始メニ於イテ、殆ンド、一音節ノモノ、モシクハ、之ヲ重ネタルモノ

ナリシナリケムハ、ホ、推知シ得ラルベケレドモ、コノ期ニ入りテハ、更ニ、概念ヲアラハス符徴ノ方ニ其ノ言語ヲ移用セシ傾向サヘ語根及ビ補助ノ語根ノ成立ニ先立ツテ既ニ生起セシモノナルベキ程ノ世トナレリシモノナレバ、漸々ニ複雑ナルモノト成リ來ル思念ドモヲアラハス語ドモガ皆一音節ノモノナリキトハ、到底信ズベカラズシテ、二音節ヲ結合シテ相別チシガ如キヲモ、マタ、既ニ始マリ居リシモノナルヲ推知スベキナリ。サレバ、彌制作的言語ノ大成セラレムトスル機運ニ逼リテハ、(イ)新ニ補助ノ語根ヲツクリ出デテ、在來ノ語ニ添加セシモアルベク、(ロ)語根ト補助ノ語根トヲ共ニツクリ出デテ、一語ヲ成シシモアルベキト共ニ、(ハ)在來既ニ意氣ノ緩急ニ應ジテ自然ニ發スル整調的ノ無義ノ聲音ノ既定ノ或ル語ニ添加スル習アリテ、自然ニ語形上ヨリ根辭ノ嚮導ヲ成シシ觀ヲ呈シケムガ直チニ根辭スナハチ補助ノ語根トシテ、或ル意義ヲ帶ズルトナレリシモアルベケレド、又、(ニ)既定ノ語中ニ音節以上ノモノニアリテ、オハツカラ其ノ語音ヲ分割シテ語根ト補助ノ語根トニ別チテ、其々ハ符

徴トセシモアルベキナリ。サレド、要スルニ、在來ノモノノ根辭タリ得ベ
 ギモノハ、其ノ數甚少カリシナルベケレバ、多クハ、聲音上ノ性質ハ自然ハ
 傾向ニ或ル意義ヲ附會シテ、漸々ニ根辭ヲツクリ出デテ、在來ノ語モシク
 ハ、新生ノ語根等ニ添加セシモノナルベク、マタ、ものノ稱呼ハ、境遇的ハ或
 ル特別ナル状態ヲ區別スル場合ハ、外、根辭ヲ添加セラルベキ必要比較的
 ニ多カラザルベキモノナレバ、特ニ新概念ニヨリテ表白セラルベキモノ
 ナルニアラズンバ、在來ノ語形其ノマ、ニ語根ト伍シテ使役セラレ、或ル
 意味ニ於イテ、一語スナハチ一語根一語根スナハチ一語トシテ混淆セラ
 ルベキ性質ヲ有スルモノナレド、——(ナホ、長キ年月ノ間ニハ、漸次ニ、新概
 念ニヨリテ表白セラル、トナリテ、流行ヲ逐ウテ新陳代謝シ、以ツテ舊
 形ヲ一洗シタルヨリ、始メハ、語根ト混淆セラルベキ性質ヲ有スルモノヲ
 シテ、然ラザル様ニ變化セシメタルモ、頗ブル多キガ如シ。サレド、語源ノ
 明ナラザルニ至レルヨリ、其ノ反對ノ現象ヲ呈スルニ至レルモノモ、マタ
 コレアリ。——スベテハ、屬性ニ關スルモノニアリテハ、其ノ性質甚もの

制作の言語興
起の時勢ヲ十
分ニ利用シタ
ル場合

制作の言語興
起の時勢ヲ十
分ニ利用シタ
ル場合

比較的ニ最利
用ヲ欠キタル
場合

ノ思念ヲアラハスモノト異ナリ、苟クモ時勢ヲ十分ニ利用セム以上、品性
 モシクハ、屬性ノ性質ニ對スル思念上ノ關係ヲ保ツ本來的性質ヨリシテ、
 勢——上述ノハ(ニ)ニ當ル場合ノ外——品性ハ思念モシクハ、屬性ノ性質
 ハ、思念ニ當ツルニ在來屬性ハ、思念ヲアラハシ來リシ語形ヲ以ツテシ之
 ニ或ル根辭ヲソヘテ、其ノ屬性トシテハ、場合ヲアラハストスベキ傾向
 ヲ存スルモノニシテ、——(ワガ國語ニ於イテ、品性「屬性」ノ性質ニ對シテ、屬
 性其ノマ、ノ思念ヲ區別セムガ爲ニ、靜的屬性ニハ必ラズ、⁽⁵⁾「_し」ノ根辭
 ヲソヘ、動的屬性ニハ必ラズハタラキヲ成ス根辭ヲソヘテ、相別ツガ如キ
 ハ、コノ點ニ於イテ、十分ニ時勢ヲ利用シ得タル例ヲ成スモノナリ。——
 其ハ利用ハ十分ナラザラム場合ニハ、品性「モシクハ」屬性ノ性質ハ、思念ト
 「屬性」ノ思念トニ、一ツ語形ヲ流行シ、タハ、屬性ハ、境遇的ハ、特別ナル状態ヲ
 區別スベキ根辭ヲ添加スルモノナルトモ、マタ、アリヌベキモノナルナリ。
 ——(カノ屈曲語ナル印度歐羅巴語ハ、概シテ、之ニ當ルモノナルガ如シ。)
 ——サレド、更ニ其ノ極端ニ馳スルモノニアラムニハ、ものニ於イテ、一語

根ト一語トノ思念ヲ混淆スル傾向トコノ屬性ノ通用トノ關係ニヨリテ、
 施イテ、其ノ國語ヲ舉ゲテ、殆ンド「一語ト」一語根トノ區別ナキモノタラシ
 ムベキ餘地ヲ有スルモノニシテ、カノ漢語及ビ亞米利加ノ土人中ニ使用
 セラル、言語ノ如キハ、コノ例ニ當ルモノトスベク、カ、ル國語ノ特性ト
 シテ、屬性ニ關スル文典上ノ形式——(勿論、其ノ他ノ文典上ノ形式モオノ
 ズカラ之ニ伴ナフベキモノナレド)——ヲ成スモノノ貧乏ナルコトハ、確ニ、
 其ノ利用ノ度ニ於イテ最欠如シタル境涯ニ立テリシコトヲ證明スルモノ
 ナリ。

ナホ、コ、ニ注意スベキハ、コノ「品性」ト「屬性」ト「思念」ト「關係」
 ニシテ、其ノ間ノ區別ニツキテハ、既ニ上文ニイヘル所ナレド、品性ヲアラ
 ハス語根ト「モノ」モシクハ屬性ヲアラハス一語トスラ、互ニ混同セラル、
 「アル」ニ至レル言語上ノ趨勢ハ、思念ノ上ニ於イテモ、語根ヲ成ス「品性」ト
 タ、一步ノ隔テニテ一語ヲ成ス「屬性」ト「混淆」スルコトノアリ得ベ
 キハ、自然ノ勢ニシテ、特ニ、語源ノ漸ク蒙塵ニ附シ、語根ノ利用甚遲鈍ナル

「品性」ト「思念」
 「屬性」ト「關係」
 「ハ」ト「混淆」

原始的ナル制
 作的言語ノ原
 則ヨリ推演シ
 テ、却ツテ、其
 ノ原則ニ背反
 スルが如キ觀
 ナルヲ至
 リタル四法則
 第一法則
 第二法則
 第三法則
 第三法則附則

ニ至レリシ代ニアリテハ、「品性」ト「屬性」ト「性質」トノ思念上ノ混淆漸ク盛ニ
 シテ、コ、ニイフガ如キ特別ナル思索的思考ニ於イテ之ヲ判別スルコトノ
 外、其ノ區別、遂ニ明ナラザルニ至レルコト、コレナリ。
 而シテ、之ニヨリテ推演變化シタリト信ゼラルベキ場合ヲ檢スルニ、其ノア
 ラユル現象ハ、實ニ、左ノ如キ簡單ナル法則ニヨリテ概括スルコトヲ得ベキモ
 ノノ如シ。

- (一) 一語(モシクハ、一語以上)ハ、語根ニ擬シテ、取り扱フニ至ルベキコト。
- (二) 二語以上ハ、語ノ叢リ(モシクハ、文ヲ成スベキ語ノ叢リ)ヲ、一語ニ擬シテ、
 取り扱フニ至ルベキコト。
- (三) コノ(一)ノ場合ハ、一方ニ、一語ハ、資格ヲ低視スル傾向ヲ生ズルト共ニ、
 他ノ一方ニハ、根辭ノ資格ヲ高ムル傾向ヲ生ジ、語ト語根トノ中間ニ立
 ツベキ一種ノ語(スナハチ辭)ヲツクリ出ストアルニ至ルベキコト。

此ノ傾向ハ、一方ニハ、根辭ヨリ出デテ辭トナルモノアラシムルノミ
 ナラズ、轉ジテ、辭ナラヌ語トナルモノヲサヘニ生ゼシムルト共ニ、一

第四法制

方ニハ辭ナラヌ語ヨリ出デテ辭トナルモノアルニ止ラシメズシテ、
 根辭ノ如キ資格ヲ具フルモノヲサヘ出サシムルニ至ルベキト。
 (四)語根(根言、根辭)モシクハ之ニ擬準セラレタルモノハ結合セル既定ノ成
 語ヲ慣用シテ其ノ成ヲ仰グ時代ニ至リテモ語根ニ擬準セラレタル語
 (モシクハ語ノ叢リ)ニ添加スルト多キ根辭一語ト成リモシクハ一語ト
 シテ轉用セララル、⁽⁹⁾アル語根ニ添加セララル、⁽¹⁰⁾多キ語根(根言、根辭)ハ、
 其ノ添加スベキ語モシクハ語根トノ區劃分明ナルガ故ニ語ノ間ニ立
 チマデリテ永ク其ノ特色ヲ保ツニ反シ、語根(根言、根辭)ニ擬準セラレタ
 ル語(モシクハ語ノ叢リ)又ハ一語ト成リモシクハ一語トシテ轉用セラ
 ルベキ語根ニ添加セララル、⁽¹¹⁾少キモノハ前者及ビ一語トハ階段漸ク
 隔離シテ年代ト共ニ遂ニ其ノ語根トシテハ意義ヲ晦蒙ナラシムルニ
 至リ、特殊ノ研究ヲ需ツニアラズンバ殆ンド分別スルト能ハザルモノ
 アルニ至ルベキト。

此ノ場合ニハ音韻上ノ轉訛ニヨリテ其ノ結合セル語形ヲ察シ行ク

第四法制附則

第三法制トソ
ガ國語

思考表白法ノ
縮約手段ト現
今

「アルヲ以ツテ更ニ其ノ晦蒙ノ度ヲ甚シウスルニ至ルベキト。」

コノ四ツノ法制ヲ成ス趨勢ハ自然ニ原始ニ於ケル制作的言語ノ變遷ヲ起
 ス言語固有ノ原因トシテ立チ會テ原始的ノ制作的言語ヲ成シタリシ各民
 族ノ國語ハ之ニヨリテ種々ニ發展セシメラレ淘汰セラレテ外部ヨリ來ル
 原因ヲサヘ加ヘ受ケテ其々ノ民族ノ頭腦相當ノ消長ヲ經來レリシモノニ
 シテワガ國語ニ於イテモコノ四ツガ皆其ノ威力ヲ振ヒタリシ徵證ハ言語
 ノウチニ傳ヘラレ中ニモ(三)ノ趨勢ノ如キハワガ國語ヲシテ史前ノ原始時
 代——(恐ラクハ制作的言語大成時代ノ末期)——ニ於イテ分示式ノ國語タ
 ル本性ヲ有セシメタリシモノナルガスベテコノ根辭及ビ根辭ヨリ出デタ
 ル辭又ハ辭ナラヌ語ヨリ來レル辭(モシクハ此等ノ代用ヲ成スベキインフ
 レクシヨ)ニアラハサル、思念ハ實ニ上述ノ如ク思念ノ表白法ヲ縮約ス
 ル目的ノ爲ニ物相ノ同異ヲ區別スル心相ヲ言語ニ利用シタリシ結果トシ
 テ自然的言語ニ對シテ造語法上ノ變化ヲ起シ以ツテ制作的言語ト考察的
 作用トヲ完成セシメタリシモノニシテ今モテホ其ノ衣鉢ヲ傳ヘテ言語ノ

文典上ノ形式
ヲ成ス關係ノ
概念研究ノ假
値

効用ヲ全ウシ人ノ考察ヲ自由ナラシムル機關トシテ立チ、其等ヲアラハス
 言語——(根辭辭、モシクハ、インフレクシ、ヨン)——ハ、如何ニ、其ノ原形ヨリ推
 演變化シタルモノアルニモセヨ、物相——(内想、思念、外想、思念ヲ成スベキ、ア
 ラユル物相)——ノ同異ノ心相ノ符徴トシテ立ツ「もの」屬性「品性」等ヲアラハ
 ス、言語以外ニ、物相ノ同異ヲ區別スル心相ノ符徴トシテノ地歩ヲ占メテ、或
 ル「もの」屬性「品性」等ハ、思念ヲ成スモノハ、或ル關係ヨリ思想上ニ區別セラル
 ベキ場合ニツキテ、其ノ關係上ノ差異ヲ成ス、思想上ノ形式ヲ抽象シ出シタ
 ルモノヲアラハス、言語トシテノ性情ヲ具有シ、其ノ關係ノ思念トシテハ立
 脚地ヨリ見レバ、物相ニツキテノ關係ノ概念ニ對シテ、思考ニツキテハ關係
 ノ概念ヲ一團體ノ思念ヲ成スモノナルヲ、遂ニ變更スルヲナシ。コノ故
 ニ、思考ニツキテノ關係ノ概念ノ研究ハ、考察的、思想的、發展ノ歴史ニ於イテ、特
 ニ重視セラルベキモノニシテ、人ノ思想ガ、知ラズ、ハ、間ニ、言語ニヨリテ
 感化セラレ、了ルモ、主トシテハ、實ニ、コノ關係ノ概念ガ、其ヲアラハス、言語ト
 合体シテ、兒童時代ヨリシテ、人ノ考察作用ノ發展ヲ支配シ、殆ソ、下、其ノ模型
 モ、ハ、ナリトス。

中ノモノナラシムル傾向アルニヨルモノニシテ、カ、ハ、概念ノ理論的ノ研
 究——(其ノウチニハ、オノヅカラ、根本原理ノ研究、比較、研究史的、研究ヲ別ツ
 ベシ)——ハ、タ、ハ、ニ、言語ノ研究ニ必要ナルノミナラズ、心理學、特ニ、民族心理
 學、社會學、史學、其他、スベテ、人ノ思想、人ノ智識ニ關スル所アル諸學科ニ
 向ツテ、最重要ナル基礎ノ智識ヲ授ケ、最重要ナル訓示ト指導トヲ與フベキ
 モ、ハ、ナリトス。

- (1) 屬性トシテ思念セラル、場合ハナカルベシ。何トナレバ、品性ト屬性トノ區別ハ、第三ノ原
 則ニヨリテ、分明ナレバナリ。但シ、屬性ノ性質ト品性トノ混同セラル、コノハ、アルベケレド、
 カ、ル時ハ、一ツノ性質テ「もの」トシテ思念セラルベキガ故ニ、「もの」トシテ思念セラル、部
 ニ入ルベシ。然ラザレバ、必ラズ、第二原則モシクハ、コノ第四原則ノイッレカニヨリテ立ツ
 ベキモノナリ。
- (2) タ、インフレクシ、ヨン式ノ音韻ニ於イテ、必シモ、根辭ヲ添加シタルモノノ(第四原則ノ場合)
 音韻ノ轉訛ナルニハ、アラズシテ、カ、ル場合ニ馴レタルヨリ起ル類推法ニテ、音韻ヲ轉移セ
 シメテ、根辭添加ノ場合ニ當テタルモノナルガ如キモアレド、ナホ、コ、ニイフ所ヲ破壞スベ
 キ理由ヲ成スモノニアラズ。
- (3) 第二編第七章三四及ビ全編第九章四八四九等參考。

〔前項ノツ
ツキ〕
〔思考ニツ
キテノ關係
ノ概念ノ種
類〕

(10) スナハチ、語根ニ擬準セラレタル語モシクハ語ノ叢リ、又ハ、一語ト成リモシクハ一語トシテ
轉用セラルベキ語根ニ添加セラル、ト多キモノ。
(11) コノ書續日本文典原理ト共ニノ如キハ、スナハチ、ソカ國語ニツキテ、コノ方面ノ研究ノ陳勝
吳廣タラムトナリ期スルモノナレド、余チシテ、果シテ、余カ素志ヲ充タスヲ得ベキ天命アラ
シメムニハ、余ハ、コノ研究ヲ基礎トシテ、東西諸國語ノ關係的概念ノ比較研究史的研究ヲ遂
グ、以ツテ、電聲的言語學ヲ一科ノ學ヲ建テ、聊猷芹ノ情ヲ致ス時期アルベシ。

〔真ノ三〕 斯クノ如クニシテ、思考ニツキテノ關係ノ概念ハ、或ルもの「屬性」「品性」
等ノ「思念」ヲ成スモノハ、或ル關係上ヨリ「思考」ニ區別セラルベキ場合ニツ
キテ、其ハ關係上ハ、差異ヲ成ス「思考」上ハ、形式ヲ抽象シタルモノハ、ニシテ、其ノ
「思念」ノ發展消長ハ、各民族ノ頭腦ニヨリテ等シカラザルノミナラズ、制作的
言語當時ノモノト後ニ發展シタルモノトノ區別モ、今ニ於イテハ明ナラザ
ルモノ多ケレド、後代ノ發展ニ屬スルモノトノ最顯著ナルモノ——(例ヘバ、複文
ヲ成スベキ思想ドモノ結合スル關係ノ「思念」ノ如キモノ)——ヲ除キテ、比較
的ニ原始ノ状態ヲ保チ、モシクハ、コノ種ノ關係概念ノ系統ヲ視フニ必要ナ
ル地位ニ立ツモノニツキテ、其ノ主要ナル綱目ヲ成スモノヲ舉グレバ、其ノ

〔思考ニツキテ
ノ關係ノ概念
ノ別チヲ成ス
ニ大綱〕

〔甲ノ綱ニツキ
テノ目ノ別チ〕

〔乙ノ綱ニツキ
テノ目ノ大別〕

ウチニハ、マツ、

- (甲) 個々ノ「内想」「思念」トシテ立ツ場合ニツキテハ、關係ノ概念ヲ成スモノ(ス
ナハチ、語ノ「内的結合」及「外的結合」ニ關スル關係ノ概念)
 - (乙) 構想的結合ヲ成ス「内想」「思念」トシテ立ツ場合ニツキテハ、關係ノ概念ヲ
成スモノ(スナハチ、文素ノ「内的結合」及「外的結合」ニ關スル關係ノ概念
ノ別チアリテ、其ノ(甲)ニ屬スルモノニハオノヅカラ、
 - (一) 「品性」ハ「思念」ヲ主材トスルモノ
 - (二) 「屬性」ハ「性質」ハ「思念」ヲ主材トスルモノ
 - (三) 「品性」モ「シクハ」屬性ハ「性質」ハ「思念」ト「もの」ノ「思念」トヲ主材トスルモノ
 - (四) 「もの」ノ「思念」ヲ主材トスルモノ
 - (五) 「品性」モ「シクハ」屬性ハ「性質」ハ「思念」ト「屬性」ハ「思念」トヲ主材トスルモノ
 - (六) 「屬性」ハ「思念」ヲ主材トスルモノ
- ノ種別アリ、其ノ(乙)ニ屬スルモノニハ、オノヅカラ、
- (一) 文素ノ「内的結合」ニ關スルモノ

- (二) 文素ノ外的結合ニ關スルモノ
- (三) 自我ノ同化作用ニ關スルモノノ種別アリ。

「品性」ノ思念
ヲ主材トスル
關係ノ概念(甲)

マヅ其ノ(甲)ニ屬スルモノヨリシテ我ガ國語ニツキテ其ノ一端ヲ説カムニ、
「品性」ノ思念ヲ主材トスルモノトハ、さよ(清)ニ對スル「さよら」(うま(美好)ニ對ス
ル「うまら」(ぼ(空洞)ニ對スル「ぼら」等ノ如ク或ル先入既定ハ品性ノ思念トホ
ハ相等シキ所アル品性(モシクハ品性的ノ想像)ノ思念ガ其ノ先入既定ハ思
念ニ對シテ思念セラルハニ方ツテ後者ガ前者ニ對シテ思想上或ル一定ハ
形式ニ擬セラルベキ差異アルヲ、思念中ニ肯定セラレ居ルヲアハサ
ムガ爲ニ根辭「ら」其ノ前者ヲアラハスモノニ添加シテ一語ヲ成ス類ノモ
ノニシテ此ノ種類ニ限ラズスベテカクノ如ク或ル根辭ナキ言語ニアラハ
サルベキ思念ト根辭ヲ帶ビタル言語ニアラハサルベキ思念トヲ主材トシ
テ其ノ差異ハ關係ヲ思念シ先入既定ハ思念ヲ成ス方ハ思念ヲアラハスベ
キ言語ヲ基礎トシ之ニ對シテ其ノ語形ニ其ノ差異ハ關係ヲアラハスベキ

言語ヲ加ヘテ恰モ差異ハ關係ハ思念ニテ其ノ基礎トナリシ言語ガアラハ
ス思念ヲ包メルガ如キ言語ヲツクル手段ニヨリテ言語ノ符徴ヲ定メ以ツ
テホハ或ル基礎ノ思念ノ下ニ統括セラルベクシテ而モ差異ノ點アル思念
ハ表白法ヲ整理シタルゾ、スナハチ自由考索圓成時代ノ思考状態ニ伴ナフ
ベキ完全ナル造語法ヲ成立セシムルニ至リタリシモノニハアルナル。

コノ種ニ屬スル「思考」ニツキテノ關係ノ概念ノ例トシテ擧グベキモノハ「
ぼ」ニ對スル「ぼら」(ぼは)ニ對スル「ぼは」(ぼは)ニ於ケル「ら」ガアラハスモノノ類
ナホ頗ブル多ケレド「ら」ノ場合ノ外ハ特ニ語根論上ノ解説ヲ行フニアラザ
レバ解シ難カルベキガ故ニ、コ、ニ擧ゲズ。

蓋シ品性ノ思念ハ純粹ナル品性ノ思念スナハチ標準概念トシテノ品性
ノ性質ヲ持スル間ハ、特ニ其ヲアラハスベキ必要ヲ感ジテ特別ノ發表法
ヲ取ル場合ノ外、殆ンド一語トシテ言語上ニ使用セラルハ、ナク其ノ本
來的ノ性質ノマ、ニツネニ語根トシテ使用セラル。普通ノ場合ニ於イ
テ其ノ語形ガ一語トシテ使用セラルハ、モノハ、——(俗習ノ語義ニ於イテ、

「品性」ノ思念
ヲ主材トスル
關係ノ概念ヲ
アラハス根辭
ノ檢出法

之ヲ品性ト呼ブコトハアレド——皆、屬性ノ性質ノ思念ヲ成スモノナリ。
(之ニ反シテ、語根ニ準ジテ語幹ヲ成スモノハ、——其ノ語幹タル地位ヲ失
ハザル間ハ——元來如何ナル性質ノ語ナリトモ皆、語根ニ擬シテ使用セ
ラレタルモノナリ。サレド、サル語幹ニツクベキ根辭ノ思念ハ、元來語根
ナラザル其々ノ語幹ノ性質ニヨリ、必ラズ、(二)以下ノ關係ハ、概念ヲ成スモ
ハ、ニシテ、コノ種ノ例ニ入ルベキモノヲ成スコトナシ。コノ故ニ、語根ノ集
散離合ノ用漸ク迂クナリ來レル今日ニ於イテ、語根根辭ノ智識ハ、スベテ、
其ノ素養ナキ人ニ解シ難キ傾向アルガナカニ、(一)ノ場合ニ當ル根辭及ビ
其ノ根辭ヲ帶ブベキ品性ノ思念ヲアラハス語根ハ、特ニ、人ノ耳目ニ迂シ。
サバレ、一語ハ、ウチニ、下ニ、(二)ニ、イフ如キ根辭「か」等ヲ帶シ、上ニ、品性ノ思
念ヲ成スベキ語根ヲ頂キ、其ノ間ニ、補助ノ語根タリト認ムベキモノアレ
ハ、殆ンド皆、コノ種類ノ關係ノ概念ヲアラハス根辭ナリト知ルベシ。例
ヘバ、「おぼろげすむしげふはやくか」⁽⁶⁾「おぼろげすむしげふはやくか」⁽⁶⁾ノ下ノ「げ」⁽⁶⁾「か」⁽⁶⁾除
キ上ノ「おぼろげすむしげふはやくか」⁽⁶⁾ニ「おぼろげ」⁽⁶⁾ヲ去リタル「ろしやく」とノ、コノ種類ノ或ル

「屬性」ノ性質
ノ思念ヲ主材
トスル關係ノ
概念(甲)(二)

關係ノ概念アラハスモノナルヲ知ルベキガ如シ。ナホ、「さよ」ニ對スル「さ
よら」ニ更ニ「か」ヲソヘタルモノナル「さよら」⁽⁶⁾「か」⁽⁶⁾ト「さよ」⁽⁶⁾トヲ去リタル「ら
が」同ジ關係ニ立ツトヲ認メ得ベキヲ思フベシ。
コノ品性ノ思念ヲ主材トスルモノハ、其ノ品性ノ思念ガ、屬性ノ性質ノ思念
トナルニアラザレバ、特別ナル場合ノ外、一語トシテアラハサル、コトナキ關
係ヨリ、構想的結合ヲ成ス内想思念トシテ立ツモノハ、ニツキテノ關係ノ概念
ヲ成スコトナシ。
「屬性」ノ性質ノ思念ヲ主材トスルモノハ、或ル品性ノ思念ヲアラハス語根
ノ普通ニ一語トシテ用非ラル、ニ至レルモノガアラハス思念——(スナハ
チ、品性ノ思念ヨリ屬性ノ性質ノ思念ト成レルモノ)——ニ對シテ、之ニ根辭
「か」⁽⁶⁾「げ」⁽⁶⁾「ら」⁽⁶⁾ハ、關係ノ概念ヲソヘテ成レルモノハ、差異ハ、點(スナハチ、しづ
トイフ語ニアラハサル、屬性ノ性質ノ思念ニ對スル「しづ」⁽⁶⁾「か」⁽⁶⁾トイフ語ニア
ラハサル、屬性ノ性質ノ思念「さよら」⁽⁶⁾トイフ語ニアラハサル、屬性ノ性質
ノ思念ニ對スル「さよら」⁽⁶⁾「か」⁽⁶⁾トイフ語ニアラハサル、屬性ノ思念ノ如キモノ

冠性根辭ニヨ
リテアラハサ
ル、關係ノ概
念ノ目ニ
屬スベキモノ

境遇的具軀ノ
性質ヲ有スル
關係概念ノ目
ニ屬スベキ
モノ

ヲ主材トシテ、其々ノ主材間ノ差異ノ點ヲ成ス。關係ノ思念ヲアラハサムガ爲ハ、約束ニヨリテ立ツ。其ハ「か」「け」「が」アラハサムハ、如キ關係ノ概念ナリ。ナホ、「ま」「しる」「しる」ニ對スル「か」「あを」「あを」ニ對スル類ニ於ケル「ま」「か」等ノ根辭ガアラハサムモノモ、同ジク、屬性ノ性質ノ思念ヲ主材トシタルモノノ差異ノ點ニシテ、マタ、コノ種類ニ屬スル關係ノ概念ヲ成スモノナリ。サレド、冠性根辭ニヨリテアラハサル、モノハ、「か」「け」等ノ履性根辭ニヨリテ特ニ「屬性ノ性質」ヲアラハサス思念ノ符徵ヲ成シテ、「品性」ノ思念ヨリ區別セララル、モノトハ異ナリ。——此等ノ添加セザル語ニヨリテアラハサルハ、「屬性ノ性質」ノ思念ガ元來品性ノ思念ヨリ來リテ、屬性ノ性質ノ思念ヲ成セルト反對ニ、且、屬性ノ性質ノ思念ヲ成スモノトシテ立チ之ヨリ入りテ、逆サマニ、品性ノ思念ヲ成シ、相互ニ共通シテ轉用セララル、下アルガ故ニ、其ノ本末ノ別ニ於イテ、殆ンド明ナラザラムトスルモノアルニ至レリ。
コノ他、其ノ屬性ノ性質ヲ有スル主材ト境遇的具軀ノ關係ヲアラハサトニ於イテ、特殊ノ性質ヲ有スル「なが」「さ」「かなし」「しづけ」等ノ思念ガ「なが」「かなし」

「品性」モシクハ「屬性ノ性質」ノ思念トシテ、主材トスル關係ノ概念(甲)ノ三

し「しづか」等ノ思念ニ對立シテ思念ノ主材トセララル、ニ方ツテ、其ノ差異ノ關係ノ概念ヲアラハサス符徵トシテノ根辭「さ」ニヨリテアラハサル、モノモ、コノ種類中ノ一種ヲ成スモノナリ。
「品性」モシクハ「屬性ノ性質」ノ思念トシテ、主材トスルモノト「ま」「か」「た」「な」「わ」等ニアラハサル、ガ如キ「品性」モシクハ「屬性ノ性質」ノ思念ヲ成スモノニ對シテ「これ」「此」「そ」「れ」「其」「かれ」「彼」「た」「れ」「誰」「な」「れ」「汝」「われ」「我」等ニアラハサル、ガ如キ「もの」ノ思念ヲ成スモノヲ對照シ、之ヲ主材トシテ、其ノ差異ノ點ヲナス、思考ニツキテノ關係ノ概念タルモノヲ求メ出シ、其ノ概念ノ符徵トシテ立ツ。れノ如キ根辭ヲ定メ、其ノ主材タル二ツノ思念中、其ノ思念ノ基礎トナルベキ既定先入ノ前者ノ思念ヲアラハサス語形ニソヘテ、以ツテ後者ヲアラハサスコトトシテ前者ト相別ツ。其ノ「れ」ガ指示スル概念ノ如キモノナリ。コノ「こ」「そ」「か」「た」「な」「わ」ノ如キ語ニアラハサル、モノハ、元來、屬性ノ思念ヨリ得來リタル「品性」モシクハ「屬性ノ性質」ノ思念ニハアラザルガ故ニ、此ニ伴フ本來的ノ屬性ヲ欠ケドモ、地位ノ關係ヨリ得來リタル一種ノ

「もの」ノ思念
ヲ主材トスル
關係ノ概念(甲)
(四)

「品性」ノ概念ニシテ、ヤガテ「屬性」ノ性質トシテモ、思念セザルハ、トナレハリシ
モノナリ。又、此ト對立スベキ主材トシテノ「もの」ノ思念ハ、必ラズ、其ハ「品性」
モシクハ、⁽¹²⁾「屬性」ノ性質ノ思念ヲ基礎トシテ建設セラレタル概念トシテハ、内
想、思念ニ限ルモノナルコトハ、造語法上明示スル所ノ如シト知ルベシ。
コノ種類ニ屬スル關係ノ概念ハ、根辭レニアラハサル、モノニ限ルニアラ
ズ、其ノ「品性」モシクハ、屬性ノ性質トシテノ主材タルモノ、マタ、カ、ル地位ノ
關係ヨリ來レルモノノミナルニハアラザレドモ、他ハ、語根論ノ特殊ナル説
明ヲ要スルガ故ニ、コ、ニハ擧ゲザルナリ。
「もの」ノ思念ヲ主材トスルモノトハ、せ夫トイフ語ニアラハサル、ものノ思
念ニ對シテ立ツせトイフ語ニアラハサル、ものノ思念、こ子トイフ語ニ
アラハサル、ものノ思念ニ對シテ立ツこトイフ語ニアラハサル、もの
ノ思念、そら虚空トイフ語ニアラハサル、ものノ思念ニ對シテ立ツみ、そら
トイフ語ニアラハサル、ものノ思念、よ夜トイフ語ニアラハサル、ものノ
思念ニ對シテ立ツさ、よトイフ語ニアラハサル、ものノ思念等ニ於イテ、其

「品性」モシクハ
「屬性」ノ性質
ノ思念トシテ
ハ、せトイフ語
ノ概念(甲)
(五)

々ニ對立スル主材間ノ差異ノ點ヲ成ス、思考ニツキテノ關係ノ概念ヲアラ
ハス符徴タル根辭こ、ら以上冠性根辭み、さ以上履性根辭ノ類ガアラハス
モノノ如キ關係ノ概念ナリ。
「品性」モシクハ、屬性ノ性質ノ思念トハ、せ、こ、そら、よ、さ、よトイフ語ニアラハサル、ものトハ、し
、ろ、あ、さ、ら、か、ナドノ語根モシクハ、語ニアラハサル、品性モシクハ、屬性
ノ性質ノ思念ニ對シテ立ツ、し、ろ、し、ろ、さ、し、ろ、く等又ハ、あ、さ、ら、け
、し、モシクハ、あ、さ、ら、け、き、あ、さ、ら、け、く等ノ語ニアラハサル、屬性(本來的ニ靜
的屬性タルモノ)ノ思念ヲ主材トシテ、其ノ間ノ差異ノ點ヲ成ス、思考ニツキ
テノ關係ノ概念ヲアラハス符徴タル根辭し、モシクハ、き、く等ガアラハス關
係ノ概念ナリ。
其ノ他、は、や、早、又、ハ、なが、長トイフ語根モシクハ、語ニアラハサル、品性モシ
クハ、屬性ノ性質ノ思念ニ對シテ立ツ、は、や、む、又、ハ、なが、むトイフ語ニアラハ
サル、屬性(動的屬性)ノ思念ヲ主材トシテ、其ノ間ノ差異ノ點ヲ成ス、思考ニ
ツキテノ關係ノ概念ヲアラハス符徴タル根辭む、ガアラハス關係ノ概念ノ

如キモ、マタ、此ナリ。コノ「む」ノ類ノ根辭、スナハチ、動的、屬性ノ「品性」モシクハ、
 「屬性」ノ性質ヨリ區別セラルベキ、思考ニツキテハ、關係ノ概念ヲアラハス根
 辭ハ、甚多クシテ、其ノ間ニ(六)ハ、目ニ當ルベキ差異ハ、關係ノ概念ヲ寓シ、概シ
 テ「ハタラキ」ヲ有シテ、其ガ添加シテ成セル動的屬性ヲアラハス語ヲシテ、ハ
 タラキ「アル」モノ「タラシムル」トハ、ワガ國語ニ於ケル特殊ノ性辭ヲ成スモノ
 ナリ。

コ、ニイヘル動的屬性ハ、靜的屬性ヨリ起レリシ「品性」モシクハ、屬性ノ性
 質ヨリ來レル動的屬性ノ例ナレド、カクノ如クナラザル、寧ロ、大多數ノ動
 的屬性ノ思念ニ關スルモノニツキテハ、續日本文典原理ニ於イテ、動的屬
 性ヲアラハス用言(スナハチ作用言)ノ語形ニツキテノ原理ヲ説ク所ニ説
 明スベシ。其ノ一二ノ例ヲダシ、コ、ニ舉ゲザルハ、其ノ語根(根言)ガ、特殊
 ノ説明ヲ施スニアラザレバ、讀者ノ了得シ難キモノナルヲ恐ルレバナリ。
 但シ、次ギノ(六)ノ目ヲ成スモノノ條ニイヘル「なす」(成)モシクハ「なる」ハ、其ノ
 語幹——(一種ノ「品性」ヲアラハス語根ノ「な」)——ニ對シテ立ツモノニシテ、

屬性ノ思念ヲ
 主材トスル關
 係ノ概念(甲)
 (六)

其ノ差異ノ點ヲ成ス關係ノ概念ハ「す」モシクハ「る」ノ根辭ニテアラハサル
 ハ、モノナリト知ルベク、他モ、多クハ、之ニ準ジテ推知シ得ラル、モノナリ
 ト知ルベシ。

「屬性」ノ思念ヲ、主材トスルモノトハ、同じ「品性」モシクハ、「屬性」ノ性質ノ思念ヲ
 包含スルモノハ、ウチニモ、其ガ有スル「思考」ニツキテノ關係ノ概念ノ間ニ、互
 ニ區別セラルベキ、或ル性情ヲ有ツヨリ、其等ノ「屬性」ノ思念ヲシテ、互ニ相等
 シカラザル關係ヲ帶ビシムルニ至レルモノヲ、主材トシテ、之ヲ相別ツベキ
 爲ニ、其ノ語幹タル「品性」モシクハ、「屬性」ノ性質ヲアラハス符徵ニ添加セシム
 ル、或ル一定ノ根辭ニヨリテアラハサル、關係ノ概念ノ如キモノナリ。例
 ヘバ、上例「しるし」ト「しるさ」ト「しるく」トノ互ニ相異ナル關係——(スナハチ、述
 定、裝定、限定)——ノ概念ヲ有スルヲアラハス爲ニ、其ノ語幹ニ添加セラル
 ハ、根辭「し」シテ、相對的ニ有スル價值ノ如キ、其ノ一例ナリ。此等ノ根辭
 ハ、根辭其ノモノトシテハ、文素ノ結合ニツキテノ關係ノ概念ヲアラハスモ
 ハトシテ立ツベキモノナレド、屬性ノ思念ハ、元來、或ル關係ニヨリテ、其ノ主

躰ニ隸屬シタルモノヲ直覺的ニ感得スルニ起リタルモノナレバ、屬性ノ思念其ノモノトシテハ、既ニ其ノ隸屬ノ關係ヲ包含スルモノナルガ故ニ、屬性ヲアラハス語ハ、自然ニ其ノ一語ハウチニ、文素ノ結合ニツキテノ關係ヲ含蓄スルトナルベク、隨ツテ其ノ屬性ヲアラハス語ノ内部ニ立ツ此等ノ根辭ガアラハス思念ヲシテ、マヅ、個々ノ内想思念トシテ立ツ場合ニツキテハ、關係ノ概念ヲ成スモノトシテ、其ノ立脚地ヲ取ラシムルト同時ニ、構想的結合ヲ成ス場合ニツキテハ、關係ノ概念ヲ成スモノヲアラハスベキ特性ヲ有セシムルトナルナリ。

然レドモ、カクノ如キ隸屬的關係ノ區別上ノ關係概念ヲ成スモノノ外ニ、⁽¹⁶⁾「成」トイフ語ガアラハス、屬性ノ思念ニ對シテ、⁽¹⁷⁾「成」トイフ語ガアラハス「屬性」ノ思念ヲ對照シ、其ノ相互差異ノ關係ヲアラハスニ用ヰラル、根辭「⁽¹⁸⁾ト」トガアラハス關係ノ概念ノ如キモノモアリ。コレモ、一方ニ於テ、⁽¹⁹⁾「述」定ノ隸屬的關係ヲアラハスモノナレド、元來、本來的ニ靜的屬性ナルモノト違ヒ、動的屬性トシテ、念出セラレタル屬性ハ、其ノ主タル任務ハ、始メヨリ述

定ニアルガ故ニ、——(他ノ任務ヲ成ス場合ニ對シテハ、ハタラキノ上ニ、オノヅカラ、或ル一定ノ區別法ヲ有スレドモ)——其ノ形式ノ主タル關係ハ、構想的結合以外ノ、或ル意義上ノ區別ハ、其ノ屬性ノ概念ノ成立上ニ關スルモノニ、(スナハチ屬性ノ思念其ノモノトシテ、⁽²⁰⁾「意義上ノ區別」——ニアルガ故ニ、其ノ根辭モ、マタ之ニヨリテ區別セラル、モノナルト、此等ノ例ニヨリテ明ナルガ如シ。ナホ、⁽²¹⁾「⁽²²⁾」トイフガ如キ語ニモ、⁽²³⁾「⁽²⁴⁾」⁽²⁵⁾「⁽²⁶⁾」⁽²⁷⁾「⁽²⁸⁾」⁽²⁹⁾「⁽³⁰⁾」⁽³¹⁾「⁽³²⁾」⁽³³⁾「⁽³⁴⁾」⁽³⁵⁾「⁽³⁶⁾」⁽³⁷⁾「⁽³⁸⁾」⁽³⁹⁾「⁽⁴⁰⁾」⁽⁴¹⁾「⁽⁴²⁾」⁽⁴³⁾「⁽⁴⁴⁾」⁽⁴⁵⁾「⁽⁴⁶⁾」⁽⁴⁷⁾「⁽⁴⁸⁾」⁽⁴⁹⁾「⁽⁵⁰⁾」⁽⁵¹⁾「⁽⁵²⁾」⁽⁵³⁾「⁽⁵⁴⁾」⁽⁵⁵⁾「⁽⁵⁶⁾」⁽⁵⁷⁾「⁽⁵⁸⁾」⁽⁵⁹⁾「⁽⁶⁰⁾」⁽⁶¹⁾「⁽⁶²⁾」⁽⁶³⁾「⁽⁶⁴⁾」⁽⁶⁵⁾「⁽⁶⁶⁾」⁽⁶⁷⁾「⁽⁶⁸⁾」⁽⁶⁹⁾「⁽⁷⁰⁾」⁽⁷¹⁾「⁽⁷²⁾」⁽⁷³⁾「⁽⁷⁴⁾」⁽⁷⁵⁾「⁽⁷⁶⁾」⁽⁷⁷⁾「⁽⁷⁸⁾」⁽⁷⁹⁾「⁽⁸⁰⁾」⁽⁸¹⁾「⁽⁸²⁾」⁽⁸³⁾「⁽⁸⁴⁾」⁽⁸⁵⁾「⁽⁸⁶⁾」⁽⁸⁷⁾「⁽⁸⁸⁾」⁽⁸⁹⁾「⁽⁹⁰⁾」⁽⁹¹⁾「⁽⁹²⁾」⁽⁹³⁾「⁽⁹⁴⁾」⁽⁹⁵⁾「⁽⁹⁶⁾」⁽⁹⁷⁾「⁽⁹⁸⁾」⁽⁹⁹⁾「⁽¹⁰⁰⁾」⁽¹⁰¹⁾「⁽¹⁰²⁾」⁽¹⁰³⁾「⁽¹⁰⁴⁾」⁽¹⁰⁵⁾「⁽¹⁰⁶⁾」⁽¹⁰⁷⁾「⁽¹⁰⁸⁾」⁽¹⁰⁹⁾「⁽¹¹⁰⁾」⁽¹¹¹⁾「⁽¹¹²⁾」⁽¹¹³⁾「⁽¹¹⁴⁾」⁽¹¹⁵⁾「⁽¹¹⁶⁾」⁽¹¹⁷⁾「⁽¹¹⁸⁾」⁽¹¹⁹⁾「⁽¹²⁰⁾」⁽¹²¹⁾「⁽¹²²⁾」⁽¹²³⁾「⁽¹²⁴⁾」⁽¹²⁵⁾「⁽¹²⁶⁾」⁽¹²⁷⁾「⁽¹²⁸⁾」⁽¹²⁹⁾「⁽¹³⁰⁾」⁽¹³¹⁾「⁽¹³²⁾」⁽¹³³⁾「⁽¹³⁴⁾」⁽¹³⁵⁾「⁽¹³⁶⁾」⁽¹³⁷⁾「⁽¹³⁸⁾」⁽¹³⁹⁾「⁽¹⁴⁰⁾」⁽¹⁴¹⁾「⁽¹⁴²⁾」⁽¹⁴³⁾「⁽¹⁴⁴⁾」⁽¹⁴⁵⁾「⁽¹⁴⁶⁾」⁽¹⁴⁷⁾「⁽¹⁴⁸⁾」⁽¹⁴⁹⁾「⁽¹⁵⁰⁾」⁽¹⁵¹⁾「⁽¹⁵²⁾」⁽¹⁵³⁾「⁽¹⁵⁴⁾」⁽¹⁵⁵⁾「⁽¹⁵⁶⁾」⁽¹⁵⁷⁾「⁽¹⁵⁸⁾」⁽¹⁵⁹⁾「⁽¹⁶⁰⁾」⁽¹⁶¹⁾「⁽¹⁶²⁾」⁽¹⁶³⁾「⁽¹⁶⁴⁾」⁽¹⁶⁵⁾「⁽¹⁶⁶⁾」⁽¹⁶⁷⁾「⁽¹⁶⁸⁾」⁽¹⁶⁹⁾「⁽¹⁷⁰⁾」⁽¹⁷¹⁾「⁽¹⁷²⁾」⁽¹⁷³⁾「⁽¹⁷⁴⁾」⁽¹⁷⁵⁾「⁽¹⁷⁶⁾」⁽¹⁷⁷⁾「⁽¹⁷⁸⁾」⁽¹⁷⁹⁾「⁽¹⁸⁰⁾」⁽¹⁸¹⁾「⁽¹⁸²⁾」⁽¹⁸³⁾「⁽¹⁸⁴⁾」⁽¹⁸⁵⁾「⁽¹⁸⁶⁾」⁽¹⁸⁷⁾「⁽¹⁸⁸⁾」⁽¹⁸⁹⁾「⁽¹⁹⁰⁾」⁽¹⁹¹⁾「⁽¹⁹²⁾」⁽¹⁹³⁾「⁽¹⁹⁴⁾」⁽¹⁹⁵⁾「⁽¹⁹⁶⁾」⁽¹⁹⁷⁾「⁽¹⁹⁸⁾」⁽¹⁹⁹⁾「⁽²⁰⁰⁾」⁽²⁰¹⁾「⁽²⁰²⁾」⁽²⁰³⁾「⁽²⁰⁴⁾」⁽²⁰⁵⁾「⁽²⁰⁶⁾」⁽²⁰⁷⁾「⁽²⁰⁸⁾」⁽²⁰⁹⁾「⁽²¹⁰⁾」⁽²¹¹⁾「⁽²¹²⁾」⁽²¹³⁾「⁽²¹⁴⁾」⁽²¹⁵⁾「⁽²¹⁶⁾」⁽²¹⁷⁾「⁽²¹⁸⁾」⁽²¹⁹⁾「⁽²²⁰⁾」⁽²²¹⁾「⁽²²²⁾」⁽²²³⁾「⁽²²⁴⁾」⁽²²⁵⁾「⁽²²⁶⁾」⁽²²⁷⁾「⁽²²⁸⁾」⁽²²⁹⁾「⁽²³⁰⁾」⁽²³¹⁾「⁽²³²⁾」⁽²³³⁾「⁽²³⁴⁾」⁽²³⁵⁾「⁽²³⁶⁾」⁽²³⁷⁾「⁽²³⁸⁾」⁽²³⁹⁾「⁽²⁴⁰⁾」⁽²⁴¹⁾「⁽²⁴²⁾」⁽²⁴³⁾「⁽²⁴⁴⁾」⁽²⁴⁵⁾「⁽²⁴⁶⁾」⁽²⁴⁷⁾「⁽²⁴⁸⁾」⁽²⁴⁹⁾「⁽²⁵⁰⁾」⁽²⁵¹⁾「⁽²⁵²⁾」⁽²⁵³⁾「⁽²⁵⁴⁾」⁽²⁵⁵⁾「⁽²⁵⁶⁾」⁽²⁵⁷⁾「⁽²⁵⁸⁾」⁽²⁵⁹⁾「⁽²⁶⁰⁾」⁽²⁶¹⁾「⁽²⁶²⁾」⁽²⁶³⁾「⁽²⁶⁴⁾」⁽²⁶⁵⁾「⁽²⁶⁶⁾」⁽²⁶⁷⁾「⁽²⁶⁸⁾」⁽²⁶⁹⁾「⁽²⁷⁰⁾」⁽²⁷¹⁾「⁽²⁷²⁾」⁽²⁷³⁾「⁽²⁷⁴⁾」⁽²⁷⁵⁾「⁽²⁷⁶⁾」⁽²⁷⁷⁾「⁽²⁷⁸⁾」⁽²⁷⁹⁾「⁽²⁸⁰⁾」⁽²⁸¹⁾「⁽²⁸²⁾」⁽²⁸³⁾「⁽²⁸⁴⁾」⁽²⁸⁵⁾「⁽²⁸⁶⁾」⁽²⁸⁷⁾「⁽²⁸⁸⁾」⁽²⁸⁹⁾「⁽²⁹⁰⁾」⁽²⁹¹⁾「⁽²⁹²⁾」⁽²⁹³⁾「⁽²⁹⁴⁾」⁽²⁹⁵⁾「⁽²⁹⁶⁾」⁽²⁹⁷⁾「⁽²⁹⁸⁾」⁽²⁹⁹⁾「⁽³⁰⁰⁾」⁽³⁰¹⁾「⁽³⁰²⁾」⁽³⁰³⁾「⁽³⁰⁴⁾」⁽³⁰⁵⁾「⁽³⁰⁶⁾」⁽³⁰⁷⁾「⁽³⁰⁸⁾」⁽³⁰⁹⁾「⁽³¹⁰⁾」⁽³¹¹⁾「⁽³¹²⁾」⁽³¹³⁾「⁽³¹⁴⁾」⁽³¹⁵⁾「⁽³¹⁶⁾」⁽³¹⁷⁾「⁽³¹⁸⁾」⁽³¹⁹⁾「⁽³²⁰⁾」⁽³²¹⁾「⁽³²²⁾」⁽³²³⁾「⁽³²⁴⁾」⁽³²⁵⁾「⁽³²⁶⁾」⁽³²⁷⁾「⁽³²⁸⁾」⁽³²⁹⁾「⁽³³⁰⁾」⁽³³¹⁾「⁽³³²⁾」⁽³³³⁾「⁽³³⁴⁾」⁽³³⁵⁾「⁽³³⁶⁾」⁽³³⁷⁾「⁽³³⁸⁾」⁽³³⁹⁾「⁽³⁴⁰⁾」⁽³⁴¹⁾「⁽³⁴²⁾」⁽³⁴³⁾「⁽³⁴⁴⁾」⁽³⁴⁵⁾「⁽³⁴⁶⁾」⁽³⁴⁷⁾「⁽³⁴⁸⁾」⁽³⁴⁹⁾「⁽³⁵⁰⁾」⁽³⁵¹⁾「⁽³⁵²⁾」⁽³⁵³⁾「⁽³⁵⁴⁾」⁽³⁵⁵⁾「⁽³⁵⁶⁾」⁽³⁵⁷⁾「⁽³⁵⁸⁾」⁽³⁵⁹⁾「⁽³⁶⁰⁾」⁽³⁶¹⁾「⁽³⁶²⁾」⁽³⁶³⁾「⁽³⁶⁴⁾」⁽³⁶⁵⁾「⁽³⁶⁶⁾」⁽³⁶⁷⁾「⁽³⁶⁸⁾」⁽³⁶⁹⁾「⁽³⁷⁰⁾」⁽³⁷¹⁾「⁽³⁷²⁾」⁽³⁷³⁾「⁽³⁷⁴⁾」⁽³⁷⁵⁾「⁽³⁷⁶⁾」⁽³⁷⁷⁾「⁽³⁷⁸⁾」⁽³⁷⁹⁾「⁽³⁸⁰⁾」⁽³⁸¹⁾「⁽³⁸²⁾」⁽³⁸³⁾「⁽³⁸⁴⁾」⁽³⁸⁵⁾「⁽³⁸⁶⁾」⁽³⁸⁷⁾「⁽³⁸⁸⁾」⁽³⁸⁹⁾「⁽³⁹⁰⁾」⁽³⁹¹⁾「⁽³⁹²⁾」⁽³⁹³⁾「⁽³⁹⁴⁾」⁽³⁹⁵⁾「⁽³⁹⁶⁾」⁽³⁹⁷⁾「⁽³⁹⁸⁾」⁽³⁹⁹⁾「⁽⁴⁰⁰⁾」⁽⁴⁰¹⁾「⁽⁴⁰²⁾」⁽⁴⁰³⁾「⁽⁴⁰⁴⁾」⁽⁴⁰⁵⁾「⁽⁴⁰⁶⁾」⁽⁴⁰⁷⁾「⁽⁴⁰⁸⁾」⁽⁴⁰⁹⁾「⁽⁴¹⁰⁾」⁽⁴¹¹⁾「⁽⁴¹²⁾」⁽⁴¹³⁾「⁽⁴¹⁴⁾」⁽⁴¹⁵⁾「⁽⁴¹⁶⁾」⁽⁴¹⁷⁾「⁽⁴¹⁸⁾」⁽⁴¹⁹⁾「⁽⁴²⁰⁾」⁽⁴²¹⁾「⁽⁴²²⁾」⁽⁴²³⁾「⁽⁴²⁴⁾」⁽⁴²⁵⁾「⁽⁴²⁶⁾」⁽⁴²⁷⁾「⁽⁴²⁸⁾」⁽⁴²⁹⁾「⁽⁴³⁰⁾」⁽⁴³¹⁾「⁽⁴³²⁾」⁽⁴³³⁾「⁽⁴³⁴⁾」⁽⁴³⁵⁾「⁽⁴³⁶⁾」⁽⁴³⁷⁾「⁽⁴³⁸⁾」⁽⁴³⁹⁾「⁽⁴⁴⁰⁾」⁽⁴⁴¹⁾「⁽⁴⁴²⁾」⁽⁴⁴³⁾「⁽⁴⁴⁴⁾」⁽⁴⁴⁵⁾「⁽⁴⁴⁶⁾」⁽⁴⁴⁷⁾「⁽⁴⁴⁸⁾」⁽⁴⁴⁹⁾「⁽⁴⁵⁰⁾」⁽⁴⁵¹⁾「⁽⁴⁵²⁾」⁽⁴⁵³⁾「⁽⁴⁵⁴⁾」⁽⁴⁵⁵⁾「⁽⁴⁵⁶⁾」⁽⁴⁵⁷⁾「⁽⁴⁵⁸⁾」⁽⁴⁵⁹⁾「⁽⁴⁶⁰⁾」⁽⁴⁶¹⁾「⁽⁴⁶²⁾」⁽⁴⁶³⁾「⁽⁴⁶⁴⁾」⁽⁴⁶⁵⁾「⁽⁴⁶⁶⁾」⁽⁴⁶⁷⁾「⁽⁴⁶⁸⁾」⁽⁴⁶⁹⁾「⁽⁴⁷⁰⁾」⁽⁴⁷¹⁾「⁽⁴⁷²⁾」⁽⁴⁷³⁾「⁽⁴⁷⁴⁾」⁽⁴⁷⁵⁾「⁽⁴⁷⁶⁾」⁽⁴⁷⁷⁾「⁽⁴⁷⁸⁾」⁽⁴⁷⁹⁾「⁽⁴⁸⁰⁾」⁽⁴⁸¹⁾「⁽⁴⁸²⁾」⁽⁴⁸³⁾「⁽⁴⁸⁴⁾」⁽⁴⁸⁵⁾「⁽⁴⁸⁶⁾」⁽⁴⁸⁷⁾「⁽⁴⁸⁸⁾」⁽⁴⁸⁹⁾「⁽⁴⁹⁰⁾」⁽⁴⁹¹⁾「⁽⁴⁹²⁾」⁽⁴⁹³⁾「⁽⁴⁹⁴⁾」⁽⁴⁹⁵⁾「⁽⁴⁹⁶⁾」⁽⁴⁹⁷⁾「⁽⁴⁹⁸⁾」⁽⁴⁹⁹⁾「⁽⁵⁰⁰⁾」⁽⁵⁰¹⁾「⁽⁵⁰²⁾」⁽⁵⁰³⁾「⁽⁵⁰⁴⁾」⁽⁵⁰⁵⁾「⁽⁵⁰⁶⁾」⁽⁵⁰⁷⁾「⁽⁵⁰⁸⁾」⁽⁵⁰⁹⁾「⁽⁵¹⁰⁾」⁽⁵¹¹⁾「⁽⁵¹²⁾」⁽⁵¹³⁾「⁽⁵¹⁴⁾」⁽⁵¹⁵⁾「⁽⁵¹⁶⁾」⁽⁵¹⁷⁾「⁽⁵¹⁸⁾」⁽⁵¹⁹⁾「⁽⁵²⁰⁾」⁽⁵²¹⁾「⁽⁵²²⁾」⁽⁵²³⁾「⁽⁵²⁴⁾」⁽⁵²⁵⁾「⁽⁵²⁶⁾」⁽⁵²⁷⁾「⁽⁵²⁸⁾」⁽⁵²⁹⁾「⁽⁵³⁰⁾」⁽⁵³¹⁾「⁽⁵³²⁾」⁽⁵³³⁾「⁽⁵³⁴⁾」⁽⁵³⁵⁾「⁽⁵³⁶⁾」⁽⁵³⁷⁾「⁽⁵³⁸⁾」⁽⁵³⁹⁾「⁽⁵⁴⁰⁾」⁽⁵⁴¹⁾「⁽⁵⁴²⁾」⁽⁵⁴³⁾「⁽⁵⁴⁴⁾」⁽⁵⁴⁵⁾「⁽⁵⁴⁶⁾」⁽⁵⁴⁷⁾「⁽⁵⁴⁸⁾」⁽⁵⁴⁹⁾「⁽⁵⁵⁰⁾」⁽⁵⁵¹⁾「⁽⁵⁵²⁾」⁽⁵⁵³⁾「⁽⁵⁵⁴⁾」⁽⁵⁵⁵⁾「⁽⁵⁵⁶⁾」⁽⁵⁵⁷⁾「⁽⁵⁵⁸⁾」⁽⁵⁵⁹⁾「⁽⁵⁶⁰⁾」⁽⁵⁶¹⁾「⁽⁵⁶²⁾」⁽⁵⁶³⁾「⁽⁵⁶⁴⁾」⁽⁵⁶⁵⁾「⁽⁵⁶⁶⁾」⁽⁵⁶⁷⁾「⁽⁵⁶⁸⁾」⁽⁵⁶⁹⁾「⁽⁵⁷⁰⁾」⁽⁵⁷¹⁾「⁽⁵⁷²⁾」⁽⁵⁷³⁾「⁽⁵⁷⁴⁾」⁽⁵⁷⁵⁾「⁽⁵⁷⁶⁾」⁽⁵⁷⁷⁾「⁽⁵⁷⁸⁾」⁽⁵⁷⁹⁾「⁽⁵⁸⁰⁾」⁽⁵⁸¹⁾「⁽⁵⁸²⁾」⁽⁵⁸³⁾「⁽⁵⁸⁴⁾」⁽⁵⁸⁵⁾「⁽⁵⁸⁶⁾」⁽⁵⁸⁷⁾「⁽⁵⁸⁸⁾」⁽⁵⁸⁹⁾「⁽⁵⁹⁰⁾」⁽⁵⁹¹⁾「⁽⁵⁹²⁾」⁽⁵⁹³⁾「⁽⁵⁹⁴⁾」⁽⁵⁹⁵⁾「⁽⁵⁹⁶⁾」⁽⁵⁹⁷⁾「⁽⁵⁹⁸⁾」⁽⁵⁹⁹⁾「⁽⁶⁰⁰⁾」⁽⁶⁰¹⁾「⁽⁶⁰²⁾」⁽⁶⁰³⁾「⁽⁶⁰⁴⁾」⁽⁶⁰⁵⁾「⁽⁶⁰⁶⁾」⁽⁶⁰⁷⁾「⁽⁶⁰⁸⁾」⁽⁶⁰⁹⁾「⁽⁶¹⁰⁾」⁽⁶¹¹⁾「⁽⁶¹²⁾」⁽⁶¹³⁾「⁽⁶¹⁴⁾」⁽⁶¹⁵⁾「⁽⁶¹⁶⁾」⁽⁶¹⁷⁾「⁽⁶¹⁸⁾」⁽⁶¹⁹⁾「⁽⁶²⁰⁾」⁽⁶²¹⁾「⁽⁶²²⁾」⁽⁶²³⁾「⁽⁶²⁴⁾」⁽⁶²⁵⁾「⁽⁶²⁶⁾」⁽⁶²⁷⁾「⁽⁶²⁸⁾」⁽⁶²⁹⁾「⁽⁶³⁰⁾」⁽⁶³¹⁾「⁽⁶³²⁾」⁽⁶³³⁾「⁽⁶³⁴⁾」⁽⁶³⁵⁾「⁽⁶³⁶⁾」⁽⁶³⁷⁾「⁽⁶³⁸⁾」⁽⁶³⁹⁾「⁽⁶⁴⁰⁾」⁽⁶⁴¹⁾「⁽⁶⁴²⁾」⁽⁶⁴³⁾「⁽⁶⁴⁴⁾」⁽⁶⁴⁵⁾「⁽⁶⁴⁶⁾」⁽⁶⁴⁷⁾「⁽⁶⁴⁸⁾」⁽⁶⁴⁹⁾「⁽⁶⁵⁰⁾」⁽⁶⁵¹⁾「⁽⁶⁵²⁾」⁽⁶⁵³⁾「⁽⁶⁵⁴⁾」⁽⁶⁵⁵⁾「⁽⁶⁵⁶⁾」⁽⁶⁵⁷⁾「⁽⁶⁵⁸⁾」⁽⁶⁵⁹⁾「⁽⁶⁶⁰⁾」⁽⁶⁶¹⁾「⁽⁶⁶²⁾」⁽⁶⁶³⁾「⁽⁶⁶⁴⁾」⁽⁶⁶⁵⁾「⁽⁶⁶⁶⁾」⁽⁶⁶⁷⁾「⁽⁶⁶⁸⁾」⁽⁶⁶⁹⁾「⁽⁶⁷⁰⁾」⁽⁶⁷¹⁾「⁽⁶⁷²⁾」⁽⁶⁷³⁾「⁽⁶⁷⁴⁾」⁽⁶⁷⁵⁾「⁽⁶⁷⁶⁾」⁽⁶⁷⁷⁾「⁽⁶⁷⁸⁾」⁽⁶⁷⁹⁾「⁽⁶⁸⁰⁾」⁽⁶⁸¹⁾「⁽⁶⁸²⁾」⁽⁶⁸³⁾「⁽⁶⁸⁴⁾」⁽⁶⁸⁵⁾「⁽⁶⁸⁶⁾」⁽⁶⁸⁷⁾「⁽⁶⁸⁸⁾」⁽⁶⁸⁹⁾「⁽⁶⁹⁰⁾」⁽⁶⁹¹⁾「⁽⁶⁹²⁾」⁽⁶⁹³⁾「⁽⁶⁹⁴⁾」⁽⁶⁹⁵⁾「⁽⁶⁹⁶⁾」⁽⁶⁹⁷⁾「⁽⁶⁹⁸⁾」⁽⁶⁹⁹⁾「⁽⁷⁰⁰⁾」⁽⁷⁰¹⁾「⁽⁷⁰²⁾」⁽⁷⁰³⁾「⁽⁷⁰⁴⁾」⁽⁷⁰⁵⁾「⁽⁷⁰⁶⁾」⁽⁷⁰⁷⁾「⁽⁷⁰⁸⁾」⁽⁷⁰⁹⁾「⁽⁷¹⁰⁾」⁽⁷¹¹⁾「⁽⁷¹²⁾」⁽⁷¹³⁾「⁽⁷¹⁴⁾」⁽⁷¹⁵⁾「⁽⁷¹⁶⁾」⁽⁷¹⁷⁾「⁽⁷¹⁸⁾」⁽⁷¹⁹⁾「⁽⁷²⁰⁾」⁽⁷²¹⁾「⁽⁷²²⁾」⁽⁷²³⁾「⁽⁷²⁴⁾」⁽⁷²⁵⁾「⁽⁷²⁶⁾」⁽⁷²⁷⁾「⁽⁷²⁸⁾」⁽⁷²⁹⁾「⁽⁷³⁰⁾」⁽⁷³¹⁾「⁽⁷³²⁾」⁽⁷³³⁾「⁽⁷³⁴⁾」⁽⁷³⁵⁾「⁽⁷³⁶⁾」⁽⁷³⁷⁾「⁽⁷³⁸⁾」⁽⁷³⁹⁾「⁽⁷⁴⁰⁾」⁽⁷⁴¹⁾「⁽⁷⁴²⁾」⁽⁷⁴³⁾「⁽⁷⁴⁴⁾」⁽⁷⁴⁵⁾「⁽⁷⁴⁶⁾」⁽⁷⁴⁷⁾「⁽⁷⁴⁸⁾」⁽⁷⁴⁹⁾「⁽⁷⁵⁰⁾」⁽⁷⁵¹⁾「⁽⁷⁵²⁾」⁽⁷⁵³⁾「⁽⁷⁵⁴⁾」⁽⁷⁵⁵⁾「⁽⁷⁵⁶⁾」⁽⁷⁵⁷⁾「⁽⁷⁵⁸⁾」⁽⁷⁵⁹⁾「⁽⁷⁶⁰⁾」⁽⁷⁶¹⁾「⁽⁷⁶²⁾」⁽⁷⁶³⁾「⁽⁷⁶⁴⁾」⁽⁷⁶⁵⁾「⁽⁷⁶⁶⁾」⁽⁷⁶⁷⁾「⁽⁷⁶⁸⁾」⁽⁷⁶⁹⁾「⁽⁷⁷⁰⁾」⁽⁷⁷¹⁾「⁽⁷⁷²⁾」⁽⁷⁷³⁾「⁽⁷⁷⁴⁾」⁽⁷⁷⁵⁾「⁽⁷⁷⁶⁾」⁽⁷⁷⁷⁾「⁽⁷⁷⁸⁾」⁽⁷⁷⁹⁾「⁽⁷⁸⁰⁾」⁽⁷⁸¹⁾「⁽⁷⁸²⁾」⁽⁷⁸³⁾「⁽⁷⁸⁴⁾」⁽⁷⁸⁵⁾「⁽⁷⁸⁶⁾」⁽⁷⁸⁷⁾「⁽⁷⁸⁸⁾」⁽⁷⁸⁹⁾「⁽⁷⁹⁰⁾」⁽⁷⁹¹⁾「⁽⁷⁹²⁾」⁽⁷⁹³⁾「⁽⁷⁹⁴⁾」⁽⁷⁹⁵⁾「⁽⁷⁹⁶⁾」⁽⁷⁹⁷⁾「⁽⁷⁹⁸⁾」⁽⁷⁹⁹⁾「⁽⁸⁰⁰⁾」⁽⁸⁰¹⁾「⁽⁸⁰²⁾」⁽⁸⁰³⁾「⁽⁸⁰⁴⁾」⁽⁸⁰⁵⁾「⁽⁸⁰⁶⁾」⁽⁸⁰⁷⁾「⁽⁸⁰⁸⁾」⁽⁸⁰⁹⁾「⁽⁸¹⁰⁾」⁽⁸¹¹⁾「⁽⁸¹²⁾」⁽⁸¹³⁾「⁽⁸¹⁴⁾」⁽⁸¹⁵⁾「⁽⁸¹⁶⁾」⁽⁸¹⁷⁾「⁽⁸¹⁸⁾」⁽⁸¹⁹⁾「⁽⁸²⁰⁾」⁽⁸²¹⁾「⁽⁸²²⁾」⁽⁸²³⁾「⁽⁸²⁴⁾」⁽⁸²⁵⁾「⁽⁸²⁶⁾」⁽⁸²⁷⁾「⁽⁸²⁸⁾」⁽⁸²⁹⁾「⁽⁸³⁰⁾」⁽⁸³¹⁾「⁽⁸³²⁾」⁽⁸³³⁾「⁽⁸³⁴⁾」⁽⁸³⁵⁾「⁽⁸³⁶⁾」⁽⁸³⁷⁾「⁽⁸³⁸⁾」⁽⁸³⁹⁾「⁽⁸⁴⁰⁾」⁽⁸⁴¹⁾「⁽⁸⁴²⁾」⁽⁸⁴³⁾「⁽⁸⁴⁴⁾」⁽⁸⁴⁵⁾「⁽⁸⁴⁶⁾」⁽⁸⁴⁷⁾「⁽⁸⁴⁸⁾」⁽⁸⁴⁹⁾「⁽⁸⁵⁰⁾」⁽⁸⁵¹⁾「⁽⁸⁵²⁾」⁽⁸⁵³⁾「⁽⁸⁵⁴⁾」⁽⁸⁵⁵⁾「⁽⁸⁵⁶⁾」⁽⁸⁵⁷⁾「⁽⁸⁵⁸⁾」⁽⁸⁵⁹⁾「⁽⁸⁶⁰⁾」⁽⁸⁶¹⁾「⁽⁸⁶²⁾」⁽⁸⁶³⁾「⁽⁸⁶⁴⁾」⁽⁸⁶⁵⁾「⁽⁸⁶⁶⁾」⁽⁸⁶⁷⁾「⁽⁸⁶⁸⁾」⁽⁸⁶⁹⁾「⁽⁸⁷⁰⁾」⁽⁸⁷¹⁾「⁽⁸⁷²⁾」⁽⁸⁷³⁾「⁽⁸⁷⁴⁾」⁽⁸⁷⁵⁾「⁽⁸⁷⁶⁾」⁽⁸⁷⁷⁾「⁽⁸⁷⁸⁾」⁽⁸⁷⁹⁾「⁽⁸⁸⁰⁾」⁽⁸⁸¹⁾「⁽⁸⁸²⁾」⁽⁸⁸³⁾「⁽⁸⁸⁴⁾」⁽⁸⁸⁵⁾「⁽⁸⁸⁶⁾」⁽⁸⁸⁷⁾「⁽⁸⁸⁸⁾」⁽⁸⁸⁹⁾「⁽⁸⁹⁰⁾」⁽⁸⁹¹⁾「⁽⁸⁹²⁾」⁽⁸⁹³⁾「⁽⁸⁹⁴⁾」⁽⁸⁹⁵⁾「⁽⁸⁹⁶⁾」⁽⁸⁹⁷⁾「⁽⁸⁹⁸⁾」⁽⁸⁹⁹⁾「⁽⁹⁰⁰⁾」⁽⁹⁰¹⁾「⁽⁹⁰²⁾」⁽⁹⁰³⁾「⁽⁹⁰⁴⁾」⁽⁹⁰⁵⁾「⁽⁹⁰⁶⁾」⁽⁹⁰⁷⁾「⁽⁹⁰⁸⁾」⁽⁹⁰⁹⁾「⁽⁹¹⁰⁾」⁽⁹¹¹⁾「⁽⁹¹²⁾」⁽⁹¹³⁾「⁽⁹¹⁴⁾」⁽⁹¹⁵⁾「⁽⁹¹⁶⁾」⁽⁹¹⁷⁾「⁽⁹¹⁸⁾」⁽⁹¹⁹⁾「⁽⁹²⁰⁾」⁽⁹²¹⁾「⁽⁹²²⁾」⁽⁹²³⁾「⁽⁹²⁴⁾」⁽⁹²⁵⁾「⁽⁹²⁶⁾」⁽⁹²⁷⁾「⁽⁹²⁸⁾」⁽⁹²⁹⁾「⁽⁹³⁰⁾」⁽⁹³¹⁾「⁽⁹³²⁾」⁽⁹³³⁾「⁽⁹³⁴⁾」⁽⁹³⁵⁾「⁽⁹³⁶⁾」⁽⁹³⁷⁾「⁽⁹³⁸⁾」⁽⁹³⁹⁾「⁽⁹⁴⁰⁾」⁽⁹⁴¹⁾「⁽⁹⁴²⁾」⁽⁹⁴³⁾「⁽⁹⁴⁴⁾」⁽⁹⁴⁵⁾「⁽⁹⁴⁶⁾」⁽⁹⁴⁷⁾「⁽⁹⁴⁸⁾」⁽⁹⁴⁹⁾「⁽⁹⁵⁰⁾」⁽⁹⁵¹⁾「⁽⁹⁵²⁾」⁽⁹⁵³⁾「⁽⁹⁵⁴⁾」⁽⁹⁵⁵⁾「⁽⁹⁵⁶⁾」⁽⁹⁵⁷⁾「⁽⁹⁵⁸⁾」⁽⁹⁵⁹⁾「⁽⁹⁶⁰⁾」⁽⁹⁶¹⁾「⁽⁹⁶²⁾」⁽⁹⁶³⁾「⁽⁹⁶⁴⁾」⁽⁹⁶⁵⁾「⁽⁹⁶⁶⁾」⁽⁹⁶⁷⁾「⁽⁹⁶⁸⁾」⁽⁹⁶⁹⁾「⁽⁹⁷⁰⁾」⁽⁹⁷¹⁾「⁽⁹⁷²⁾」⁽⁹⁷³⁾「⁽⁹⁷⁴⁾」⁽⁹⁷⁵⁾「⁽⁹⁷⁶⁾」⁽⁹⁷⁷⁾「⁽⁹⁷⁸⁾」⁽⁹⁷⁹⁾「⁽⁹⁸⁰⁾」⁽⁹⁸¹⁾「⁽⁹⁸²⁾」⁽⁹⁸³⁾「⁽⁹⁸⁴⁾」⁽⁹⁸⁵⁾「⁽⁹⁸⁶⁾」⁽⁹⁸⁷⁾「⁽⁹⁸⁸⁾」⁽⁹⁸⁹⁾「⁽⁹⁹⁰⁾」⁽⁹⁹¹⁾「⁽⁹⁹²⁾」⁽⁹⁹³⁾「⁽⁹⁹⁴⁾」⁽⁹⁹⁵⁾「⁽⁹⁹⁶⁾」⁽⁹⁹⁷⁾「⁽⁹⁹⁸⁾」⁽⁹⁹⁹⁾「⁽¹⁰⁰⁰⁾」⁽¹⁰⁰¹⁾「⁽¹⁰⁰²⁾」⁽¹⁰⁰³⁾「⁽¹⁰⁰⁴⁾」⁽¹⁰⁰⁵⁾「⁽¹⁰⁰⁶⁾」⁽¹⁰⁰⁷⁾「⁽¹⁰⁰⁸⁾」⁽¹⁰⁰⁹⁾「⁽¹⁰¹⁰⁾」⁽¹⁰¹¹⁾「⁽¹⁰¹²⁾」⁽¹⁰¹³⁾「⁽¹⁰¹⁴⁾」⁽¹⁰¹⁵⁾「⁽¹⁰¹⁶⁾」⁽¹⁰¹⁷⁾「⁽¹⁰¹⁸⁾」⁽¹⁰¹⁹⁾「⁽¹⁰²⁰⁾」⁽¹⁰²¹⁾「⁽¹⁰²²⁾」⁽¹⁰²³⁾「⁽¹⁰²⁴⁾」⁽¹⁰²⁵⁾「⁽¹⁰²⁶⁾」⁽¹⁰²⁷⁾「⁽¹⁰²⁸⁾」⁽¹⁰²⁹⁾「⁽¹⁰³⁰⁾」⁽¹⁰³¹⁾「⁽¹⁰³²⁾」⁽¹⁰³³⁾「⁽¹⁰³⁴⁾」⁽¹⁰³⁵⁾「⁽¹⁰³⁶⁾」⁽¹⁰³⁷⁾「⁽¹⁰³⁸⁾」⁽¹⁰³⁹⁾「⁽¹⁰⁴⁰⁾」⁽¹⁰⁴¹⁾「⁽¹⁰⁴²⁾」⁽¹⁰⁴³⁾「⁽¹⁰⁴⁴⁾」⁽¹⁰⁴⁵⁾「⁽¹⁰⁴⁶⁾」⁽¹⁰⁴⁷⁾「⁽¹⁰⁴⁸⁾」⁽¹⁰⁴⁹⁾「⁽¹⁰⁵⁰⁾」⁽¹⁰⁵¹⁾「⁽¹⁰⁵²⁾」⁽¹⁰⁵³⁾「⁽¹⁰⁵⁴⁾」⁽¹⁰⁵⁵⁾「⁽¹⁰⁵⁶⁾」⁽¹⁰⁵⁷⁾「⁽¹⁰⁵⁸⁾」⁽¹⁰⁵⁹⁾「⁽¹⁰⁶⁰⁾」⁽¹⁰⁶¹⁾「⁽¹⁰⁶²⁾」⁽¹⁰⁶³⁾「⁽¹⁰⁶⁴⁾」⁽¹⁰⁶⁵⁾「⁽¹⁰⁶⁶⁾」⁽¹⁰⁶⁷⁾「⁽¹⁰⁶⁸⁾」⁽¹⁰⁶⁹⁾「⁽¹⁰⁷⁰⁾」⁽¹⁰⁷¹⁾「⁽¹⁰⁷²⁾」⁽¹⁰⁷³⁾「⁽¹⁰⁷⁴⁾」⁽¹⁰⁷⁵⁾「⁽¹⁰⁷⁶⁾」⁽¹⁰⁷⁷⁾「⁽¹⁰⁷⁸⁾」⁽¹⁰⁷⁹⁾「⁽¹⁰⁸⁰⁾」⁽¹⁰⁸¹⁾「⁽¹⁰⁸²⁾」⁽¹⁰⁸³⁾「⁽¹⁰⁸⁴⁾」⁽¹⁰⁸⁵⁾「⁽¹⁰⁸⁶⁾」⁽¹⁰⁸⁷⁾「⁽¹⁰⁸⁸⁾」⁽¹⁰⁸⁹⁾「⁽¹⁰⁹⁰⁾」⁽¹⁰⁹¹⁾「⁽¹⁰⁹²⁾」⁽¹⁰⁹³⁾「⁽¹⁰⁹⁴⁾」⁽¹⁰⁹⁵⁾「⁽¹⁰⁹⁶⁾」⁽¹⁰⁹⁷⁾「⁽¹⁰⁹⁸⁾」⁽¹⁰⁹⁹⁾「⁽¹¹⁰⁰⁾」⁽¹¹⁰¹⁾「⁽¹¹⁰²⁾」⁽¹¹⁰³⁾「⁽¹¹⁰⁴⁾」⁽¹¹⁰⁵⁾「⁽¹¹⁰⁶⁾」⁽¹¹⁰⁷⁾「⁽¹¹⁰⁸⁾」⁽¹¹⁰⁹⁾「⁽¹¹¹⁰⁾」⁽¹¹¹¹⁾「⁽¹¹¹²⁾」⁽¹¹¹³⁾「⁽¹¹¹⁴⁾」⁽¹¹¹⁵⁾「⁽¹¹¹⁶⁾」⁽¹¹¹⁷⁾「⁽¹¹¹⁸⁾」⁽¹¹¹⁹⁾「⁽¹¹²⁰⁾」⁽¹¹²¹⁾「⁽¹¹²²⁾」⁽¹¹²³⁾「⁽¹¹²⁴⁾」⁽¹¹²⁵⁾「⁽¹¹²⁶⁾」⁽¹¹²⁷⁾「⁽¹¹²⁸⁾」⁽¹¹²⁹⁾「⁽¹¹³⁰⁾」⁽¹¹³¹⁾「⁽¹¹³²⁾」⁽¹¹³³⁾「⁽¹¹³⁴⁾」⁽¹¹³⁵⁾「⁽¹¹³⁶⁾」⁽¹¹³⁷⁾「⁽¹¹³⁸⁾」⁽¹¹³⁹⁾「⁽¹¹⁴⁰⁾」⁽¹¹⁴¹⁾「⁽¹¹⁴²⁾」⁽¹¹⁴³⁾「⁽¹¹⁴⁴⁾」⁽¹¹⁴⁵⁾「⁽¹¹⁴⁶⁾」⁽¹¹⁴⁷⁾「⁽¹¹⁴⁸⁾」⁽¹¹⁴⁹⁾「⁽¹¹⁵⁰⁾」⁽¹¹⁵¹⁾「⁽¹¹⁵²⁾」⁽¹¹⁵³⁾「⁽¹¹⁵⁴⁾」⁽¹¹⁵⁵⁾「⁽¹¹⁵⁶⁾」⁽¹¹⁵⁷⁾「⁽¹¹⁵⁸⁾」⁽¹¹⁵⁹⁾「⁽¹¹⁶⁰⁾」⁽¹¹⁶¹⁾「⁽¹¹⁶²⁾」⁽¹¹⁶³⁾「⁽¹¹⁶⁴⁾」⁽¹¹⁶⁵⁾「⁽¹¹⁶⁶⁾」⁽¹¹⁶⁷⁾「⁽¹¹⁶⁸⁾」⁽¹¹⁶⁹⁾「⁽¹¹⁷⁰⁾」⁽¹¹⁷¹⁾「

動作「とき」時
化
動作「かたち」
(働勢)

(甲)ノ(六)ナル
性ニソフ關係
ノ概念ト(乙)ノ
ソナル關係ト
念トノ差異
立上ノ區別

ル、差異ハ關係例へバ、ゆく(行)トイフ屬性ノ思念ガ從素ヲ成スニ方ツテ、動作ノ「とき」時化ニ關シテハ、ゆく「ゆき」き「ゆき」つ「ゆき」ぬ「ゆき」たり「ゆかむ」等ノ種々ノ場合、動作ノ「かたち」働勢ニ關シテハ、ゆく「ゆか」る「ゆか」しむ等ノ種々ノ場合ノ類ヲ思念スルコトアルヲ言語ニアラハサムトシテ、其々ノ情狀ヨリ見テ、最普通ナリト認メラル、モノヲ原形ニトシメ、其ノ他ニハ「ぬ」「つ」「ぬ」たり「む」「る」「しむ」等ノ辭ヲソヘテ、其々ノ關係ヲアラハスガ如キモノアリテ、其ノ辭ニアラハサル、關係ノ概念ノ如キハ、マタ、コノ種類ヲ成スモノナリ。

コノ種類ニ屬スル關係ノ概念ノ動的屬性ニソフモノト(甲)ノ(六)ノウチナル或ルモノトハ、關係ノ概念トシテノ性質甚似タルモノアルガ如クナレド、其ノ間ニハ著シキ差異ノ點アリテ、此ニ屬スルモノハ、其ノ關係ノ概念ハ意義ヲ棄テ去ルモ、屬性其ノモノハ、思念ハ毫モ欠損セラル、トナケレド、(六)ニ屬スルモノハ、其ノ關係ノ概念ノ意義ヲ棄テ去ル時ハ、屬性其ノモノトシテハ、思念ハ成立スル能ハザルニ至ルコトヨリテ、裁然トシテ區別

ソガ國語ニ於
イテ、履性根
辭ト辭トノ成
立上ノ區別

セラルベキナリ。スベテ、ソガ國語ニアリテハ、履性根辭ト辭トノ成立上ノ區別甚嚴ニシテ、或ル需用ニ應ジテハ、關係ノ概念ノ添加セラルベキ或ル概念ハ、一語トシテハ成立ニ必要ナリヤ否ヤニヨリテ、之ヲ區別シ、自然ハ情勢ヲ越エザル限リニ於イテ、主觀的ニ定メラルベキ、或ル所定ノ階級——(スナハチ、もの、屬性、屬性ノ性質、ノイヅレカ)——ニ立ツ一語トシテ、必要ナルマデハ、關係ノ概念——(固ヨリ、思考ニツキテノ關係ノ概念)——ハ、皆、根辭ニヨリテ之ヲアラハシ、一語トシテハ成立ニ必要ナラザル、或ル關係ノ概念ハ、皆、辭ニヨリテ之ヲアラハスコトナリ居レリ。コノ故ニ(乙)ニ屬スルモノハ、其ノ關係ノ概念ヲ外ニシテハ、所期ノ一語ヲ成スベカラザル、特別ノ關係ニ立ツモノ、スナハチ(甲)ノ(五)ニ屬スルモノハ、除キ悉ク、辭ニヨリテアラハサレ、(甲)ニ屬スルモノハ、悉ク、根辭ニヨリテアラハサル、トトナレルナリ。コレ、意義ノ關係上、自然ノ勢ニシテ、異シムニ足ラザルベキモノニハアレド、世界萬國、絶エテ斯クノ如ク圓滿如法ノ發展ヲ遂ゲタル言語ナキニ對シテハ、マタ、珍奇トシテ、其ノ規律ノ整然タルヲ

文素ノ外的結合ニ關スル關係ノ概念(乙)

誇ルニ足ルベシ。

文素ノ外的結合ニ關スルモノトハ、文素ト文素トハ結合ハ皆外的結合ニ屬スルモノニシテ、其ノ間ニハ其々ニ結合ノ關係ノ概念ヲ有スベキ理致アルモノナレバ、スベテ之ヲイフベキモノナレド、相異ナレル文素間ノ差異ハ、其々ハ文素ノ成立ト同時ニ成立スベキモノナレバ、一語ニシテ或ル文素ヲ成スベキ意義ヲ有シテ、既ニ其ノ任務ヲ果スニ堪フベキモノ、及び實際的ノ意義ノ必要ヨリ起ル文素ノ内的結合ニヨリテ、既ニ其ノ任務ヲ果スニ堪フベキモノハ別ニ其ヲアラハスベキ必要ヲ認メザルベキトナルガ故ニ、特ニ文素ノ外的結合ヲ指示スル辭ハ發展ヲ來サズシテ、思念ノ上ニテモ、其ノ外的結合トシテハ關係ハ特ニ學術的ノ考察ヲ入ルハ、場合ハ外、殆ンド無意識的ニ意識セラレド、ルモノナリ。コノ故ニ、特ニ外的結合ノ關係ノ概念トシテ、一般ニ思念セラレベキハ、元來文素ヲ成スニ堪ヘザル語モシクハ、他ノ文素ヲ成スベキ語ハ轉用セラレベキモノヲ補翼セムガ爲ニソフル辭ニアラハサルハ、關係ノ概念ノミナリ。カクノ如キ辭ノ主タルモノハ、實ニ裝定素

文素ノ内的結合ノ關係ヲアラハス辭及ビ、ソガアラハス關係ノ概念ト、文素ノ外的結合ノ關係ヲアラハス辭及ビ、其カアラハス關係ノ概念ト、性質上ノ別

ヲ成ス「の」が、及び限定素ヲ成ス「と」に「ニ」シテ、ソガアラハス所ハ、スナハチ、コノ種ノ關係ノ概念ヲ成スモノナリ。例ヘバ、「こ」の「ひと」や「矢」の「ね根」が、⁽²⁵⁾「こ」の「よ」が、⁽²⁶⁾「こ」が「ト」ハ、或ル關係ニ於テ一對ヲ成シ「と」に「ト」モ、或ル關係ノ一對ヲ成シテ、其々ニ或ル區別ヲ有スルモノナレバ、殆ンド、内的結合ノ場合ニ於ケル相互ノ區別ヲ成スモノト相等シキ性質ノモノナルガ如クナレド、内的結合ノ場合ニハ、其ノ關係ノ概念ヲアラハス辭ノ添加スルナキモ、其ノ文素ヲ成ス主タル思念ヲアラハス語ハ、主素モシクハ從素トシテ立チ得ラルハ、モノニシテ、辭ハ、タ、其ノ主素モシクハ從素間ノ區別ヲ成スベキ關係ヲアラハスモノナレド、コノ關係ノ概念ヲアラハス辭ノ添加セラレテ、文素ヲ成スモノニアリテ、其ノ辭アルニアラズンバ、其ノ主タル思念ヲアラハス語ノミヲ以ツテ、其ノ文素スナハチ裝定素モシクハ、限定素ヲ成スヲ得ザルモノニシテ、其ノ辭ノ補助ニヨリテ、其ノ文素ヲ成シ、又ハ、其ノ文素ニ轉用セラレ、⁽²⁶⁾「ト」ヲ得ルモノナレバ、其ノ全ク別ナル「ト」知ルベキナリ。

コノ外的結合ノ類推ヨリ起リテ、複成語ノ造語法ノ上ニ裝定的結合ヲ利用シタルモノアリ。今ハ廢レタレド、⁽²⁷⁾とほつあふみ、遠江、ちかつあふみ、(近江)かみつえ、上枝、しづえ、下枝)ノ接合性根辭ノつガ、上ナル語根モシクハ語根ニ擬セラレタル語ノ語幹ヲ成セルモノニソヒテ下ナル語ヲ裝定シテ熟成語ヲ成セルガ如キモノアリ。裝定素タルベキ外的結合ノ關係ヲアラハス辭ヨリ入リテ變化シタル形ヲ取レルモノトシテハ、スナハチ、⁽²⁸⁾いぢなぎ の みこと、いぢなぎ の みこと、たなすゑ の みつぎ、みぢな⁽²⁹⁾を⁽³⁰⁾こ⁽³¹⁾ノ接合性根辭⁽³²⁾ガ辭⁽³³⁾ノ⁽³⁴⁾ヨリ變ジタルモノニシテ、語根ノ語幹トシテ立テルモノニソヒテ下ナル語ヲ裝定シテ熟成語ヲ成セルガ如キモノアリ。(わ が おほきみ)トイフベキ場合ヲ⁽³⁵⁾わ⁽³⁶⁾おほきみ⁽³⁷⁾トイヘル古例アルモ、⁽³⁸⁾な⁽³⁹⁾ノ類例ニテ、コノ種ノ辭⁽⁴⁰⁾ガ⁽⁴¹⁾ヨリ轉入シテ變形シタル接合性根辭ニシテ、其ノ熟成語タル性質ハ、ホソ、相同ジ。辭ヨリ直チニ入リテ複成語ヲ成ス接合性根辭トシテ立ツモノトシテハ、スナハチ、あまの⁽⁴²⁾が⁽⁴³⁾は⁽⁴⁴⁾あまの⁽⁴⁵⁾はら⁽⁴⁶⁾ノ類アリ。此等ノ造語法ニツキテハ、或ル程度ニ於イテ、第三編

構想的結合ニツキテノ自我ノ同化作用ニ關スル關係ノ概念(乙)(三)

當面ノ對象タル物相ノ本來的關係ノ關係ノ關係

第五章ニモイヘルコトナレド、事ノ因ミニ、コ、ニ補説ス。ナホ、同編同章ヲ參考スベシ。

自我ノ同化作用ニ關スルモノトハ、必シモ、(一)ノ目ヲ成スモノノ外ニ立ツニハアラザレドモ、(二)ノモノハ、其ノ素材ノ如何ナルモノナリヤニカ、ハラズ、——(言ハバ、普通ノ物相ハ固ヨリイフマデモナク、述者自身モシクハ述者ノ心的現象ヲ素材トスル場合ナリトモ、ハタ、空想ヲ素材トスルモノナリトモ)——或ル思想ヲ構成スルニツキテハ、當面ノ對象ニツキテハ、關係的觀念ヲ別チタルモノハ、スナハチ、當面ノ對象タル物相ノ本來的關係⁽¹⁾、單ニ物相ノ本來的關係トイフベキモノニ屬スルモノナレド、構想的結合ニ關スル思考ニツキテノ關係ノ概念ハ、必シモ、對象タル物相ノ本來的關係ニノミ局限セラレ、モノニアラズシテ、自我ノ特權ハ下ニ、其ハ當面ノ對象タル物相ノ本來的關係ハ上ニ、更ニ、或ル方面ヨリ來ル關係的觀念ヲ衣被シ、之ニヨリテ、構想的結合ニ關スル思考ニツキテハ、關係ノ概念ヲ同化シ、了ル下アルニヨリ、當面ノ對象タル物相ノ本來的關係ヨリ區別シテ、思考ノ表白ニ

思考ノ表自ニ
關スル自我ノ
同化的關係
自我ノ同化的
關係

關スル自我ノ同化的關係トイヒ、更ニ簡約シテ自我ノ同化的關係トイフ
ナリ。蓋シ之ヲ思考ノ表自ニ關スル自我ノ同化的關係トイフベキ所以ハ、
マヅ(イ)人ノ思考ニ上ル事相物象ハ時々刻々ニ變化シ或ル程度ニ於テ前
後互ニ相連關スベキモノナレバ、其ノ對象タルモノハ關係ヲ逐ウテ之ヲ追
究セムニハ實相ノ上ニモ心相ノ上ニモ漸々ニ連接引扱シテ殆ンド盡クル
所ナキニ至ルベク少クトモ當面ノ主タル對象ヨリシテ幾分ノ連想ヲ誘起
シ心相ハ一面ニ聯結セラル、若干ノ素材ヲツクリ出ストナキ能ハザルハ、
概念ヲ表自スル符徴トシテノ言語ヲ使用スル以上ノ人心ニ於テ免ルベ
カラザルヲナルヲ以ツテ人ノ心意中ニハ當面ノ對象タルモノト間接ハ或
ハ二次的ノ對象タルモノトハ或ル階段ヲ存スルナキ能ハズシテ其等ノ區
別ハ其ノ變幻涯リナキ思考ノ活動ニヨリテ常ニ浮沈スルニモカ、ハラス、
或ル言語ニ表自セラレ或ハ表自セムトシテ準備セラレタル思想ヲ成ス時
ハ既ニ一定ノ區劃ヲ有シ其ノ文素タリ想素タルモノハウチハ其々ニ主要
ナル語ヲ成スベキモノヲ主材トシテ其ノ對象ヲ定メタルヲ認ムルヲ得

ベク、コ、ニ其ノ既定ノ思想材料ヨリ見レバ當面ノ對象ト別ニ自我ガ有ス
ル他ノ對象トノ別ヲ確立スルヲ得ベキヲ其ノ一ツ又(ロ)人ノ元來ハ考察的
ニ得來レリシ思念モ一旦之ヲ得テ後之ヲ繰リ返スト久シキ時ハ慣性トナ
リテ之ヲ直覺的ニ認識スルコトナルベキガ故ニ本來的ニハ如何ニ複雑
ナル思念ナリトモ自我心意ノ境遇的變化ニヨリテ對象ヨリ其ノマ、ニ識
得セラレハモノト特ニ考察的ニ認メラル、モノトノ別ヲ生ジ其ノ別チモ、
心意上ノ種々ノ關係ヲ求ムレバ十分ナル限界ヲ見出シ難キ場合モアリヌ
ベケレド之ヲ言語ニ表自シ或ハ表自セムトシテ準備シタル思念ヲ成ス時
ニハ既ニ一定ノ形式ヲ取り前者ハオノヅカラ對象ヲ其ノマ、ニ寫シ取ル
心相——(寫述的ハ心相)——ヲ成シ後者ハオノヅカラ自我ニ肯定化セラレ
タル心相——(スナハチ說述的ハ心相)——ヲ成スベキヲ其ノ一ツマタ、ハ人
ノ思想ガ表自セラレ或ハ表自セムトシテ準備セラレタル場合ニハ述者ガ
其ノ思考ノ建設者トシテ占ムベキ地位ハオノヅカラ定マリテ絕對的ハ地
歩ヲ占ムル場合ト相對的ハ地歩ヲ占ムル場合トハイヅレカナル⁽²⁵⁾述者ハ場

合ヲ認メザルベカラザルコトトナルベク其ノ絶対的ノ地步ヲ占ムル場合ヲ成ス時ニハオノヅカラ思考當面ノ對象ヲ其ノマハニ寫シ取レル心相ヲ成スベク其ノ相對的ノ地步ヲ占ムル場合ニハ前者ニ對シテハ自我ト合體シタルモノト認ムベキ述者ノ場合ヲ以ツテ籠絡セラレタル心相ヲ成スベキヲ其ノ一ツスベテコノ三ツノ場合ニ通ジテ當面ノ對象タル素材系ニ屬スルモノト之ヨリ別ナル自我特別ノ對象トナルモノトノ區別アルトハ見出サルベク前者ヨリ得來ル構想的結合ノ關係ノ概念ハ上述(一)ノ場合ヲ成シ後者ヨリ得來ル構想的結合ノ關係ノ概念ハ實ニ今述ベムトスル(三)ノ場合ナル自我ノ同化作用ニ關スル關係ヲ成スモノニシテ前者ハ特ニ言語ニ表自セラレ或ハ表自セムトシテ準備セラレタル場合ニアラザルモ常ニ人ノ思念ニ上リ得ベキモノナレド後者ハ特ニ言語ニ表自セラレ或ハ表自セムトシテ準備セラレタル場合又ハ之ニ準ジタル或ル關係ヲ存スル場合ニアラザレバ人ノ思念ニ上ルトナキモノナレバ前者ニ對シテ特ニ思考表自ニツキテノテフ條件ヲ有スベキモノナレバナリ。

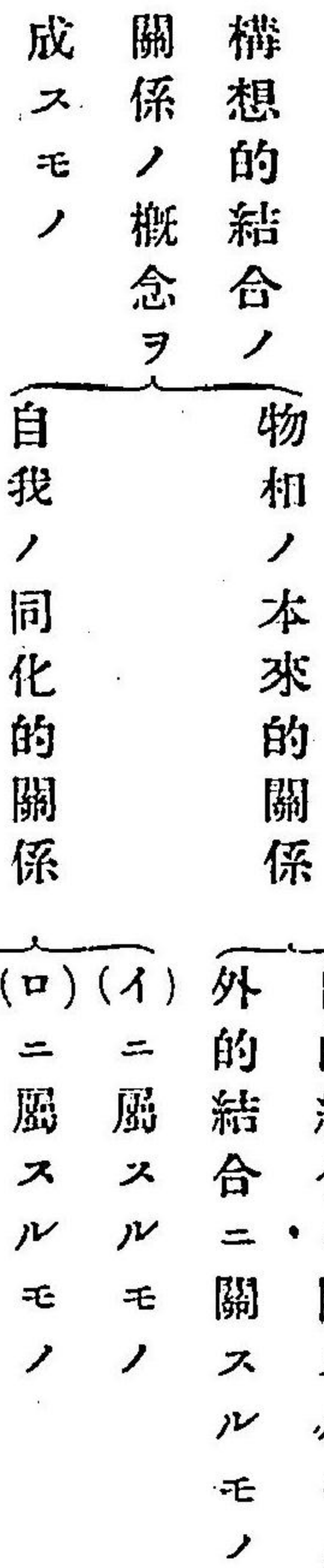
自我ノ同化作用ニ關スルモノノカチノ三種類

構想的結合ノ關係ノ概念ヲ成スモノノ組織的分類ヲ成スベキ系統

カクテ自我ノ同化作用ニ關スルモノ、ウチニハオノヅカラ左ノ三ツノ場合ヲ藏ス。

- (イ) 當面ノ對象以外ニ自我ガ有スル特別ノ對象ト當面ノ對象トニヨリテ起ス自我ノ同化的關係ノ概念。
- (ロ) 說述的ノ心相ヲ成スベキ自我ノ同化的關係。
- (ハ) 述者ノ相對的ナル地步ヲ占ムル場合ヨリ來ル自我ノ同化的關係ノ概念。

之ニヨリテ構想的結合ヲ成ス内想思念トシテ立ツ思念ニツキテノ關係ノ概念ヲ組織的ノ分類トシテ左ノ如キ系統ヲ立ツルヲ得ベシ。



當面ノ對象以外ニ自我が有スル特別ノ對象トニヨリテ起ス自我ノ同化的關係ノ概念

勿論、物相ノ本來的關係ニ屬スルモノナリトテ、苟クモ構想的結合ノ關係ヲ成スモノニシテ、自我ノ鹽梅ヲマタザルモノナキハ明ナレド、言語ニツキテハ、人ノ思想ハ、マヅ、當面ノ對象トシテ、撰擇セラレタルモノヲ、既定ノ物相既定ノ事實トシテ、其ハ歩ヲ始ムベキモノナルガ故ニ、ヨク、上述ノ如キ關係ニ於イテ、自我ノ同化的關係ニ對シテ、物相ノ本來的關係タル地位ニ安ンズベキ、境遇的性質ヲ有スルトナルナリ。

(イ)ハ種類ニ屬スルモノノウチニハ、われも、ゆかむ。われをさへあざむけり。ノもさへ等ノ辭ニアラハサル、モノノ如ク、當面ノ對象ハ、或ル文、素、モシクハ、想、素ヲ成スモノト、同ジ、構、想上ノ關係ニ立ツモノハ、自我が有スル別ノ對象中ニアル、由ノ或ル意義ヲ成ス關係ノ概念ヲ成スモノモアリ、必シモ同ジ關係ヲ取ルニアラザル、自我が有スル、或ル別ノ對象ニ對シテ、特ニ區別セラレベキ、由ノ或ル意義ヲ有スル關係ノ概念ヲ成スモノ、例ヘバ、われこそ、ゆかむ、われには、みえ、ず、こそ、は等ニアラサル、ガ如キモノモアリ。又、或ル文、素モシクハ、想、素ヲ成スニ方ツテ、之ト、同ジ、内、想

觀述的ノ心相ヲ成スベキ、自我ノ同化的關係ノ概念

思念ハ別ノ對象ヲ成ス心相中ニ存スルモノヨリ、特ニ區別セラレベキ、情感ハ、差異ヲ存スル、由ノ或ル意義ヲ有スル關係ノ概念ヲアラハスモノ、例ヘバ、さみだれの、つきの、ほのかに、みゆる、よは、ほととぎす、だに、さやかに、を、なけ。たをらじ、な。ひとのかさねの、うめの、はな。われにて、しりぬ。をしき、ころ、は、はかなし、や。つゝるの、かはず、わればかり、ほかを、もしらぬ、あさき、ころ、は、ナドイフ歌ノウチナルを、な、や等ノ辭ニアラハサル、ガ如キモアリ。サレド、イヅレモ、或ル、思念ガ既ニ一文、素モシクハ、一、想、素ヲ成セルニ方ツテ、其ノ思想ヲ成スベキ、當面ノ對象以外ナル、或ルモノト、内、想、對、比、ノ、關、係ヲ成セルヲ、明ニスルトニ於イテ、一致スルモノナリ。
(ロ)ニ屬スルモノハ、いづれは、なり、まこと、なり、なりノ概念ノ如ク、根本的ニ構想的結合ノ關係ヲ同化シ去ルモノヲ始メトシテ、あつる、なり、あち、けり、あつ、めり、のぼる、らむ、のぼる、らし、ナドノ、なり、けり、めり、らむ、らむ、しノ類、スベテ、自我ニ肯定化セラレタル心相ヲ成ス關係ノ概念トシテ立ツ

見ルベシ。

(4) スベテ、コノ條ニ於イテ、根辭ノ意義ヲ説明セザルハ、解釋ノ複雜ヲ致ス恐レアリテ、語根上ノ解説ハ、語根論ニツキテ主トシテ論ズベカラム場合ニ讓ルヲ便トスルニヨル。之ニヨリテ、タゞ、差異アリトイフヲアラハスノミト思念セムニハ、大ニ違ヘリ。注意スベキナリ。但シ、本書ノ説明ニ必要ナルモノハ、綴日本文典原理ニテ、其ノ必要アル場合ニ應ジテ論述スベシ。

(5) 例ヘベシ「品性」ノ概念ヲ指シテ、「おぼ」てふ品性ノ概念(は)「おぼ」ノ「おぼ」ノ概念を「トイフ場合」ノ「おぼ」ノ類ノ如シ。

(6) 語幹トナルガ爲ニ變形シタルモノガ、更ニ、一語トシテ轉用セラル、モノハ、オノツカラ別ナリ。コノ故ニ、語幹ノ形ヲ成セルモノハ、必シモ、コノ場合ニ當ラズ。

(7) コノ「すべし」「し」「な」「た」「な」「し」「し」ノ如キ屬性ヲ主材トスル關係ノ概念トハ等シカラズ。但シ、コノ「し」「し」「し」「し」及ビ、構想的結合ヲ成セル内想思念ヲ主材トスル關係ノ概念ナル「し」「す」「な」「た」「な」「し」「し」ノ「ひ」と「を」「し」「ぞ」「おもふ」「た」「な」「し」「し」ハ、元來ノ意義上ノ模型ヲ同シウスル所アリテ、ソフベキ主材ノ階級ヲ異ニスルモノナレバ、コノ「すべし」「し」ノ下ニ、更ニ屬性ヲ主材トスル關係ノ概念トシテ「し」ヲソフル場合ニハ、一「根辭」ニシテ直ニ二重ノ用ヲ成ストナリテ、特ニ同シ模型ノ根辭ヲ層加スルヲ避クル「トナル」ガ故ニ、ザル方ノ「すべし」「し」ハ、オノツカラ別ナリト知ルベシ。コノ「し」ノ上ナル「すべし」ノ「品性」ノ義ヲ成ス根辭ナル「トナル」「すべし」ト同種ノ語ナル「ながく」「し」に「ながく」「し」ノ構造ヨリ類推シテ明ナルベシ。

(8) コノ「おぼ」「ど」「か」ノ如キ同シ構造ニテ、「ど」ノ地位ニ「ら」ヲ用キタルモノ、スナハチ「おぼ」「おぼら」「おぼら」「おぼら」トナレル語アリ。之レト對比シテ「おぼ」「ど」ノ性質「ら」ノ類ノモノナルヲ知ルベキナリ。コノ「ど」ハ、元來ノ形「ト」ナレド、言ヒ綴ケノ聲音上ノ關係ニテ「ト」トナレルナリ。

(9) カ、ル場合ニ於イテ、「し」「つ」「か」「き」「よ」「ら」「か」ニ對スル「し」「つ」「き」「よ」「ら」「か」ノ屬性ノ性質ノ思念ナレド、語ニアラハス時ハ、「し」「つ」「か」「き」「よ」「ら」「か」トイフ語ニアラハサル場合ノ語幹タル「し」「つ」「き」「よ」「ら」「か」ノ「品性」ト「屬性」トノ性質トノ區別ハ、言語ニアリテハ、語根トシテ立ツト一語トシテ立ツトニヨリテ定マルモノナレバ、——比較ノ主材トシテハ「屬性」ノ性質ナルニモカ、ハラズ「品性」ノ思念ヲアラハスモノナレバ、之ニヨリテアラハサル、思念モ、再ビ「品性」ノ思念ニ復レルモノナリ。スベテニ於イテ、語幹ヲ成スモノハ、本來的ニ語幹ヲ成スベキ——(スナハチ、補助ノ語根ニ對シテ幹部ヲ成スベキ)——「品性」ノ思念、モシクハ、品性ニ擬準セラレタル或ル「もの」ノ「屬性」ノ性質ノ思念ナリト知ルベシ。サレバ、下ニイフ「し」「つ」「か」「き」「よ」「ら」「か」ノ如キハ、「し」「つ」「か」「き」「よ」「ら」「か」ノ如キハ、「し」「つ」「か」「き」「よ」「ら」「か」ノ思念ガ品性ニ擬セラレタルモノト知ルベシ。

(10) 「よ」「夜」「か」「さむ」「み」ノ如キ「か」「さむ」ニ對スル「さむ」「み」ノ差異ヲアラハスハ、同ジ「ナレド、其ノ「か」「さむ」ハ、異ナリタル性質ヲ有ス。綴日本文典原理ニ至ツテ特ニ説明スルヲ見ルベシ。

(11) 「品性」モシクハ「屬性」ノ性質ノ思念ハ、其ノ起源ニ於イテハ、屬性ノ思念ヨリ起リシモノナレド、一旦カ、ル思念ノ興起スルニ至リテハ、時代ノ考索的思考ノ複雜ニ赴クニ伴フヒテ、種々ノ

- 關係ヨリ類推的ニ「品性」ノ思念ヲツクリ、マタ「屬性」ノ性質ノ資格アル思念ト成ス。甚盛ナルニ至レルモノナリ。「こゝろ」ノ類ノ如キハ、其ノ一端ニ過ギズト知ルベシ。
- (12) 時ニハ、其ノ語形ノマ、ニテ「これ」等ノ思念ニ轉用セラル、コアリ。「こゝろ」を「みよ。」「そ」はよろしからず。「ニ於ケル」。「こゝろ」如シ。(又「こゝろ」の「こ」の如キ場合ニアリテハ辭ガアラハス概念ノ補助ニヨリテ、屬性トシテ思念セラレタルモノナリ。「これ」等ノ語ノ中ニ立ツ「こゝろ」ハ、語幹トシテ「品性」ノ思念ナレド「これ」等ト對立スル主材トシテ「こゝろ」等ハ、或ハ「品性」タルコトモアリ、或ハ「屬性」ノ性質「タル」コトモアルモノナレド、其ノ別願アル機微ニ互リ、一々區劃スベカラズ。要スルニ、思考者ノ主觀ノ狀態ニヨリテ定マルモノト知ルベシ。
- (13) コノ「も」ノ思念トイフハ、廣義ノ「も」ノ思念チイフモノナレバ、元來動的屬性ノ「も」ニ準ジテ思念セラル、モノ(スナハチ)「こと」ノ名ヲ成スモノ(ニテモ、マタ「ゆき」行)ノ思念ト之ニ對スル「ゆき」(行幸)ノ思念ト主材トシテ、其ノ差異ノ關係ノ概念ヲ「み」ニテアラハス類本文ニイヘル例ト同ジキモノアルナリ。其ノ他モ、之ニ準ジテ知ルベシ。
- (14) サレド、嚴格ニイヘバ、ヤ、例外ヲ成スモノナキニアラズ。蓋シ、動的屬性チアラハス語ノ「ハ」タラキチ有スルハ、多クハ根辭ニヨルモノナレド、語根(根意)其ミツカラ、或ル程度マデ「ハ」タラキチノ任務ヲ充タスモノモ、アレバナリ。
- (15) 第一編第三章參照。ナホ、此等述限定裝定ノ關係ニツキテハ、續日本文典原理ニ於イテ、文案ノ根本原理ヲ説ク條ヲ見ルベシ。

- (16) 第三編第四章七ニ參照。下文(乙)ノ(二)ノ條ヲモ參考スベシ。
- (17, 18) 詳シキ「ハ」續日本文典原理ニ述アルヲ見ルベシ。
- (19) リカ國語ニテハ、(四)ノ目ニ當ルモノハ、同ジ「も」ノ思念ニソフ種々ノ思考上ノ關係アル場合ニテモ、ナホ、其々ニ根辭ノソハザルモノトノ差異ノ區別ニテ、根辭アルモノノ間ノ相互差異ノ關係ニハアラズ。他ノ語根(根意)ナドノソヘルモノハ、相互差異ノ關係ナルモアレド、(例ヘバ「なま」男松「め」女松ノ如シ)——其ハ、全く別ナリ。又、冠性根辭ノソヘルモノニ對シテ、他ノ語根(根意)チソヘタルモノヲ附屬的ニ對シタルモアリ。「みやま」三對シテ「とやま」と「外」は「やま」は「正端」トイフガ如シ。オノツカラ別ナリ。
- (20) 本來的ニハ靜的ノ屬性ナルモノノ隸屬ノ關係ヲ別ツモノハ、上述ニヨリテ、オノツカラ明ナルベシ。動的屬性ノ、特殊ナル意義上ノ關係ヲ別ツベキモノノ、其ノ概念ノ成立ニ必要ナル理由ニツキテハ、續日本文典原理ニ説クベシ。
- (21) 但シ、此ノ場合ニハ、冠性根辭ニ限ルモノト知ルベシ。
- (22) (甲)ノ(六)ナル「屬性」ニソフ關係ノ概念ト(乙)ノ(三)ノ(ロ)ナル「屬性」ニソフ關係ノ概念トノ性質上ノ區別モ、マタ、斯クノ如シ。
- (23) 根辭ヨリシテ辭ノ義ニ推移シツ、アル中間ノモノハ、固ヨリ例外ナリ。例ヘバ「甲乙丙丁」ノ「ら」ノ如シ。
- (24) 「の」カ「ソ」ヒテ裝定素ヲ成スモノハ、必シモ構想的結合トイフベカラザルモノアレドモ、ナホ、構想的結合ヨリ起レルモノナレバ、構想的結合ヲ主トシテイフ、異トスルニ足ラズ。ナホ、

吾人ノアラユル思念ヲ擧ゲ得ベキ綱目ナリシトシテ、許容シツベキモノナルヲ知ルベシ。

思索作用發展ノ第一期以來ノ思念系ニ屬スルモノ

(一) 間接抽象成立以前、スナハチ純粹ナル直接抽象時代(= 思索作用發展ノ第一期)以來ノ思念系ニ屬スルモノ

- (1) 物體ニツキテハ具體的觀念
- (2) 屬性ニツキテハ具體的觀念⁽¹⁾

思索作用發展ノ第二期以來ノ思念系ニ屬スルモノ

(二) 間接抽象成立時代、スナハチ、自然的考察時代ニ於ケル間接抽象ノ時代(= 思索作用發展ノ第二期)以來ノ思念系ニ屬スルモノ

- (3) 境遇的具體ノ屬性ハ抽象思念
- (4) ものトシテハ、アラユル屬性ノ思念ハ、境遇的具體ニ成立スルモノ

思索作用發展ノ第三期以來ノ思念系ニ屬スルモノ

(三) 純粹ナル原始時代ヨリ、成熟時代ニ近ヅケル原始時代ニ入ラムトスル過渡時代(= 思索作用發展ノ第三期)以來ノ思念系ニ屬スルモノ

- (5) 總合的思念ノ境遇的具體ニ成立スルモノ

思索作用發展

(四) 種類概念成立時代、スナハチ、羈絆的考察時代(= 思索作用發展ノ第四期)

ノ第四期以來ノ思念系ニ屬スルモノ

以來ノ思念系ニ屬スルモノ
(6) 直覺的ニ感知セラルベキ物體及ビ屬性ニツキテハ直覺的感知ニヨリテ、羈絆セラル、種類概念

思索作用發展ノ第五期以來ノ思念系ニ屬スルモノ

(五) 自由考察時代(= 思索作用發展ノ第五期)以來ノ思念系ニ屬スルモノ
(7) ものトシテハ、關係ノ概念、スナハチ、關係ノ範疇的觀念ノ、外想思念トシテ立ツモノハ
(8) 外想思念トシテハ、左ノ諸思念

- (イ) 必シモ、直覺的ニ感知セラルベキ物體及ビ屬性ニツキテハ、モノナラザル、種類概念
- (ロ) 或ル種類ノ者ハ、概念
- (ハ) 總合的思念ハ、全ク概念化シタルモノ
- (ニ) ものトシテハ、屬性ノ概念
- (ホ) 屬性ノ概念
- (ヘ) 或ル物體ノ概念、スナハチ、或ル實體其ハモノニツキテハ、直接抽象

思索作用發展ノ第六期以來ノ思念系ニ屬スルモノ

ハ、概念

(六) 自我認知時代、スナハチ、自由考索圓成時代 || 思索作用發展ノ第六期以來ノ思念系ニ屬スルモノ

(9) 前記(6)(7)(8)ノ内省化シタル概念、スナハチ、内想思念トシテハ、(6)(7)(8)「言ヒ更フレバ、在來ノもの及ビ屬性等ノ思念ノスベテハ、内省化シタルモノ」ナル影寫的内想思念。

(10) 内省化シタル思念ヨリ起ルベキ思念、スナハチ、標準的内想思念。

(イ) 外想思念ヨリ來レルものノ内想思念トシテハ、種類概念トガ考索的結合ヲ成セルモノ、及ビ其ノ考索作用ニツキテ誘起セラルベキ内想思念、スナハチ、或ル種類ノものニツキテノ標準的内想思念。

(ロ) 外想思念ヨリ來レルものノ内想思念トシテハ、關係ノ範疇的概念トガ考索的結合ヲ成セルモノ、及ビ其ノ考索作用ニツキテ誘起セラル、内想思念、スナハチ、或ルものノ關係ニツキテハ

「品性ノ標準概念」

標準的内想思念

(ハ) 在來ノものノ思念ノ内省化シタル影響及ビ(イ)ノ内想思念ノ興起ニ伴ナフ自然ノ感化ガ、内省化セラレタル屬性ハ、上ニ及ボサシメタル考索上ノ變態ヨリ來ル諸ノ内想思念、スナハチ、或ルものノ屬性ニツキテノ標準的内想思念。

(11) 關係ヨリ分離シタル屬性、スナハチ、品性ノ概念寧ロ、品性ノ標準概念トイヒツベキモノ。

(12) 建設的標準概念。

(13) 物相ニツキテハ、關係ノ概念、スナハチ、關係ノ標準概念。

(14) 個々ノ内想思念トシテ立ツ場合ノ思念ニツキテ、思考セラハ、關係ノ概念、スナハチ、語ノ内的結合及ビ外的結合ニ關スル關係ノ概念。

(15) 構想的結合ヲ成ス内想思念トシテ立ツ場合ノ思念ニツキテ、思考セラハ、關係ノ概念、スナハチ、文素ノ内的結合及ビ外的結合ニ關スル關係ノ概念。

- (1) 以下ノ十五種、ミナ前二章ニ説ケル各時期ノ條ニ參照スベシ。
- (2) 思索作用發展ノ第五期時代ニ於イテハ、或ル種類ノ資格ノ概念イマダ起ラザリシモノナルヲ以ツテ、コ、ニハ、或ル種類ノ資格ノ概念ヲ包含セズト知ルベシ。
- (3) (10) ヨリ(12) マテ、前章一〇六ノ真ノ三參照。但シ、(11) ハ、新思潮ニ應ジテ起ル内想思念ナル標準概念ノ分別セラレタルモノナルヲナリテ想起スベシ。
- (4) (13) ヨリ(15) マテ、前章一〇七參照。但シ、(14) ハ、思考ニツキテノ關係ノ概念、スナハチ、文典上ノ關係ノ概念ヲ成ス標準概念ノ分別セラレタルモノナルヲナリテ想起スベシ。

同上ノ思念ニ關シテ注目スベキ要點

一〇九。此等ノ思念ハ、(1)(2)(3)(4)ノ四ツノ種類ヲ除キテハ、皆本來的ニハ、間接抽象ノ結果ノ思念ナルヲ、實ニ、前二章ニ具陳シタルガ如クナレド、既ニモイヘル如ク、人ノ思考ハ、常ニ境遇的ノ本能作用ニ依リテ活動スル習ヒアルガ故ニ——人ノ思念ノ活動ガ直覺的ニ感得セラルベキ直接抽象ノ對象タルモノノ刺激ニヨルヲ、最多キニモカ、ハラズ——必シモ、一々ニ、直接抽象ヨリ始メテ、漸次ニ、高級ナル間接抽象ノ思念ヲ起スベキモノニアラズシテ過去經驗ノ思念上ノ慣性ニヨリテ、直チニ、階級ヲ隔テタル間接抽象ヲ營ミ得ベキ様ニ本能作用ヲ利用スルヲ、多カルベキノミナラズ、制作的言語大成

縮約的ノ抽象手段

概念本位ノ言語運用ノ流弊

以後、全ク、概念——(實ハ、内想思念ヲ成ス概念)——本位ノ言語ヲ使用シテ、隨時ニ、意義上ノ模型ニ於イテ推移スベキ連鎖ヲ有シテ、抽象作用ノ低級ニ位スルモノヲ表示スル習慣ヲ成スニ至レル、結果トシテ、——(其ノ言語ノ性質ヨリ來ル自然ノ約束ハ、同一ノ抽象ヲ濶繁ニ繰リ返スヨリ得來レル思念上ノ慣性ト相需チテ)——本來ハ、高級ナル間接抽象ノ結果タルベキ思念ヲサヘニ、其ヲアラハスベキ既得ノ語ノ媒介ニヨリテ、隨時境遇的ニ、或ル對象ヨリ直覺シ、其ノ主觀的状態ヨリシテ、之ヲ、直接抽象ノ結果タルモノト撰ブ所ナキ地位ニ立タシムベキ、縮約的ノ抽象手段ヲ行フトアルニ至ルベキハ、勞ナリ。

(3) カクテ、其ノ合法的ナル間接抽象ノ存在ニ對シテ、其ガ縮約法トシテ認メラルベキ一種ノ抽象手段ヲ行フトナリテハ、其ガ忽チニシテ盛シニ使用セラル、トトナルハ、分明ニシテ、ヤガテ、合法的ナル、或ル間接抽象ノ思念形ヲ轉移シテ、サナガテニ、直接抽象モシクハ、低級ノ間接抽象ノ思念形ヲ成スニ至ラシムルヲ、自由ヲ得ルコトナリ、其ノ轉移ノ運用ニヨリテ、概念本位ハ

言語ニ表現セラルル、思念ノ心相基礎ノ立脚地ノ確認

言語ノ運轉ヲ流滑ナラシムルニ至ルベク、又高級ナル間接抽象ノ結果タル思念ヲサヘニ其ヲアラスベキ既得ノ語ノ媒介ニヨリテ、隨時境遇的ニ直覺シ得ラル、⁽¹⁾或ル間接抽象ノ思念ヲツクルニ方リテ、必シモ之ト間接ニ相伴ナフ直接抽象ノ對象モシクハ、同ジ關係ノ低級ナル他ノ間接抽象ヲ牽引連想スルヲ要セザルニ至ラシムル⁽²⁾トナリテ、言語ニ表現スル思念ニツキテ、其ノ心相基礎ノ立脚地ヲ承認スル⁽³⁾、彌堅確ナラシムルニ至ルベキハ、思考ノ成熟時代ニツキテ、マヅ大ニ注目スベキ所ナリトス。

本編第一章ニ説ケルガ如キ諸ノ直接抽象ハ、實ニ、コ、ニイフガ如クニシテ、純粹ナル直接抽象以外ニ、廣ク直接抽象ト名ヅクベキ抽象作用ノ成立スル⁽⁴⁾トニヨリテ、擴張セラレタル、直接抽象ノ範圍ヲ示スモノナリ。⁽⁵⁾更ニ大ニ注目スベキハ、カクノ如ク、間接抽象ノ思念ヲツクルニ方リテハ、必シモ、直接抽象ノ對象モシクハ、同ジ關係ノ低級ナル他ノ間接抽象ノ對象ヲ牽引連想スルヲ要セザル⁽⁶⁾トナルニ至レルニ反シ、或ル直接抽象ヲ行フニ方リテ、或ル間接抽象ノ結果タル、既得ノ言語ニヨリテ、アラハサル、諸ノ思

一種ノ補助的
概念トシテノ
間接抽象ノ思
念

念ヲ以ツテ、其ノ識得ニツキテハ、一種ノ補助的概念トシ、其ノ當面ノ對象ニ牽引連想シ、或ル境遇上ノ本能的考察ヲ其ノ間ニ行ヒ、其ノ補助的概念ヲシテ、恰モ直接抽象ニ伴ナフ媒介的隸屬的ノモノナルガ如キ地位ニ立タシムル⁽⁷⁾、甚多キニ至リタル⁽⁸⁾トニテ、コハ、事實ノ真相ヲ摘發分解スレバ、祖先以來傳承ノ言語ニ慣レ來リテ、既得ノ言語ニヨリテアラハサルベキ諸ノ内想思念ヲ隨時ニ念出シ得ベキ第二ノ天性ヲツクリ居ル制作の言語守成時代ノ民族ガ、特ニ考察的ナル間接抽象ヲ行フ⁽⁹⁾トナクシテ、直チニ其ノ對象ニヨリテ牽引連想セラレベキ内想思念ヲ念出シ、境遇的、本能的、作用ニテ、之ヲ比較シ、撰擇シ、分解シ、總合シ、以ツテ、當面ノ對象ニ歸納セシムルニ過ギザルモノニシテ、他ノ語ニテイヘバ、當面ノ對象ニツキテ、直接抽象ヲ行フニ方ツテ、同時ニ、無意識的モシクハ、半意識的ナル、間接抽象ノ考察ヲ行ヒ、之ヲ括ルニ抽象作用ノ縮約法ヲ以ツテ、スルモノニシテ、ダ、主觀的ニ、斯クノ如キモノトシテ、其ノ思考状態ノ省察的解釋ヲ施シ、之ヲ思念スル常習ヲ成スノミ⁽¹⁰⁾トナルナリ。サレバ、カクノ如キ場合ニ於イテ、牽引連想セラレ、諸ノ内想思念

補助的概念タル内想思念ノ隨時ノ轉移

混成ノ抽象作用

ハ、多クノ場合ニ於テ、正シク直接抽象ノ對象ニ引キ着ケテ思念セララル、
 ハ、ミナラズ、實ニ其ノ刹那ニ於テ、抽象作用ノ縮約法ニヨリテ得ラレタル
 直接抽象ノ結果ナリトシテ認メラルベキ性質ヲ存スルモノナルガ故ニ、カ
 ル場合ニ於テハ、補助的概念タル内想思念ノ性質ガ、其ノ本能的思索ハ
 刹那ニ於テ、忽チニ轉移シテ、外想思念タルベキ性質ヲ享有スル概念タル
 ニ至レルモノハ、多カルヲ致スベキハ、知ルベキナリ。コレ、マタ、特殊ナル注
 目ヲ要スベキ點ナリトス。〔モシ、其ノ補助的概念タルモノガ、當面ノ對象ト
 共ニ、十分ナル意識ノ下ニ、抽象作用ハ、正式ナル對象トシテ立ツ、アラムニ
 ハ、其ノ全躰ノ思考作用ヲ擧ゲテ、之ヲ混成ノ抽象作用トイフ。混成ノ抽象
 ニハ、直接抽象ノ對象タルベキモノヲ當面ノ對象トシテ、間接抽象ノ對象タ
 ルベキモノヲ補助的ノ對象トスルモノノ外、之ト反對ニ、間接抽象ノ對象タ
 ルベキモノハ、當面ノ對象トシ、元來直接抽象ノ對象タルベキモノハ、補助的
 ノ對象トスルモノアリ。然レドモ、斯クノ如キ類ハ、文素論ノ原理ヲ論ズル
 場合ニアラザレバ、特ニ論述セラルベキ必要ヲ見ザルヲ以ツテ、スベテ、續日

本文典原理ニ讓ルトシテ、暫ク、省略ニ附ス。

「轉歸ス」
 轉歸ノ内想思
 念
 轉歸ノ外想思
 念
 「屬性ノ性質」
 ノ復説
 再歸的内想思
 念

凡ソ、外想思念ガ内想思念トナリ、内想思念ガ外想思念トナルヲ指シテイ
 フベキ必要アル時ハ、之ヲ「轉歸ス」トイフ。トシ、轉歸シタル思念ヲバ、轉歸
 ノ内想思念「轉歸ノ外想思念」トイフ。ト定ムベシ。前章及ビ第一章ニイ
 ヘル「屬性ノ性質」ノ概念ハ、元來、品性ノ思念ガ、直接抽象ニ伴フ補助的概
 念トシテ、コ、ニイフガ如キ、境遇的本能ノ、考察作用ハ、刹那ニ、外想思念ト
 ナリシモノ、モシクハ、其ガ再ビ内想思念トナリテ、暫ク(11)、モシクハ(9)ノ種
 類中ニ攝受セララルベキモノトナレルモノニシテ、其ノ内想思念トシテ立
 ツモノハ、正ニ、再歸的内想思念ト命名スベキ性質ヲ有スルモノトス。屬
 性ノ性質ノ概念ノ外ニモ、特ニ、自我認知時代ニ新生シタル(10)以下ノ内想
 思念ノ、外想思念ニ轉歸シテ、再ビ内想思念トナレルモノハ、手續キ上、皆、之
 ト同ジクシテ、再歸的内想思念トイフベキモノナレド、カクノ如キモノハ、
 其ノ起源ニ於テ、屬性ノ如ク、直覺的ニ感得スベキ直接抽象ノ對象ヲ有
 スベキモノナラザルヲ以ツテ、再歸スレバ、マタ、本ノマ、ナル内想思念ヲ

成スベキモ、屬性ニ至リテハ、元來其ノ起源ニ於イテ、其ノ屬性トシテ認識セラル、所以ノ性質ヲ直覺的ニ感得スルニ起レリシモノナレバ、品性ノ思念ガ一旦轉歸シテ外想思念トナレル場合、スナハチ外想思念トシテハ、屬性ノ性質ノ思念ト成レル場合ニ至リテハ、其ノ特殊ナル來歴上ハ關係ニ引カレテ、忽チニ外想思念トシテハ、根帶ヲ生ジ、再歸スルニ方リテモ、其ノマ、ニテハ、マタ、本ハ、品性ノ概念タルト能ハザルニ至ルモノアリテモ、其ハ餘波ハ及ブ所、其ノ根本的性質ニ於イテ、必シモ直覺的ニ感得セラレバ、キ直接ノ對象ヲ有セザル屬性ニ關スルモノナリトモ、其ノ類推ニヨリテ、オノヅカラ、品性ノ思念ト相別ツベキ陰影ヲ帶ブルヲ感ズルニ至ルモノ多ク、オハツカラ、品性ノ概念ニ對シテ、屬性ハ性質ノ概念ヲ別タザルヲ得ザラシムルモノアルヲ致スナリ。コレ、品性ノ概念ヨリ出デテ再歸シタルモノニ限り、再歸的内想思念ノ名ヲ命ズベキ必要ヲ生ズル所以ナリ。モシ、コノ再歸的内想思念タル、屬性ノ性質ノ概念ヲ品性ノ概念ヨリ分離シテ綱目ヲ立ツルトスル時ハ、十五ノ種類ハ、將ニ一種ヲ加ヘテ十六種

語ニツキテノ幻想

類ノ思念ヲ成ストナルベシ。サレド、内想思念トシテノ「屬性ノ性質」ノ思念、スナハチ「品性」ヨリ轉歸シタル外想思念ノ内想思念ニ再歸シタルモノト、純然タル「品性」ノ思念トノ識別ハ、全然、思辨者ノ主觀的思考状態ニヨリテノミ定マルベキモノニシテ、其ノ限界——殊ニ根本的性質ニ於イテ直覺的ニ感得スベキ直接ノ對象ヲ有セザルモノノ、類推的ニ「屬性ノ性質」ヲ成スモノトノ限界——ハ、殆ンド究ムベカラザルモノアルガ故ニ、ナホ、暫ク、一種類中ニ攝スルヲ便トスベシ。

カクノ如クニシテ、或ル内想思念ガ合法的ナル考索作用ノ下ニ念出セラレ、ニアラズシテ、或ル直接抽象ノ對象ニ引キ着ケテ牽引連想セラレ、其ノ補助概念タルベキ地位ニ立タシメラル、時ハ、忽チニ、外想思念ノ概念タルニ至ルベキ多クノ傾向ヲ有スルトハ、其ノ内想思念タルヲ本性トスル思念ヲアラハス語ニツキテモ、人ノ思念ノ活動ガ直覺的ニ感得セラレベキ直接抽象ノ對象タルモノハ、刺激ニヨルト最多キ關係ヨリシテ、語想ノ關係ニツキテ、省的ノ思辨ヲ行フトナキ人ヲシテ、普通ニハ、特ニ其ノ本來的ノ意義ヲ

語義ニ關スル
世俗的趨向

思考セズシテ、——イハバ半意識的ニノミ其ノ本義ヲ了得シテ——語ヲ觀ル、或ル刺激ニ應ジテ起ル實際的ノ思念ヲ其ノマ、ニ表白スル、天稟ノ利器ノ我ニ具ハレルモノナルガ如クナラムトスル自然ノ勢ヲツクシムルコトナリ、(一)ヨリ(八)マデノ思念ヲアラハサムトスル語ニツキテ思考スル場合ノ如キニ至ツテハ殆ンド概念——實ハ内想思念ノ概念——本位ノ語ハ本義ヲサヘニ遺却セシメムトスル傾向ヲツクリ從ツテ言語ノ應用セラル、末ニヨリテ觀察スル時ハ種々ノ語ニアラハサル、一般ノ思念モ特ニ合法的ナル考索作用ニ訴ヘラル、モノノ外成ルベク具體的直覺的ナル方ニ引キ着ケテ思念セラレ成ルベク直接抽象モシクハ低級ノ間接抽象ノ方ニ引キ着ケテ思念セラレムトスル傾向ヲ有スルヲ認メ得ベキコトハナレルナリ。然レドモ自我認知時代ニ新生シタル特殊ノ内想思念スナハチ(10)以下ノ思念ニ至リテハ、——(特ニ具體的ニ思念セラレテオノヅカラ別途ノ思念ヲ成スニ至レルモノハ固ヨリ別ナレド)——超然トシテ其ノ外ニ立チ得ベクシテ間接抽象中ノ最間接抽象的ナルモノトシテ他ニ對シテヨク其ノ

語義ノ歸着ス
ベキ本由ヲ指
示スベキ準繩

概念本義ハ、ス
ナハチ、内想思
念トシテノ概
念本義

特色ヲ失ハズ其ヲアラハス語ヲシテアラユル語ノ歸着スベキ本義ノアル所ヲ指示スベキ準繩タラシメ——(スナハチスベテノ語ハ皆内想思念ノ概念タルヲ本義トシ(1)ヨリ(8)マデノ思念ヲアラハス語ノ如キモ其ノ本義ニ於イテハ悉ク(9)モシクハ(10)以下ノ概念タルベキモノニシテ出デテ(1)ヨリ(8)マデノ諸思念表白ノ具トナルコトヲ指示シ)——ヨク自我認知時代(スナハチ自由考索圓成時代)ナル制作的言語大成時代以來ニ於ケル思想界ノ根幹トシテ直覺的思念ト兩極端ヲ成シテ對立スベキ地位ヲ全ウスルヲ認ムベキナリ。

制作的言語ノ概念ヲ本義トスルコトハ第二編以來屢イヘル所ナルガ前章「自我認知時代ノ條ニ説ケルガ如ク制作的言語トシテノ成立實ニ内想思念ノ成立ノ間ヨリ得來レリシモノナレバ概念本義トイフモ實ハ内想思念トシテノ概念ヲ本義トスルモノナルハ既ニ自明ノ事ナリトス。⁽¹⁾蓋シ前章既ニイヘルガ如ク自我認知時代以後ニハ人ノ思想界ヲ支配スルモノニハ外界ノ物象スナハチ實相ト心界ノ内相スナハチ心相トノ兩中心

實相基礎ノ思考ト謂フニ基礎トスル思考トノ關係

直接間接ノ抽象作用ノ關係

アリテ前者ヨリ來ル思念ヲ外想思念トシ、後者ヨリ來ル思念ヲ内想思念トシテ、互ニ消長ノ勢ヲ成スガナカニ、(1)ノ思念ヲ成スベキモノト、(10)ヨリ(15)ニ至ル思念ヲ成スベキモノトガ、思念上ノ兩極端ヲ成スコト、ニイフガ如クニシテ、相互ニ移行スベキ階段ヲ成スモノニハ、前者ニ(3)ヨリ(8)ニ至ル思念アリ、後者ニ(9)ノ思念アリ、實際的ニ物象ヲ基礎トスル思考上ノ關係ヨリハ、前者積極ノ觀ヲ呈シ、語ノ本義ノ内想思念ナルベキヲサヘ遺却セムトシ、思索的ニ語義ヲ基礎トスル思考上ノ關係ヨリハ、後者積極ノ觀ヲ呈シテ、實界ハ却ツテ内想思念ニヨリテ想像化セラレムトシ、互ニ生剋殺活シテ、思考中ニ浮沈消長シ、實界基礎ノ抽象作用ヲ成スベキモノハ、マヅ直接抽象ヲ成ベキ(1)(2)(3)(4)ノ思念ヲ主トシテ、更ニ(5)ヨリ(8)ニ至ル思念ヲ成スベキ間接抽象ヲ有シ、心相基礎ノ抽象作用ヲ成スベキモノハ、(9)ヨリ(15)ニ至ル思念ヲ成スベキ間接抽象ヲ有シ、以ツテ、對峙ノ勢ヲ定ム。而シテ、其實界基礎ノ間接抽象ニアリテハ、固ヨリ實界ノ物象ヲ基礎トスル思念ヲ成スモノナレド、其ハ、其ノ物象ガ間接ノ地位ニ立チテ、直接當面ノ對象ヲ成サザル場合ニ於

イテ成立スベキモノナレバ、モシ、直接當面ノ對象トシテ、其ノ物象ヲ置クトトナラムニハ、其ノ思考作用ハ、タツチニ直接抽象ヲ成スモノトナリテ、間接抽象ヲ成サザルトトナルベク、間接抽象ノ對象タリ得ベキ思念ノ之ニ參與スルモノアルアラムニモ、其ハ、皆補助的概念トシテ立ツモノナルニ過ギザルベキナリ。モシ、マタ、實界ノ物象ヲ間接ノ對象トスルコトナク、(5)ヨリ(8)ニ至ルガ如キ思念ヲ對象トシテ、或ル抽象作用ヲ營ムコトアラムニハ、其ハ、既ニ間接ノ對象タル實界ノ物象ヲ把持セザルモノナレバ、其ノ對象ノ性質ハ、忽チニ轉移シテ、(9)ノ思念モシクハ、(10)以下ノ或ル思念トナリ、オホヅカラ、純然タル心相基礎ノ間接抽象ヲ成ストトナリテ、決シテ、實界基礎ノ間接抽象ヲ成サザルベキナリ。

カクノ如クニシテ、其ノ心相基礎ノ間接抽象ノ、前章ニ説明シタルガ如キモノニアリテハ、固ヨリ、純粹ニ、心相ヲ基礎トスルモノナルガ故ニ、別ニイフベクモノナク、其ノ間接抽象ノ結果タル(9)ヨリ(15)ニ至ル或ル思念ヲ對象トシテ、更ニ、其ガ有スベキ屬性ニツキテ、或ル抽象作用ヲ營ミテ、此等ノ或ルモ

ノニ當ルベキ思念ヲツクルラム場合ノ如キハ關係上猶更ニ心相基礎ノ間
 接抽象タル性質ヲ深ムベキモノナルヲ論ナキモノナレドナホスベテ此等
 (9)ヨリ(15)ニ至ル思念ハ——此等ガ如何ニ心相基礎ノ抽象作用ニ成レルモ
 ノナリトハイヘ元來如何ナル間接抽象ノ思念ナリトモ或ル實際的ノモシ
 クハ之ニ準ジテ思念セラレタル物象ヨリ數多ノ間接抽象ヲ重テタル結果
 ナルヲハ動カスベカラザルヲ前章ニ説ケル所ニヨリテモ明ナルガ如クナ
 ルヲ以ツテ實際的ノ物象ノ思念トカ、ル思念トヲ連結セシメテ思念スベ
 キ必然ノ需用ノ來ルベキハ避クベカラザルモノナルガ故ニ——思考者ノ
 或ル必要上ヨリ其ノ概念ヲ取ツテ實際ノモシクハ之ニ準ジテ思念セラレ
 タル物象ノ思念スナハチ實界ノ思念ト思索的ニ連結セシメタル一思念ヲ
 ツクルヲアラム場合ニ於テ其ノ連結シタル一團體ノ思念トシテハ、
 チニ直接抽象ノ對象モシクハ實界基礎ノ間接抽象ノ對象ヨリ得ラレタル
 思念トシテ認メラザルヲ得ザルモノトナルベク其ノ思念モマタ境遇上
 一種表現セラレタル補助的概念トシテ立ツトナリカ、ル關係ニ於テ

如何ナル内想
 思念モ皆外想
 思念ニ歸ス
 ベキ場合

ハ(9)ノ思念ト(10)以下ノ思念トハ成立上ノ性質ノ區別モ殆ンド何等ノ隔壁
 ヲ存スルヲナクシテ悉クコノ運命ニ支配セラレベクカクテアラユル内想
 思念ヲシテ轉歸ハ外想思念ヲ出スベキ機會ヲ有セシムルヲトハナルナリ。
 コレ(9)以下ノ思念ガ制定素ヲ成スベキ關係ニ於テ或ハ制定的ニ熟語ヲ
 成スベキ關係ニ於テ外想思念ト連結スル場合等ニ方ツテ其ノ一團ヲシ
 テヨク外想思念ノ性質ヲ失ハザラシムルヲ得ル所以ナリトス。
 カクノ如クナレバ思考ニツキテノ關係ノ概念ナル(14)ハ思念ノ如ク本來
 的ニハ到底觀念タルヲ能ハザルベキモノノ殆ンド心相基礎ノ間接抽象ニ
 ヨリテハミ得ラルベキ必然性ヲ有スベキガ如キモノモ或ル直接抽象ノ對
 象モシクハ實界基礎ノ間接抽象タルモノノ思念ニツキテハ補助的概念タ
 ル資格ニ於テ純然タル直接抽象ノ思念トサヘニ一團ノ連結ヲ成シ遂ニ
 ハ其ノ連結シタル一團ノ思念ノ對象タル其ノ直接抽象ノ對象モシクハ實
 界基礎ノ間接抽象ノ對象中ニ其ノ思考ニツキテノ關係ノ概念ヲ成スモノ
 ニ應ズベキ對象タルモノヲ包含スルモノトシテ思念セラレベキ習俗ヲ成

スニ至リ、コ、ニ境遇の本能作用ニヨリテ誘起セラル、抽象作用ノ縮約手
 段ニハ、直接抽象ノ對象モシクハ、實界基礎ノ間接抽象ノ對象ヨリシテ、タ
 チニ其ノ思考ニツキテハ、關係ノ概念ヲ抽象シ出スヲ得ルトナルベキ、或
 然ノ趨向ヲ有スルノミナラズ、元來實相ノ吾人ノ感覺ヲ刺激スルモノハ、物
 體物質ト其ノ力ノ活ラキト其ノ結合ノ關係トニアルモノニシテ、其ノ關係
 ノ正確ナル概念ハ、自我認知時代以後ニ至ツテ成立スベキモノナルニモカ
 ハラズ、其ノ最卑近ナルモノハ、如キニ至ツテハ、最始ヨリ本能的ニ無意識
 的モシクハ、半意識的ノ了得ヲ成シ居タルト疑フベカラズシテ、或ル意味ニ
 於テハ、殆ンド直覺的ノ感知ヲ成スモノナリトイフベキモノニシテ、思考
 ノ發展ト共ニ、其ノ意味ニ於テハ、直覺的ノ感知力ノ漸々ニ増大シ來リシ
 一、オノツカラ明ナレバ、内想思念轉歸ノ事ハ、繁ク起ルベキ機運トナルニ及
 シ、テハ、扱引聯結ノ勢ハ、少クトモ、カクノ如キ地位ニ立テル卑近ナル關係ノ
 思念ヲシテ、内想思念ノ直接抽象ニツキテハ、補助的概念タルモノトイハレ
 ムヨリハ、寧ロ、タ、チニ、直接抽象ノ對象ヨリ得來リタルモノトシテ、外想思

關係ノ思念が
 直接抽象ノ條
 ニ數ヘラル、
 一アルベキ理
 致

念ノ籍ニ置カル、ヲ適當トスベキガ如キ關係ヲ以ツテ、一種ノ縮約セラレ
 タル間接抽象ヲ成サシムルトナリ、其ノ類推ハ必シモ卑近ナラザル關係
 ノ思念ニ及ボストナルベク、本編第一章ハウチニイヘルガ如クニ、心相基
 礎ノ概念中、特ニ直接抽象ノ一要素ヲ形ヅクルモノトシテ、對象ニ關スル所
 アル關係ノ抽象ヲ認メザルベカラザルモノアルニ至ラシムル理致ヲ、自然
 ニ、其ノ間ニ含蓄スルトハナレルナリ。

(1) 本節中ナル下文ノ本註ヲ見ルベシ。

(2) 次節參照。抽象ノ高低ニツキテハ、九八ヲ參考シ、兼テ、考察的思考ノ發展ニ伴ヒテ漸次
 ニ高級ノ抽象ヲ營ムニ至レルヲ回想スベシ。

(3) カクノ如クナレバ、主觀的ニハ、直接間接ノ抽象作用ノ限界ハ、殆ンド嚴格ナル分野ヲ劃スル
 一能ハザルモノトナレルニ似タレドモ、人ノ思念ノ活動ガ直覺的ニ感得セラルベキ直接抽
 象ノ對象タルモノノ刺激ニヨリテ最多キ關係ハ、然ノ如キ對象ト、然ラザル對象トノ間ニ或
 ル區別ナツクルト容易ナルベクシテ、特ニ思想的思考就中、事理ノ推究ノ考察ノ思考、狀態ニ
 アリテハ、吾人ノ理性ハ、吾人ヲシテ、直接抽象ニ對シテ間接抽象ト認ムベキ考察作用ノ存在
 スルヲ確認シ、更ニ、其ノ間接抽象ヲ重ナル考察作用ヲ營ムトアルヲ自覺セシムルヲ得ベク、
 オノゾカラ、本來的ニ直覺的ノ狀態ニ認知セラルベキ對象ノ思念ト、之ニヨリテ漸々ニ抽象

シ得ラルベキ本性ヲ有スル、或ル高級ナル抽象ノ思念トノ間ニ合法的ナル場合ニツキテノ
或ル割線ヲツクリ得ラルベキ、大體上ニ於イテ、變化アルコトナク、抽象作用ノ縮約法ノ
流行スルアルヲ認ムベキトナルナリ。

(4) 本編第二章九八ノ本註參照。

(5) 本編第二章九四參照。

(6) カ、ル思索作用ノ端緒ノ開ケタルハ、既ニ種類概念ノ發展ニ先立ツ總括的ノ抽象作用ノ起
レルニ發シタルモノナレド(本編第二章一〇〇參照)、其ノ活潑ナル考察上ノ利用ハ、コ、ニ既
クガ如キ思考状態ニ至ツテ、始メテ、完全ナル状態ニ達シタルモノナルコト、疑フベカラズ。

(7) 本編第一章九一、第三章一〇〇頁ノ三。

(8) コノ他、(12)ナル建設的標準概念ノ、轉歸シテ外想思念トナレルモノ、及ビ、轉歸トイフコトノ曲折
ニツキテハ、特ニ論述スベキ必要ヲ感ズルモノアレド、其ハ、悉ク、續日本典原理ニ讓ルベシ。

(9) 所謂「固有名稱」スナハチ、個體ノ名稱名ノ如キモ、其ノ語トシテハ、本編トシテハ、所謂「普通名稱」
スナハチ、個體ノ通稱名ヲ成スモノ——(全ク種類ノ概念ナルモノヲ除キ)——ト共ニ、(8)ノ(ハ)
ヨリ來レル(9)ノ思念ヲ成スモノナリ。ナホ、此等ノ事ニツキテハ、續日本典原理、語言ノ條
ニ具説スルヲ見ルベシ。

(10) 本編第三章一〇六頁ノ三參照。

(11) 然レドモ、心相基礎ノ間接抽象ヲ成スニ方ツテ、實相基礎ノ間接抽象ニ成レル思念ヲ、補助的
概念トスルコトハ、固ヨリ、アリ得ベキモノナルガ故ニ(コノ事ニツキテハ、續日本典原理ノウ

思念ト言語
トニ關シ
テ、ナホ、イ
フベキコト
モ

チニイフベシ、複合セル思想ノ塊リニアリテハ、之ト連結セル思想中ニ、其ノ實相基礎ノ間接
抽象ニ成レル思念ト關係シテ、或ル實界ノ物象ヲ把持スル思念ヲ有スルコトアルベキハ、自然
ノ勢ナリ。コノ故ニ、カクノ如キ思想ヲ取リテ、コ、ニイフ所ニ擬セムトスル時ハ、枝葉ニ亘
リタル種々ノ疑案ヲ誘起スルコトアルベシ。サレド、一ツノ考察作用ヲ成ス心的作用ノ原形
ハ、一ツノ單文ヲ成スベキ思想以上ナルベキモノニアラズシテ、複文ヲ成スベキ思想、及ビ、之
ニ擬準セラルベキ性質ヲ有スルモノニハ、別ニ、考察作用ト考察作用トノ提契ニツキテノ學
理ヲ有スベキモノナレバ、カクノ如キハ、スベテ、續日本典原理ニ於イテ、サル方面ノ思想ヲ
表現スベキ言語ノ原理ヲ論ズル條ニ於イテノ論辨ニ讓ルベシ。

(12) 本編第三章一〇六及一〇七。

(13) 一〇六ノ頁ノ二。

(14) 第二編第五章二五二六。

(15) 之ニ關シテハ、本編第二章第三章ノ各所ニ説キ來リシ所ヲ想起スベシ。

(16) 第一章九三及八八。

一〇。既ニ屢イヘル如ク、或ル時期ニ發生シタル或ル性質ノ思念ハ、次期以
下ノ時代ニ入リテ、一方ニ、其ノ舊形ヲ保持スルコトアルベキ外ニ、一方ニハ、
更ニ、其ノ時代ノノ思念及ビ、之ニ關スル思考作用ノ或ル刺激ニヨリテ變
化シタル性質ヲ取リツ、發展シ來レリシモノナレバ、其ノ各時代ノ思念系

轉歸ノ連鎖ト
概念本位ノ語
ノ適用トノ關
係

ニ屬スルモノノ、コ、ニ舉ゲタル各種類ニ屬スル思念モ、其ノ内部ヲ檢スレバ、更ニ種々ノ特性ヲ有スル數多ノ思念ニ分ル、トナルベク、其等ノ思念ヲツクラムトスルニ方ツテノ對象トナルモノノ關係及ビ、其々ニツキテノ抽象手段モ、マタ互ニ異同ナキヲ能ハザルノミナラズ、抽象ノ縮約手段ニヨリ、或ハ混成ノ抽象手段ニヨリテ、或ハ高級ニ或ハ低級ナルベキ抽象階段ノ思念ヲ補助的概念トスルガ如キ場合ニアリテハ、其ノ思考ノ複雑ナルニ伴ナヒテ、其ノ考索作用ノ對象タルモノノ主觀的性質ト其ノ抽象手段トハ、マタ之ニ應ジタル差異ヲ有スルモノアリテ、其ノ思索作用ノ研究ヲシテ頗ブル複雑ナルモノタラシムルヲ致スト、明ナリ。

然レドモ、概念本位ノ言語、スナハチ一語(モシクハ、語根)ヲ以ツテ、本來的ニハ、内想思念トシテノ諸概念ヲアラハス符徴トシ、隨時ノ要求ニ應ジテ、廣クアシユル思念ノ上ニ適用スル約束ヲ以ツテ成レル言語ニアラハサル、思念ニアリテハ、一方ニハ、其ノ言語ト相需ツテ必要トスル慣性ノ羈絆ニヨリテ、自然ニ抽象ノ漸次ニ高級ニ進ム關係ノ連鎖ニ從ヒ、意識上ノ模型ニ於テ漸

ハ高級ナル地位ニ立ツ概念ニ攝收セラルベキトナリ、就中(1)ヨリ(8)ニ至ル思念ハ、スベテ(9)ノ思念ニ攝收セラルベキ系統的支配ノ關係ヲツクリ、一方ニハ、人ノ思考ニ於テノスベテノ抽象作用ノ根本ノ對象タル實界ノ物相、スナハチ第一期以來ノ對象ナル(1)(2)ノ思念ヲツクルベキ對象ノ羈絆ニヨリテ、自然ニ抽象ノ低級ニ溯ル關係ノ連鎖ヨリシテ、來ル對象上ノ連結ニ於テ、漸次低級ナル思念ニ攝收セラル、所アリ、其ノ連鎖ノ存スル限リニ於テ、皆(1)(2)ノ思念ヲツクル對象ニ攝收セラルベキ系統的支配ノ關係ヲツクリ、思念ノ轉移——(スナハチ、思念ノ性質ノ轉移)——ト、語義ノ轉用トハ、皆其ノ連鎖ノ路ヲ踏んで推移スベキ、必至ノ勢ヲ成スト、トナルガ故ニ、言語ニアラハサルベキ思念ニアリテハ、——直チニ(9)以下ノ思念ヲ成スモノノ如ク、本義其ノマ、ニ其ノ思念ヲアラハスヲ得ベキモノヲ除キ——スベテ(9)以下ノ思念ガ有スル意義上ノ模型ニ支配セラル、連鎖ノ關係ヲ推シテ、其ハ(9)以下ノ意義ノ模型ヲアラハスヲ本義トスル語ノ意義ヲ隨時ニ轉移セシメテ、之ヲ適用シ、自由ニ其ノ表白セムトスル所ヲ表白スルトナリ、コ、

上述ノ思念ト
モガ、語ノ性質
ニヨリテ觀察
セラレタル場
合

ニ、語義ヲシテ轉移自在ナル第二ノ天性ヲ固定セシムルニ至ルモノナルヲ
以ツテ、言語其ノモノヨリ見レバ、實際ノ場合ニ應用セラレタルモノノ外、個
々ノ語ハ皆(9)以下ノ思念ヲアラハスベキモノニシテ、其ノ語義ハ模型上、意
義ノ轉移轉用ヲ行ヒテ具體的モシクハ境遇上具體的ナリ得ベシヤ否ヤニ
關スル或ル性質上ハ力量ニツキテハ差異ヲ有スルモノナリトス。コ、ニ
於イテ、一語ニアラハサルベキ思念ハ、語ハ性質ニヨリテ觀察セラレタル場
合ニ於イテ、(一)元來具體的ニ認識感得セラレタル或ル思考ヨリ抽象シ出サ
レタル模型ノ語意ヲ有シ、隨時境遇的ニ具體性トナリテ、其ノ抽象シ出サレ
タル本原ノ具體的觀念ニ還元シ得ベキモノト(二)元來境遇的具體タリ得ベ
キ思考ヨリ抽象シ出サレタル模型ノ語意ヲ有シ、隨時ニ其ノ本原ノ抽象的
觀念ニ還元シ得ベキモノト(三)始メヨリ或ル特別ナル概念ヲ成シ、常ニ其ノ
概念タル性質ヲ維持スベキ模型ノ語意ヲ有スルモノト(4)ノ語ハ三ツハ大區
分ヲ成スモハハウチニ、自然ニ攝收セラレハ、トナル所以ヲ知ルト共ニ、コ
ノ三種ノ概念ヲアラハス語ノ細分ニ關シテ、更ニ、コノ十五種及ビ其ノ内部

語性論ノ分類
ニ關スル原理
ニ屬スベキ部
分
文素論ノ原理
ニ屬スベキ部
分

ノ思念上ノ種類ニ亘リ、兼テ、緯ノ分チ及ビ形式上ノ約束ヲ錯綜シ、思想構
成ノ單位トシテノ類別ヲ施スベキ情理ヲ究ムル⁽⁴⁾ノ別ニ、語性論ノ分類ニ
關スル特殊ナル編章ノ論述ニ讓ラルベキモノナルヲ認ムベク、其ノ思念上
ノ各種類ヲ生産スル所以ノ抽象手段ノ如キハ、一語ニアラハサルベキ思念
トモヲ組織シテ實際的ノ思考ヲ表白スル所以ノ道ヲ論ズル文素論ニツキ
テハ特殊ナル論述ニ讓ラルベキモノナルヲ認ムベキナリ。蓋シ、上掲十五
種ノ思念中、一文ニ表現セラルベキ思念、スナハチ、思想形ヲ成スモノハ、タ、
(12)中ノ一部ノミニテ、其ノ他ハ、スベテ、或ル思考作用ノ結果タル或ル一思念
ノ一語(モシクハ、之ニ準ジタルモノ)ニ表現セラルベキモノヲ指點スルモノ
ニシテ、カ、ル思念ヲ産出スル思考作用、其ノ他、凡百ノ思索作用ヲ、サナガラ
ニ思念シタルモノナル思想ノ組織的ノ説明ニ至ツテハ、スベテ、文素論原理
ノ特殊ナル範圍ニ屬スベキモノナレバナリ。
ナホ、之ニ關シテ、コ、ニコノ研究ヲ終ヘムトスルニ方ツテノ最終ノ注意ト
シテ、一言スベキコトアリ。スナハチ、吾人ノ言語ハ、既ニ屢イヘル如ク、本來的

(進取的ナル文
典家)

(文典家トシテ
吾人ノ任務)

ニ、概念ノ符徴トシテノ言語ニシテ、世俗的ニハ、殆ンド概念本位ノ語ノ本義ヲ遺却セムトスル傾向ヲ有シ、語ヲ觀ル_レ或ル刺激ニ應ジテ起ル實際的ノ思念ヲ其ノマ、ニ表白スル夫稟ノ利器ノ我ニ具ハレルモノナルガ如クニスル趨向ヲ呈スル_レ前節ニモイヘル如クナレド、其ノ本性ニヨリテ、常ニ心相基礎ノ間接抽象ノ思念ヲ立脚地トスル繩墨ヲ主持シ、之ニヨリテ、如何ニ實相基礎、或ル實際的思念、モシクハ、心相基礎ト實相基礎ト、兩中心ヲ結合シタル、或ル實際的思念ヲ表白スベキカノ條理ヲ明ニシ、人ノ言語ヲシテ、人ノ言語トシテ、十分ナル功用ヲ完ウセシメ、トスル指導者トシテ、進取的ナル文典家タラムモノハ、盲從的消極的ナル自然的訓練ニヨリテ成レ、没理的ナル世俗ノ幼稚ナル言語上ノ智識ヲ移シテ、省察的積極的ニ言語ヲ探縦スベキ、宗主權ヲ攬レル加工的訓練ニヨリテ成ル、理性適合ノ言語上ノ智識タラシメ、トスベキモノニシテ、カ、ル理想ノ下ニ立ツ吾人ハ、洪繁ニシテ、極限ナキ實際的ノ思想ヲアラハシタル實際的ハ、特殊ナル言語ヲ直接ニ研究スル_レヲ勉メズシテ、其ノ實際的ノ言語ノ種々ノ場合ニ起ル、普般

言語ニアラハ
サル、思念ハ、
必ラズ、内思想
念ノ地位ニ立
ツ_レ

ノ意義上形體上ノ形式ヲ概括抽象シ、其ノ與材タル語ヲ對象トシテ、其ノ性質トシテ、アラハレムトスル上ニツキテ、基礎ノ智識ヲ堅實ニシテ、言語ノ統一ヲ保タシムル間ニ、オハヅカラ、邪僻ノ小徑ヲ避ケテ、正大ノ道ニ就キ、向上的進取的ノ途ヲ撰バシメ、トスルモノナレバ、今、コノ見地ヨリシテ、言語ニアラハサル、人ノ思念ヲ觀察スルニ、成熟時代以後大成セル制作の言語ヲ有シ、其ノ言語ニヨリテ、全ク兒童以來、其ノ心靈ヲ教養發展セシムル時代ニアリテハ、實際的ノ人ノ思考ニハ、人ノ思考ノ實際界ノ刺激ニ起ル_レ多キ關係上、ヨシ、外想思念ヲツクル_レ多カルニモセヨ、之ヲ言語ニ表白スルニ方リテハ、述者ハ、マヅ、其ノ思念ト概念ト符徴トシテ、ノ語トヲ對比連結セシムル刹那ノ思考作用ヲ要スルヲ以ツテ、其ノ思考作用ノ營マル、刹那ニ於ケル、其ノ思念ガ、内省作用ノ對象トシテ、内想思念タル性質ヲ受ル_レトナルハ、動カスベカラザル_レトナレバ、言ヒアラハサレムトスル思念トシテ、思念セラル_レ、境遇ニ立テラム以上、スベテハ、思念ハ、皆必ラズ、——少クトモ、一旦——

實際ニ使用セラル、言語ニツキテノ嚴格ナル觀察ノ結果

實相の内想
念
心相の内想
念

一内想、思念ノ地位ニ立ツテ、言語ニ表現セラレ、トナルモノナルヲ認メザルベカラザルヲコレナリ。

サレバ、極メテ嚴格ニハ、語想ノ關係ヲ論定セムトスルニ方ツテハ、如何ニ實際的ナル外想、思念ナリトモ、直チニ實際界ノ感得トシテ之ヲ見ルベキモノニアラズシテ、外想、思念ニツキテハ、一種ノ内想、思念スナハチ、外想、思念ハ眞トシテノ内想、思念トシテ、之ヲ認メザルベカラザルヲ知ルベク、スベテノ實際ニ使用セラレ、言語ニ表現セラレ、思念ハ、

(甲) 外想、思念ノ寫眞トシテハ、内想、思念

(乙) 本來的ノ内想、思念トシテハ、内想、思念

ハ二種ニ出デザルヲトナルベシ。サレバ、ゴノ區別ニツキテハ、(甲)ヲ名ツケテ、實想的内想、思念トイヒ、(乙)ヲ名ツケテ、心相的内想、思念トイフト定ムベク、上文ニ舉グル所ハ如何ナル外想、思念モ、語ニアラハサルハ、場合ニハ、スベテ、其ノ本來的性質ヲ其ノマ、ニ寫シ取リタル實相的内想、思念ト化生スルト同時ニ、之ニ對シテ立ツスベテハ、内想、思念モ、實ニ其ノ本來的ノ性質ヲ其

ハ、マ、ニ寫シ取リタル内想、思念トナリ、同ジク、内想、思念ノナレバ、其ノ内容ニ於テハ、殆ンド異ナル所ナキモ、順序上ハ、間接ノ性質ヲ帶ブルトナルモノト知ルベキナリ。サレド、文典原理内部ノ研究ニ於テハ、ゴノ名目ヲ推シ立テムトスルハ、必シモ、必要ノ事ニアラズ。何トナレバ、カクノ如キ名目ニヨリテ、普通ノ外想、思念、内想、思念ト、相別タムトスルガ如キハ、言語ニ表現セラレ、思念ト、言語ノ表現ヨリ自由ナル思念トヲ區別スル場合ニノミ必要ナルベキモノニシテ、文典内部ノ學理ヲ研究スル上ニ於テ、特ニ、ゴノ自明ノ事ヲ明サムガ爲ニ、ゴノ概念ヲアラハスベキ名目ヲ支持スルハ、推論上、常ニ稱呼ト區別トノ復雜ナル煩累ヲ起スニ過ギズシテ、別ニ利益スル所ナケレバナリ。サルニテモ、言語ヨリ自由ナル人ノ實際的ノ思念ニツキテ、廣ク、思念スルニアラズシテ、言語ニ表現セラレ、モハトシテハ、思念ニツキテ、論究スル所アラハムトスルニ方ツテハ、自明ノ事ナリトシテ、ゴノ本性ハ、アル所ヲ了得シ置クベキハ、極メテ緊要ナルトニシテ、其ノ研究ノ對象ヲ、言語ニ表現セラレ、ベキ思想スナハチ、ゴ、ニイフガ如キ二者ヲ包含スル廣義ノ

心理學者が從
事スルが如キ
方面ノ深キ鑿
穿ニ亘ルヲ要
セザル所由

内、想、思、念、ニ、置、イ、テ、眞、正、ノ、外、想、思、念、ス、ナ、ハ、チ、實、際、的、ノ、外、想、思、念、及、ビ、順、序、上、
間、接、ノ、性、質、ヲ、帶、ビ、ザ、ル、内、想、思、念、ニ、置、カ、ザ、ル、文、典、原、理、ノ、研、究、ガ、其、ノ、實、際、的、
ノ、思、念、ノ、言、語、ニ、表、白、セ、ラ、レ、ム、ト、シ、テ、立、ツ、ニ、至、ル、マ、デ、ハ、心、的、的、作、用、ニ、關、シ、テ、
心、理、學、者、ノ、從、事、ス、ル、ガ、如、キ、深、キ、鑿、穿、ニ、亘、ル、ヲ、要、セ、ズ、シ、テ、タ、ハ、其、ノ、提、供、セ、
ラ、レ、タ、ル、思、念、ノ、性、質、ヲ、知、ル、ニ、必、要、ナ、ル、限、リ、ニ、ト、ム、ベ、キ、所、以、ノ、如、キ、モ、實、
ニ、コ、ノ、ニ、繫、ル、モ、ノ、ナ、リ、ト、知、ル、ベ、シ、。

- (1) スナハチ(9)ヨリ(15)マデノ概念ナリ。但シ其ガ中ニ最複雑ナル(12)ノ種類中ニハ、之ヲ他ノ種
類ノ思念ニ分解シテ表白スルコトスル慣性ヲ成スモノアルヲ以ツテ、必シモ内想思念トシ
テノ諸概念ハ、皆一語(モシクハ語根)ヲ以ツテアラハサル、モノニアラズ。(12)以外ノモノニ
テモ、之ヲ他ノ種類ノ思念ニ分解シテ表白スルコト能ハズトイフニアラズ)サレド、本文ノ如
クイフヲ妨ゲザルナリ。
- (2) 特殊ノ考索作用ニヨリ、テ特殊ナル建設的ノ手段ヲ施セル痕跡ヲ存スルモノハ、直チニ其ノ
支配ニ預ラザルモノアリト知ルベシ。
- (3) 第三編第三章六七及ビ本編第一章八四參照。
- (4) 本編第一章八四參照。
- (5) コノ思考作用ハ、慣性上、殆ンド無意識的半意識的ニ營爲セラル、場合アルコト固ヨリ、イノマ

アモナケレド、トモカクモ順序上、コノ思考状態ヲ經ベキモノナルハ、明ナリトス。
(6) 第一編第五章一四參照。

新式 日本文典原理 畢

たまらばふかみいよながらの
ことのいはのみちのひかりを
いかへあげばや

明治四十年一月八日印刷
明治四十年一月十二日發行

日本文典原理奥付

定價金壹圓五拾錢



著者 岡澤 鉦次郎

發行者 大橋 新太郎

東京市日本橋區本町三丁目八番地

印刷者 石川 金太郎

東京市京橋區四紺屋町廿六七番地

印刷所 株式會社 秀英舍本社

東京市京橋區四紺屋町廿六七番地

發兌元

東京市日本橋區本町三丁目

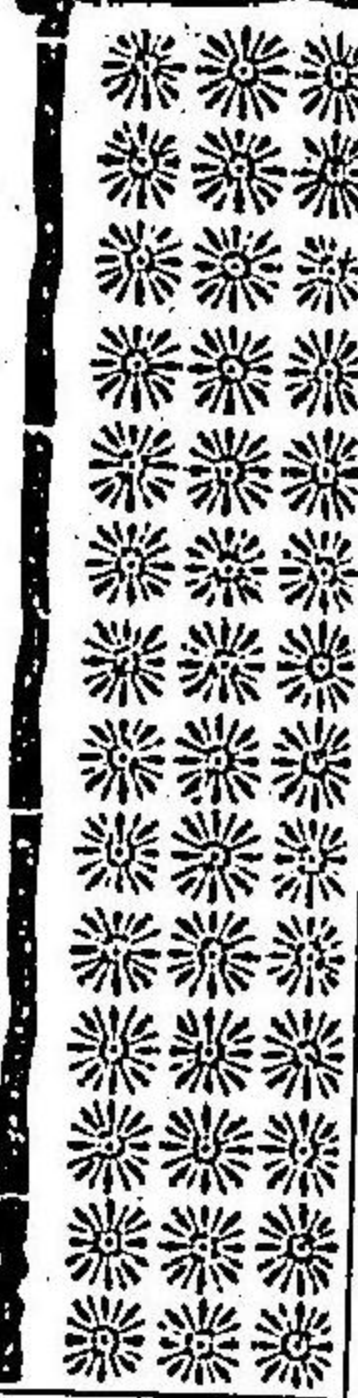
博文館

文學士 岡田正美君著

●解説 日本文典 下全二冊

洋裝大判 並製 正價一冊金四拾錢
紙數六〇八頁 特製 郵稅一冊金五拾五錢

本書は吾國語上文法上の諸般の事實を我國の一般の人士に示さんと欲して其を便宜の順序に列記して解説批評したるものにして國語學專攻の人士の爲めに殊に時代的文法又は歴史的な文法又著者自らの日本文法体系を述べたるものはあらず『解説』の條下に記述したる事柄は多くは當今普通用ゐらるる諸文典に記述せるを或は意を探り或は意と文とを併せ採りたるものなり



叙述したるもの、
説明し發音機關の
授の便に備へ品詞の
して文語教授の參考
著者の獨創によりて
新式なる文典の模範を示したり

文學士 鈴木暢幸君著

●日本口語文典全一冊

洋裝大判 並製 正價金四拾錢
紙數三二六頁 特製 郵稅金五拾五錢

教育の普及と共に國語の統一は宿昔の問題にして且つ目下の急務。殊に戦後の國民的發展の基礎として世界の舞臺に飛躍せんとするに當つてはまづわが國語の普及及び初めざるべからず。國語の普及はまた必ず口語の研究を以つて第一着手とすべし。本書は氏が多年の研究によりてわが國語の本質及び運用を忠實に闡明しつゝ、口語に存する言音を音韻學的にまづわが口語に存する言音を音韻學的に調整を指導して方言の矯正其の他發音教授の便に備へ品詞の調子の敘述に於いては文章語との差異を説明して文語教授の參考に資す。特に詞章の綜合法に至つては著者の獨創によりて新式なる文典の模範を示したり



落合直文君
小中村義象君 合著

●中等 日本文典 全一冊

洋裝中判脊皮特製 正價六拾錢
紙數四百八十八頁 郵稅拾錢

古來往々邦文の不規律にして統一なきを難するものあるは、主として完全なる文典の書なきに依れり、文を學ぶ者の文典に待つある、猶航海者の羅針盤に依るが如く、はた船舶の楫に待つとあるが如し、小中村落合兩先生が國文學に精通せらるるは世の夙に知悉する所、今や初學の爲に好書なきを慨し、切磋研究の餘斯書を著はさる、是より桃花始て津ありといふべし、殊に著者は多年官私の諸學校に於て、實地教授せられたるものなるを以て、中學校、師範學校、其他高等諸學校、教科書として尤も適當無比なるものなり。幸に愛讀を賜はらんことを

落合直文君著

●中等 文法教科書 全一冊

洋裝大判並製 正價四拾五錢
紙數百廿六頁 郵稅六錢

本書は、中等教育の教科書に適用せしむる目的を以て、多年斯學の教育に經驗深き、落合先生が著されたるものなれば、その生徒の學力と學校の時間とを參酌して、繁簡其宜に適ひたる、蓋し稀有の良書たるべし。

東京 博文館 發行



文學士 金澤庄三郎君 後藤朝太郎君共譯

● 言語學 上全二冊

本書は言語の研究法を説き世界の諸言語を分類し且つその間の法則を説きたるのみならず歴史宗教神話土俗人類等の諸學との關係を明かにし又他の形而下學との區別に論及せり二十世紀の今日苟も國語又は外國語に就て云々せんとするものはすべからず言語學の一般智識を有せざるべからざるは今更云ふ迄もなし本書の特色とする所は言語を頗る多方面多趣味に觀察し詳論して而かも平易なるにあり吾人は此點に於て本邦在來の言語學の書に一步を進めたりと信ず。

文學士 武島又次郎君著

● 修辭學 全一冊

著者武島羽衣君夙に詩文を以て名あり、是著ある洵に以ある也。書中記する所、詩歌散文に關する事項は、細大漏さず、其種類組織より、條章辭句に至る迄、引例提喻周到を究む。加ふるに、行文流麗、明珠盤を走るが如し。苟も文字に志あるもの、座右一本を欠くべからざる也。

並製 正價四拾錢 郵稅八錢
特製 正價五拾五錢 郵稅拾錢

並製 正價一冊四拾錢 郵稅一冊八錢
特製 正價一冊五拾五錢 郵稅一冊拾錢

發元兌 東京市日本區本町三丁目 博文館

文學博士 大槻文彦君序文
文學士 物集高量君共編
文學士 長連恒君共編

散美文辭彙

全洋裝總クロー
一紙六版函入美
冊正價九百六十
郵稅金壹圓貳拾錢

東京本町博文館

文章は其辭の推敲を要するのみならず、又想をも鍛錬せざるべからず、從來世に出でたる此種の書籍は辭の佳麗なるに専らにして其想を度外にしたるもの、如し、本書は其辭の佳麗なるのみならず想の以て作文の資となすに足るべきものを古今數百種の書籍を涉獵して此を抜擢し一題目毎に部をに分ち、且つ逐一出典をも附記したれば、直に以て文章の上に引用し得べし。苟も文を學ばんと欲する者は此書に依りて多大の利益を享くべきのみならず、事に操觚に従ふの士と雖も此書を座右にして其便益する所必ずや尠少にあらず、大槻文學博士序して曰く「此書百家の文より其華を抜き類を以て分ち收めて索引閱讀に便ならしむ文を學ばむ者一たび此書を繙かば左右其原に逢はむ之を索め得て朗讀玩味せば巧妙なるを得むこと俯して地芥を拾ふが如くなるべし」と以て此書が如何に作文壇上の好書なるかを見るべし。

通俗作文全書

全部二十四冊洋裝四六判
並製紙數各三百頁
正價一冊參拾五錢
郵稅一冊六錢宛

大和田建樹君著

田山花袋君著

第一編 文章組立法

第三編 美文作法

第二編 書簡文作法

第四編 商業作文法

記事論說或ば紀行叙事等の雄篇大作より、尺牘葉書の日用文に至るまで、寧ろ是れ文なる以上は、文明社會の人は皆文を以て互に意思を通じつゝある者と謂ふべし。然るに今日の状況を以て見ると、百餘の藝術の發達を進行するに反し作文の技のみ獨り退歩の觀あるは詢に痛嘆の至りといふべし。是れ多數の人士が文章に重きを置かざるに由ると雖も、從來作文法を教ふる完全なる書籍なきもの亦其一因なりといふべし。弊館之を遺憾とし、通俗作文全書を發行し聊か以て此缺點を補補する所あらんとす。其の目下下に列記す。

- 書簡文範
- 女子消息文範
- 中等學生文範
- 論說記事文範
- 祝賀吊祭文範
- 言文一致文範
- 紀行文範
- 英和商業作文
- 雅俗はがき文範
- 支那時文軌範
- 英文作法
- 才媛文集
- 寫生文範
- 日記文範
- 古今名家文話
- 明治時代文範
- 古今名家尺牘文
- 古今文人逸話
- 古今名句集
- 作文熟語類集

東京 博文館 本

大和田建樹君著

作文寶典

版五

全一冊洋裝上製 中判一七二〇頁
正價貳圓貳拾錢 郵稅拾五錢

本書の價值は作文の實習に便なるにあり、作文の標準を明示するにあり、作文の模範を興ふるにあり、文學の趣味を解せしむるにあり、詠歌の作法を教ふるにあり、其文は懇篤、道頭加ふるに著者の文集、著者判定の歌合、著者翻譯の歐米詩林を初めとし、文學家の參考となるべき諸種の事項を以てす、眞に文學者必讀の書、寶典の名其實に背かざるなり。

井上文學博士序文
百束持中君編

作文熟語字典

版八

全一冊洋裝上製 小判九八〇頁
正價八拾錢 郵稅拾錢

幾萬の熟語を「いろは」分に集拾して訓解考證極めて明確なり、文章を綴り熟語を究めんとするもの此一本を机上に置かば側より指導するが如く自在に雄篇傑作を得らるべし、眞に是れ初學者の寶函にして又作文家の要典なり。

博文館發行

井上敏夫君著

作文錦囊

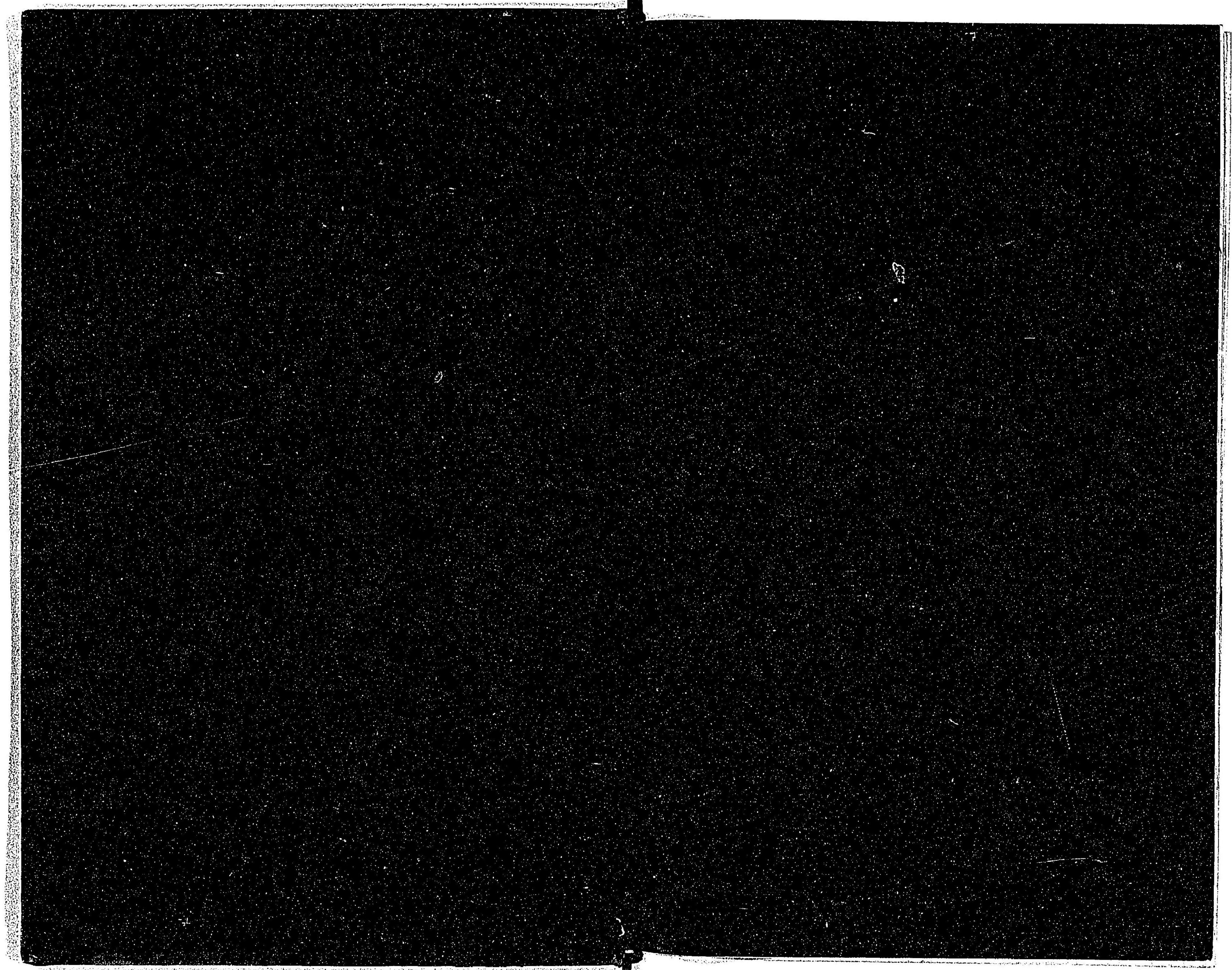
版十

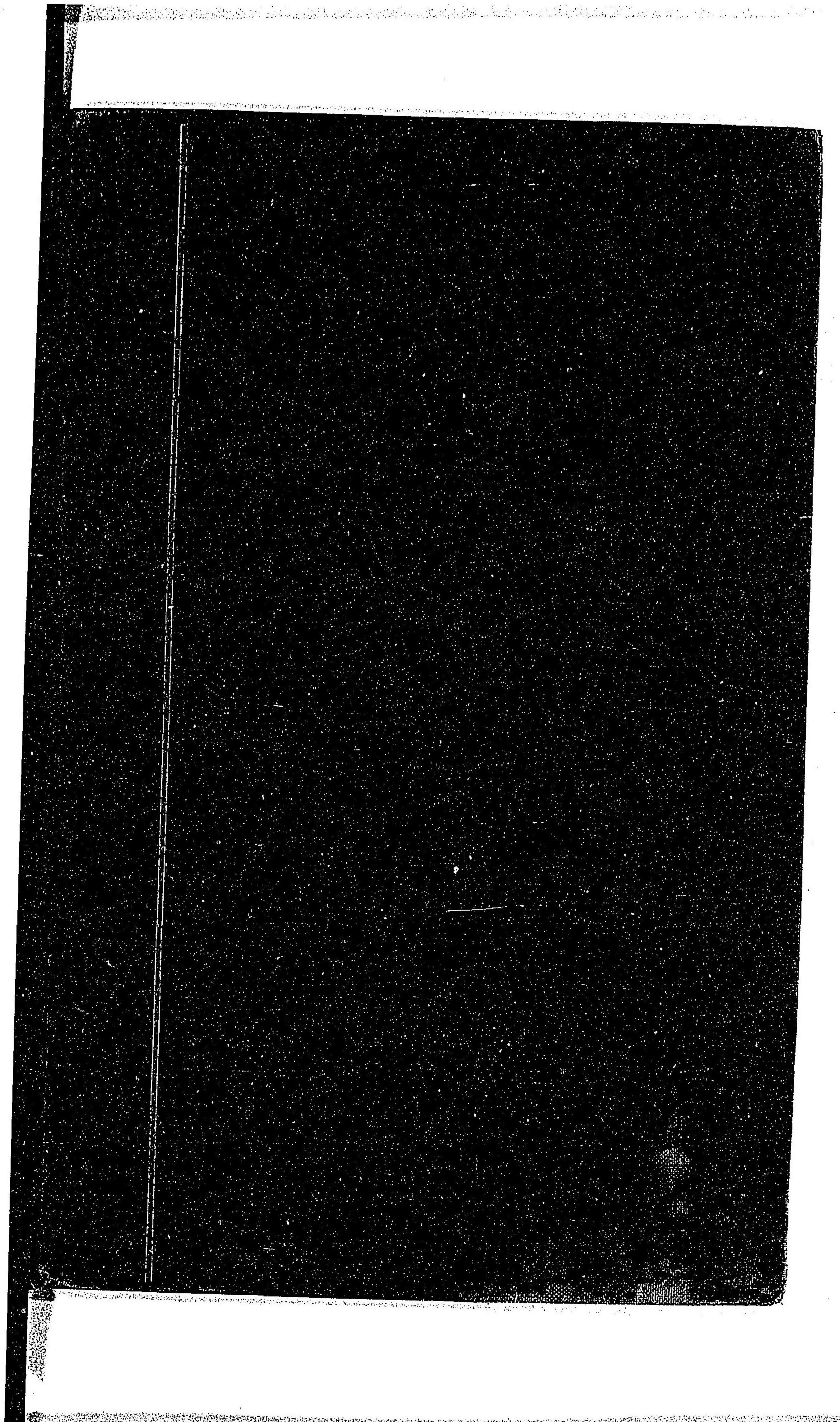
全一冊洋裝上製 小判四三〇頁
正價參拾五錢 郵稅六錢

己が思想を表さんと欲して、ことばに窮するもの、思想あり言葉を知ると雖も、之を文になさんと欲して文字に乏しきもの、文字に富むるものと雖も、之を補綴彫飾せんと欲して文句を求むるもの、爲めに必要唯一の最良寶典にして、實に錦囊の名に背かざるなり。

全一八九一	添成形式	添成式	全三八一	一三 成ルベキ	成スベキ	全五五二	二 標準的思念	標準的內想思念
全一九七	五 Mason's	Mason's	全三八五	一〇 形式屬性	形式、屬性	全五五七	一 關係	關係
全二〇〇	一 文素結合上	文素ノ結合上	全三八七	一三 コト	コトト	全五六九	六 複	複
全二〇一	一 註「指示的ナル」	「指示的ナル」ハ、 「指示的ナル」ハ、 「指示的ナル」ハ、 「指示的ナル」ハ、	全三九四	一三 屬ノ	屬性ノ	全五九〇	三 (外屬的)ノ	(外屬的)ノ
全全	八 特性ノ下ヘ	サ成スヲ加フ	全三九五	二 興ヘテ	以ツテシテ	全全	一〇 脱スルコトナル	脱スルコトナル
全二〇七	一 平仄	平仄	全全	七「ぬる」(廢)	「ぬ」(廢)	全五九三	一 ニキテ	ニツキテ
全二二三	一 折	シテ分析	全三九九	六 排別	排別	全五九五	一四 五レテ	至レテ
全二二五	一 品性	品象	全四〇四	四 全上ノ「もの」	全上ノ「もの」	全六〇六	七 感格	感格
全二三一	三 間ニ	間ノ	全四〇九	一四 思素	思素	全六〇七	九 ル語根	ル語根
全二四四	一 二ナレ	ナケレ	全四一〇	四 七シベシ	七シムベシ	全六一四	八 マナリ	マナリ
全二四五	八 (製定素)	(製定素)	全四二一	七 地方	他方	全六三一	一 二 根辭ノ下	ノ下
全二四七	註「あり」	「あり」ノ「あ チ成セル」	全四二〇	一 内ニ	内部ニ	全六四〇	七 「みこと」	「みこと」
全二六四	七 ねて	「ねて」	全四三五	一 下ノ	下級ノ	全六四八	八 複勞	複勞
全二七五	七 轉文ノ二字	刪	全四三八	二 認知原規	認知ノ原規	全六四九	註七 却	却
全二七八	七 ぬる	ノル刪	全四四〇	一四 成スコト	成スコトナ	全六五〇	一五 「し」ノ下	「し」ノ下
全二八三	一 二ナ	テノ	全四四二	九 キテ	キテ	全六五一	一〇 成スベキ	成スベキ
全三〇〇	一 一 抽象	抽象	全四四三	四「ヲ」ヲ要ス	ヲ刪	全全	一七 ナナド	ナナド
全三〇一	註八 抵格	抵格	全全	四 期	期	全六五七	五 範疇的	範疇的
全三三六	六 有ルコ	有スルコ	全四九九	一三 根本的ノ下	形式ヲ加フ	全六七二	一三 クモノ	クモノ
全三四四	一四 得ルサリ	得ルナリ	全四九一	一 一「明	「明」ヨリテ、明	全六八四	一 實想的	實想的
全三五三	六 純純	純粹	全四九三	二 (三ナ)	くら、くら	全六八五	九 復雜	復雜
全全	七 本件	本件	全四九六	頭三	むかひ	全六八二	標三 トシテ	トシテ
全三五四	一 ナドノ類	ナドノ類	全四九八	四 製作	制作	全六八六	四 穿	穿
全三五七	註二 セラルド	セラル、コアラド、	全五一	標二 心置本林	心置本林			

ヤレ





078432-000-4

815-0548n

新式日本文典原理

岡沢 鉦次郎/著

M40

DAC-2118

